

**YAMAHA Electone**  
**EL-37**

---

**取扱説明書**

このたびは、ヤマハエレクトーンEL-37をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

ヤマハエレクトーンEL-37は、先進のエレクトロニクス技術と豊かな音楽性、楽器づくりのノウハウを結集して完成させた、最新鋭のエレクトーンです。

リアルで美しい音色をはじめ、幅広いジャンルのリズム、洗練された各種の効果、素早いセッティングを可能にするレジストレーションメモリー機能、音楽の楽しみ方を格段にアップするミュージックディスクレコーダーなどの機能を搭載したEL-37は、演奏表現を強力に支援する親しみやすい、良きパートナーとなることでしょう。本書では、EL-37を正しく、そして楽しくお使いいただけますよう、取り扱い方法をわかりやすく説明しています。ご使用の前に、ご一読ください。

## 豊富な音色

AWM音源とFM音源によるリアルで美しい音色が、36種類内蔵されています。また付属のボイスディスクを使用すると、内蔵音色以外に64種類の音色が選べます。

## 鍵盤を押す強さを表現

上鍵盤および下鍵盤を押した強さが、そのまま表現されます。

## 幅広い音楽ジャンルに対応

リズムは、38種類内蔵されています。

## 音色に各種の効果

内蔵されている音色にいろいろな効果をかけて、音色をさまざまに変化させることができます。

## 音色の組み合せ

鍵盤(音色群)ごとに音色を選んで、組み合わせとして記憶させることができます。また、リズムや効果の設定もいつしょに記憶させることができます。また付属のレジストレーションメニューディスクには、全部で120種類の組み合わせが記録されていますので、バラエティあふれるいろいろな音楽スタイルが簡単に呼び出せます。

## 自分の演奏を録音/再生

付属のレジストレーションメニュー曲集対応ディスクを再生させたり、自分の演奏を録音/再生させることができます。ミュージックディスクレコーダーを搭載しています。

## 操作性を重視

20文字×2段のディスプレイを見ながら、各種の設定ができます。

必ず、AC100Vのコンセントから電源を。

電源プラグは、必ずAC100Vのコンセントであることを確かめた上で、接続してください。

大型クーラーやセントラルヒーティングの電源用にAC200Vや、船舶内にはDC(直流)電源のコンセントがあります。それらに誤って接続すると大変危険ですので、ご注意ください。

電源プラグの取り扱いに注意。

ぬれた手で電源プラグにふれると、感電する恐れがありますので、ご注意ください。また、コードの断線やショートを防ぐため、電源コードをコンセントから抜く時は、電源プラグ自体を持って抜いてください。

エレクトーンの内部には、絶対ふれないで。

エレクトーンの改造や部品の取り外しは大変危険ですので、絶対にしないでください。故障と思われる場合は、お買い求めの楽器店、もしくはP224に記載されているサービスセンターまでご連絡ください。

エレクトーンの内部に水などが入った場合は。

誤って水や異物が内部に入ってしまった場合は、すぐに電源を切ると共に、電源プラグを抜いた上で、お買い求めの楽器店、もしくはP224に記載されているサービスセンターまでご連絡ください。

電源を切り忘れないように。

電源を入れたまま長時間放置すると、思わぬ故障の原因になることがありますので、ご使用後は必ずパワースイッチを押して、電源を切ってください。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつ的方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

# 目次

## 基本 本 編

## 活 用 編

## 付 録

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| EL-37の付属品                     | 2   |
| 本書の使い方                        | 2   |
| 基本操作の流れ                       | 3   |
| 操作パネル早見表                      | 3   |
| 弾いてみましょう                      | 4   |
| 各部の名称とはたらき                    | 10  |
| ディスプレイとボタン                    | 14  |
| 覚えておきたい用語                     | 16  |
| 操作の流れ                         |     |
| 基本レジストレーションを使う                | 19  |
| 音色を選ぶ(ボイスメニュー)                | 20  |
| 音色の発音状態を決める(ボイスコンディション)       | 24  |
| 音色名の表示に戻す操作                   | 35  |
| リズムを選ぶ(リズムメニュー)               | 36  |
| リズムをコントロールする                  | 39  |
| リズムに関する設定をする(リズムコンディション)      | 43  |
| キーボードパーカッショhn                 | 48  |
| A.B.C.(オートベースコード)を使う          | 50  |
| M.O.C.(メロディーオンコード)を使う         | 54  |
| 効果の種類について                     | 56  |
| リバーブ(残響)効果                    | 57  |
| サステイン(余韻)効果                   | 58  |
| レジストレーションメモリー                 | 60  |
| レジストレーションメニュー(ディスク)           | 63  |
| 音色を下鍵盤に移す                     | 70  |
| 設定した音色をドットボタンに登録する            | 71  |
| 設定したリズムをドットボタンに登録する           | 74  |
| トレモロ(ファースト)                   | 79  |
| エフェクトセット(ディレイ／フランジャー／シンフォニック) | 80  |
| リズムプログラム(パターン)について            | 86  |
| 新しいリズムを作る                     | 88  |
| リズムをエディットする                   | 106 |
| リズムプログラム(シーケンス)について           | 113 |
| リズムの順序を決める(シーケンス)             | 114 |
| フットスイッチについて                   | 127 |
| レジストリshift                    | 128 |
| リズム(ストップ／エンディング／フィルイン)        | 135 |
| グライド                          | 137 |
| パワーオン・リセット                    | 139 |
| ミュージックディスクレコーダー               | 142 |
| フロッピーディスクについて                 | 147 |
| ディスクをフォーマット(初期化)する            | 149 |
| レジストレーションデータの記録               | 151 |
| 演奏を録音する                       | 156 |
| いろいろな録音のしかた                   | 160 |
| レジストレーションのデータだけを差し替える         | 169 |
| 演奏を再生する                       | 171 |
| 曲をコピーする                       | 183 |
| 曲を削除する                        | 185 |
| ボイスディスクを使う                    | 186 |
| 「他の楽器と組み合わせる」                 |     |
| 音程／移調                         | 189 |
| MIDI                          | 192 |
| 音の高さを変える(ピッチ／トランスポーズ)         | 189 |
| MIDI端子について                    | 192 |
| MIDIを使うと                      | 193 |
| MIDIの設定                       | 195 |
| MIDIメッセージ一覧                   | 201 |
| 未永くお使いいただくために                 | 208 |
| EL-37の仕様                      | 209 |
| 用語辞典                          | 212 |
| おかしいな？と思ったら                   | 217 |
| 五十音索引                         | 219 |
| 保証とアフターサービス                   | 224 |

# EL-37の付属品

取扱説明書(本書)

取扱説明ビデオ

EL-37の使い方を、簡単に説明しています。

独習ソフト(テキスト+ディスク)

エレクトーンを一人で練習するときにご使用ください。

レジストレーションメニューディスク1/2

ディスク1には80種類、ディスク2には40種類のレジストレーションデータが記録されています。呼び出してご使用いただけます。

レジストレーションメニュー曲集

いろいろなレジストレーションに合った曲(楽譜)が入っています。

レジストレーションメニュー曲集対応ディスク

レジストレーションメニュー曲集に対応した演奏データが入っています。

ボイスディスク

内蔵の音色とは別に、64種類の音色が選択できます。

3.5インチ2DDフロッピーディスク

自分の演奏を録音したり、作成したレジストレーションデータを記録することができます。

和文シート

各部の名称が日本語で書かれています。左パネルにかぶせてご使用ください。

保証書

# 本書の使い方

## ■本書の構成

本書は、大きく分けて、「基本編」、「活用編」、「付録」の3つの構成になっています。

エレクトーンを初めてお使いになる方は、エレクトーンの簡単な操作が記載されている「弾いてみましょう」を経験されることをお勧めします。次に、「基本編」をお読みになり、基本操作の理解を深めてください。  
エレクトーンの操作に慣れた方は、辞書をひくような感覚で、「活用編」をお読みください。

## ■本書の表記の統一について

各機能の説明ページでは、表記の方法が次のように統一されています。

機能説明：どのような機能なのかを説明しています。

操作方法：実際の例をもとにして、操作手順を説明しています。

操作のポイント：その機能の操作中に、特に重要な事項を説明しています。

注 意：特に注意していただきたい事柄を説明しています。

こんなこともできる：その機能に関連する他の機能を説明しています。

## 基本操作の流れ

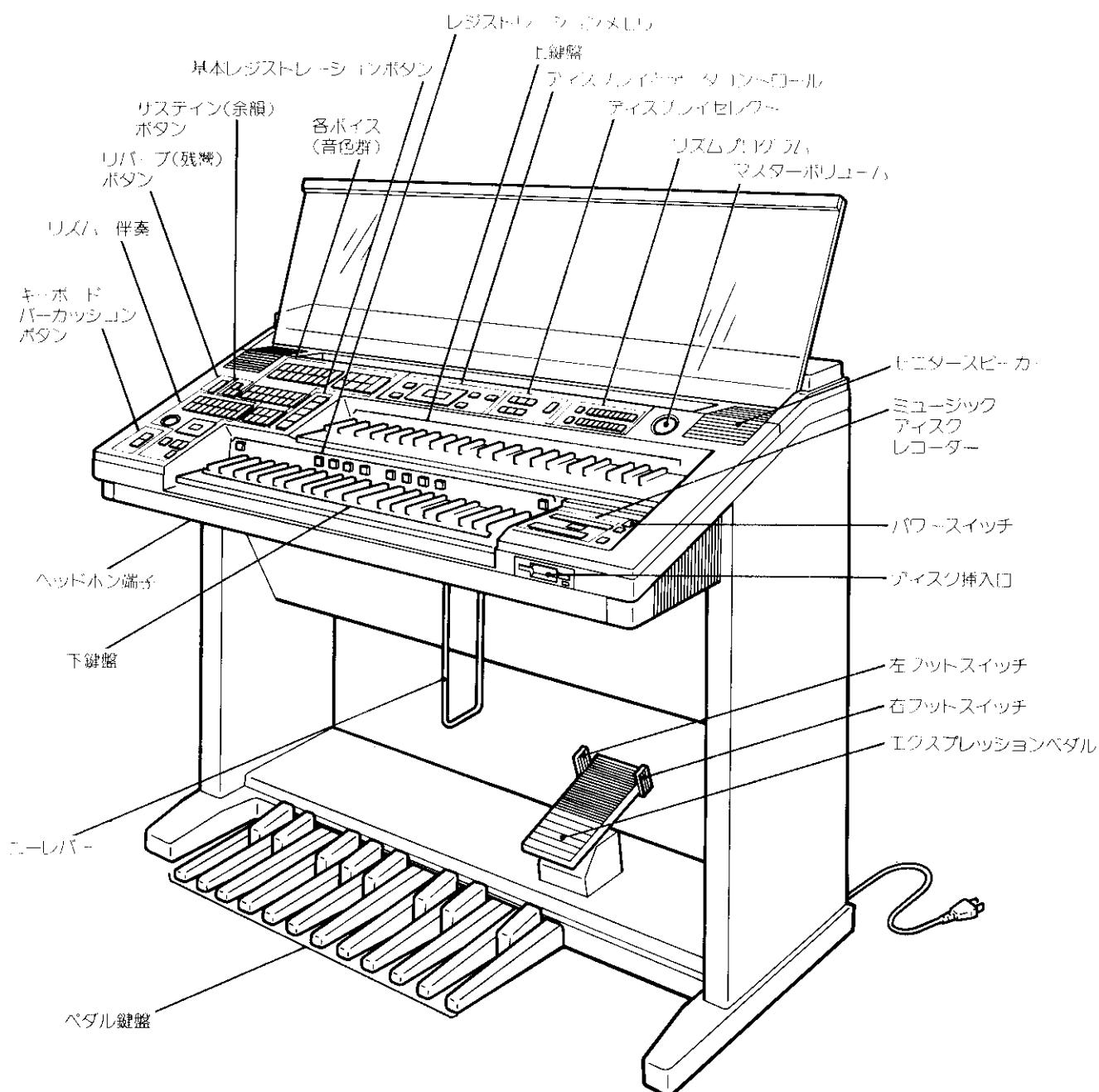
基本操作の流れは、「音色」→「リズム」→「効果」→「メモリー」のように4段階にわけられます。「基本編」では、ここで使われている絵文字と同じものが記載されており、どの段階の機能であるかを一目で確認できます。



## 操作パネル早見表

EL-37の操作パネルが、大きく分けられています。

各操作で使う箇所を捜し出すときに便利です。

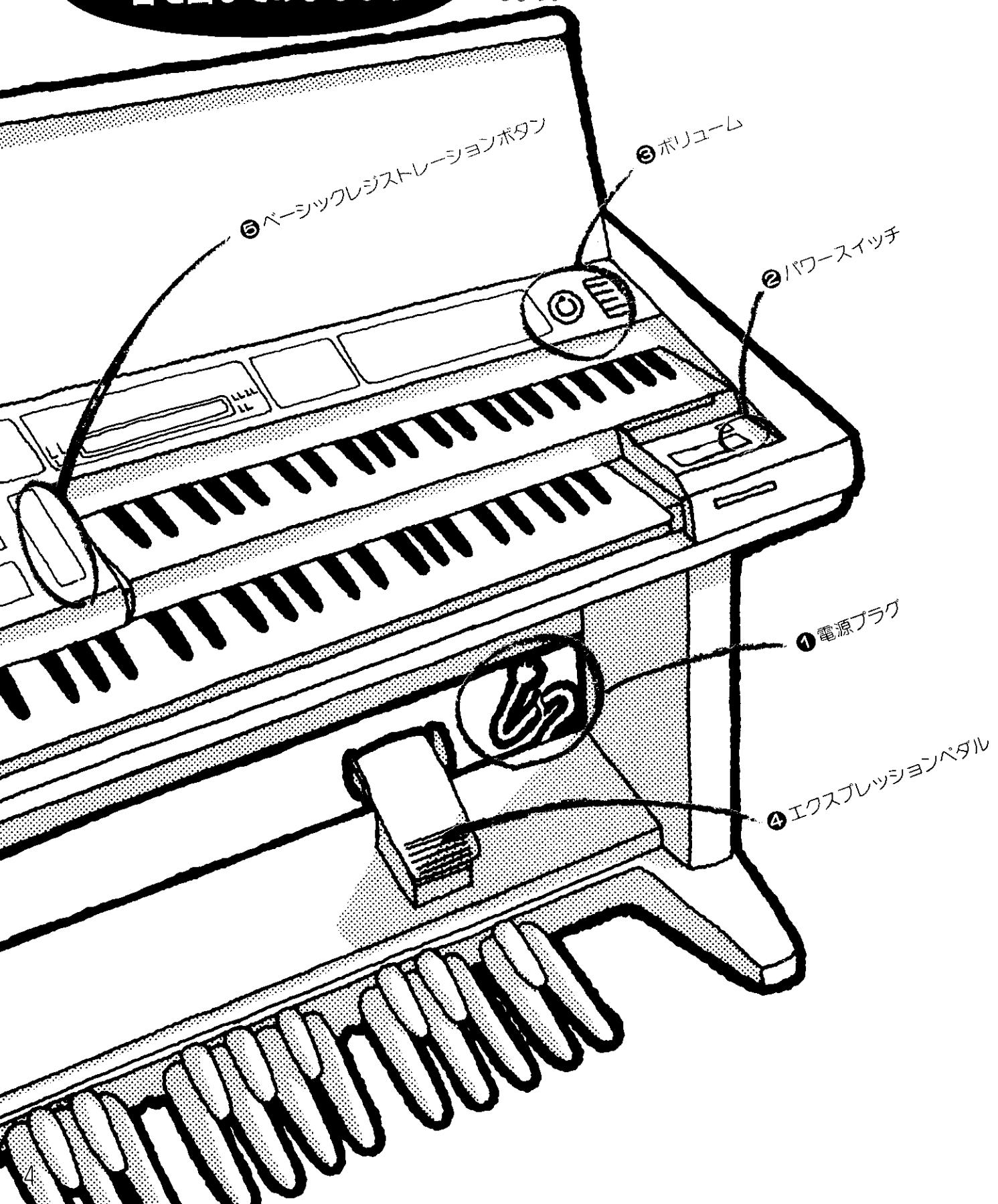


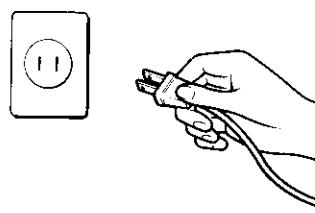
# 弾いてみましょ

ここでは、EL-37を初めてお使いになる方のために、簡単な操作について紹介します。  
では、EL-37を使って演奏してみましょう。

## 音を出してみましょう

まずは、音を出すための準備をして、実際に音を出してみましょう。

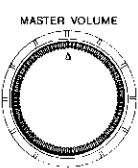




1 電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込みます。

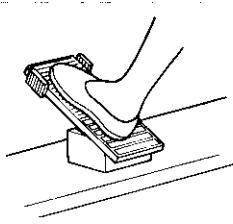


2 パワースイッチを押します。



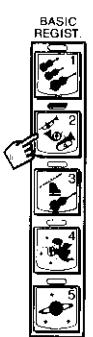
3 マスター・ボリュームを中央にセットします。

- エレクトーン全体の音量を調節します。



4 エクスプレッションペダルを右足で踏み込みます。

- 踏み込む量によって、演奏しながら音量を調節することができます。



5 ベーシック・レジストレーションの(2)ボタンを押します。

6 演奏してみましょう。

### アビニヨンの橋の上で

Moderato

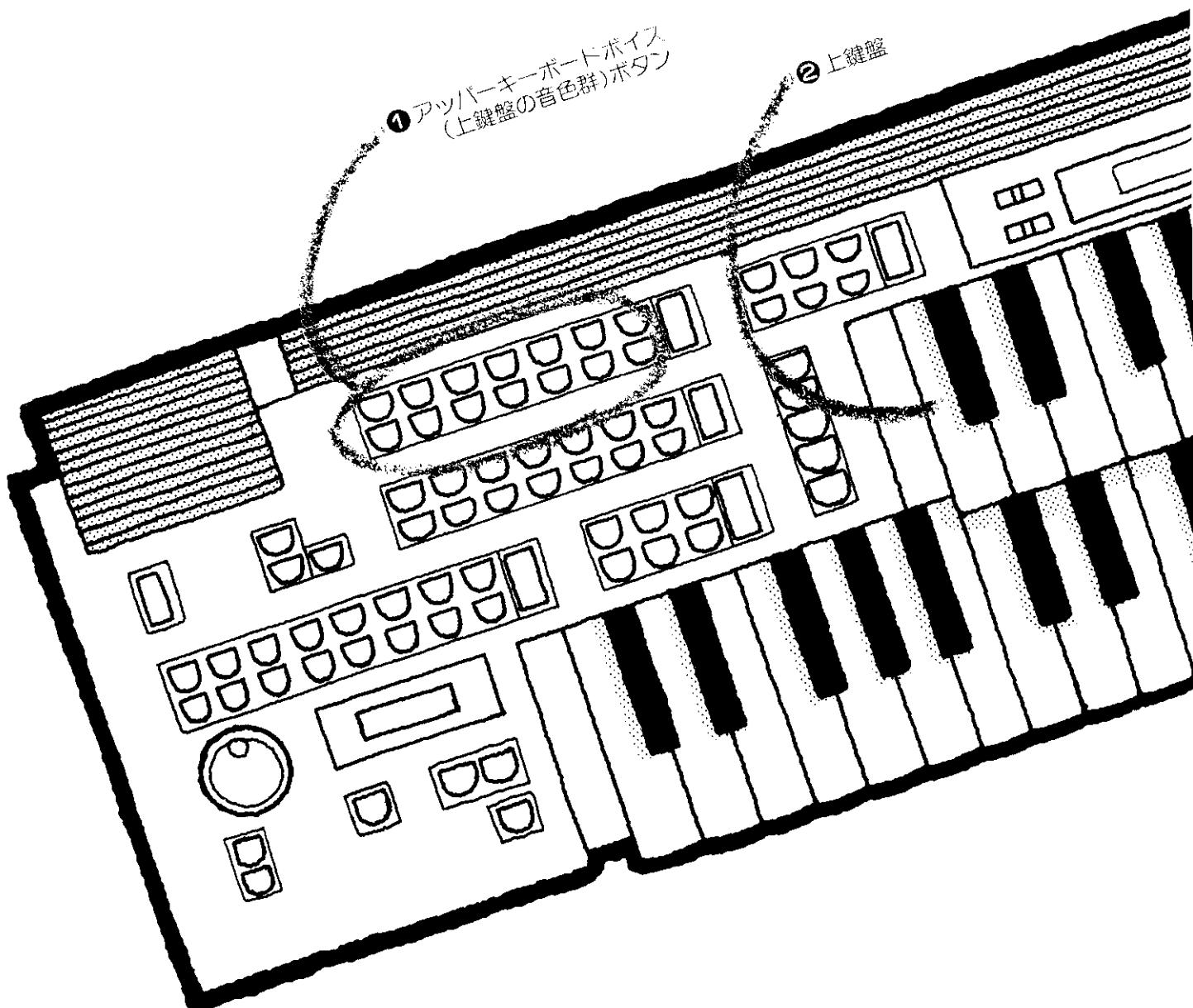
フランス民謡

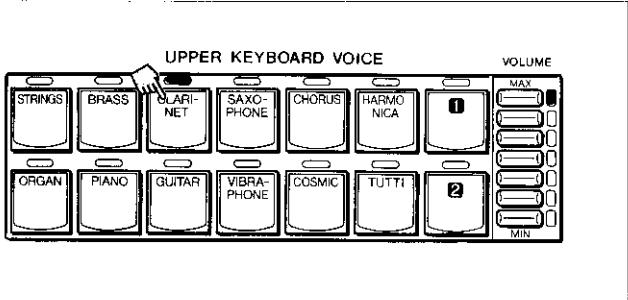
これで音が出ましたね！では次に音色を選んで、演奏したい音に変えてみましょう。

## 音色を変えてみましょう

上鍵盤の音色を、「クラリネット」の音に変えてみましょう。

「音色」について→P20参照





**I** アップバーキーボードボイスの(CLARINET)  
(クラリネット)ボタンを押します。

- 上鍵盤が「クラリネット」の音色になります。
  - アッパー・キーボードボイスのボリュームボタンを確認します。
  - 下鍵盤やペダル鍵盤の音色を変える場合も、同じように操作します。

## **2** 一曲を通して演奏してみましょう。

## アビニヨンの橋の上で

### **Moderato**

フランス民謡

上鍵盤

下鍵盤

ペダル鍵盤

C G<sub>7</sub>

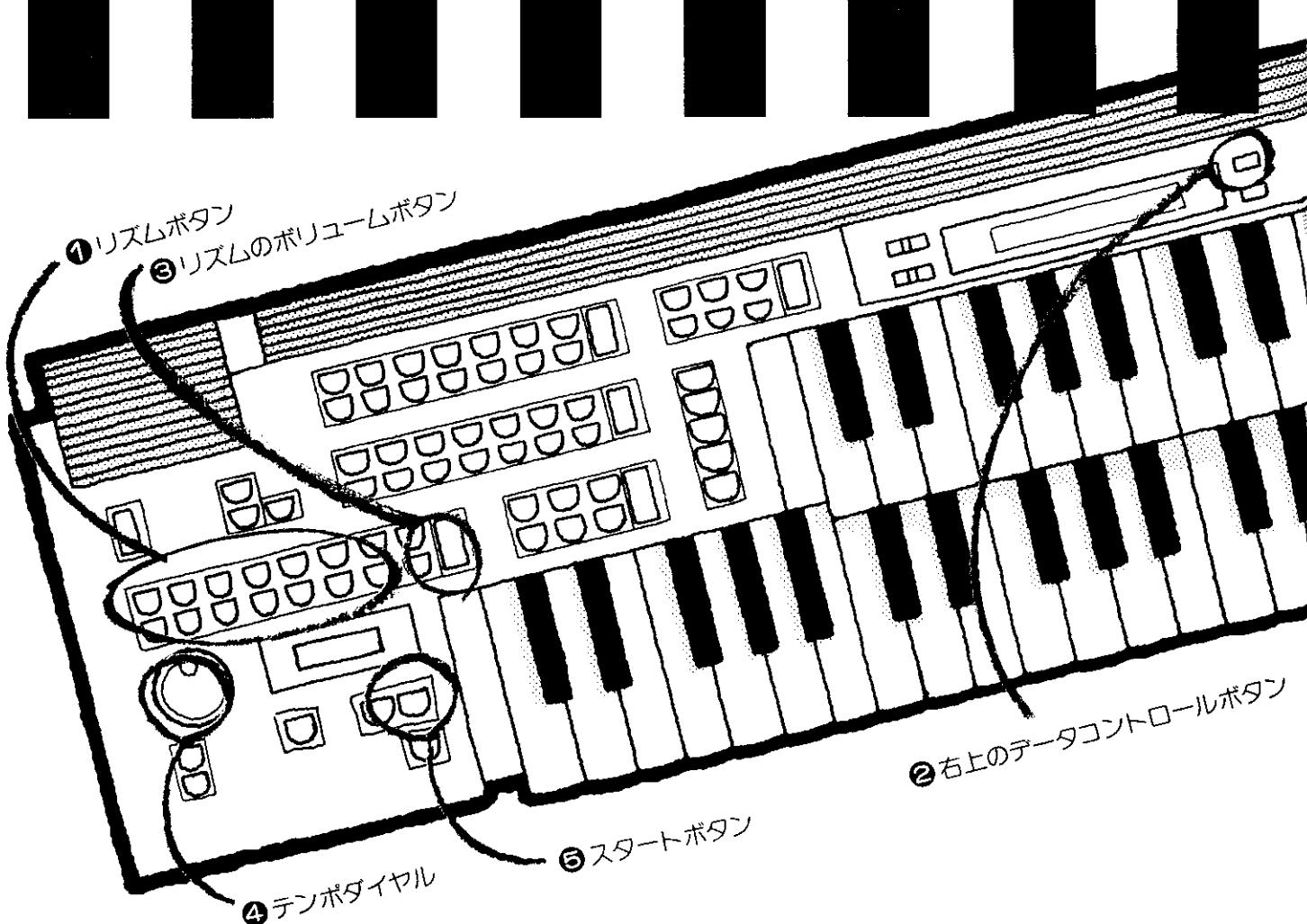
C G<sub>7</sub>

C G<sub>7</sub> C

C G<sub>7</sub> C Fine

D.C.

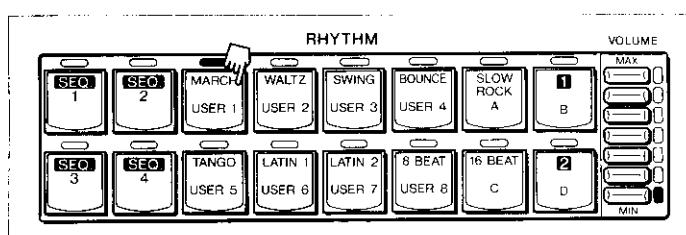
これで、上鍵盤でクラリネットの音色が出ましたね！では次にリズムを選んで演奏してみましょう。



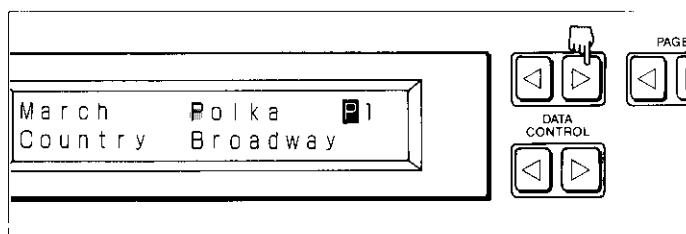
## リズムを選んで演奏してみましょう

いろいろなリズムの中から、「ポルカ」のリズムを選んで演奏してみましょう。

「リズム」について→P36参照

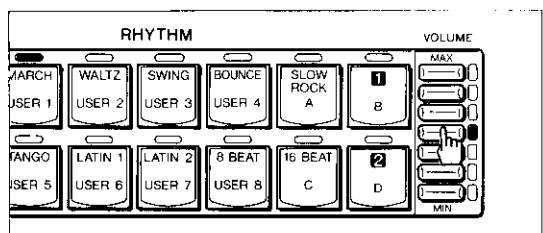


**1** リズムの(MARCH)(マーチ)ボタンを押します。



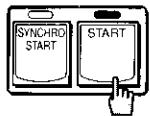
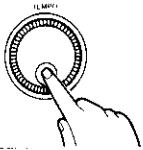
**2** 右上のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押します。

- 「ポルカ」のリズムになります。



**3** リズムのボリュームボタンを押します。

- リズムの音量が上がりります。



4 テンポダイヤルを回して、テンポを「90」にします。

5 (START)(スタート)ボタンを押します。

- リズムがスタートします。

6 「クラリネット」の音色で、「ポルカ」のリズムに合わせて、演奏してみましょう。

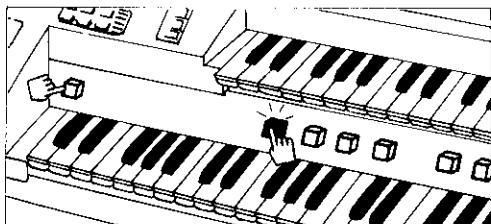
7 演奏が終わったら、もう一度(START)(スタート)ボタンを押します。

- リズムがストップします。

これで、EL-37の使い方が分かりましたね！では演奏したあと、電源を切る前に次のことを確認してみましょう。

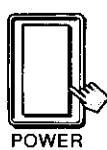
## 電源を切るまえに

ここまでに設定した音色やリズムの内容は、そのまま電源を切ると消えてしまいます。電源を切る前に、必ず、設定した内容をメモリー ボタンに記憶させましょう。ここでは、「クラリネット」の音色と、「ポルカ」のリズムを、メモリー(1)に記憶させてみましょう。「メモリー」について→P60参照



1 赤い(M./TO DISK)(メモリー／トゥーディスク)ボタンを押しながら、メモリー ボタン(1)を押します。

- ここで、メモリーできました。



2 パワースイッチを押して、電源を切ります。

- ここで、次にパワースイッチを入れた時に、レジストレーションメモリー ボタン(1)を押すだけで、設定した内容がそのままパネルに呼び出されます。

EL-37のパネル(音色、リズム)の設定を記憶させたものを、“レジストレーション”と言います。つまり、演奏ができる状態の音色やリズムなどの組み合わせのひとつひとつを指している言葉です。

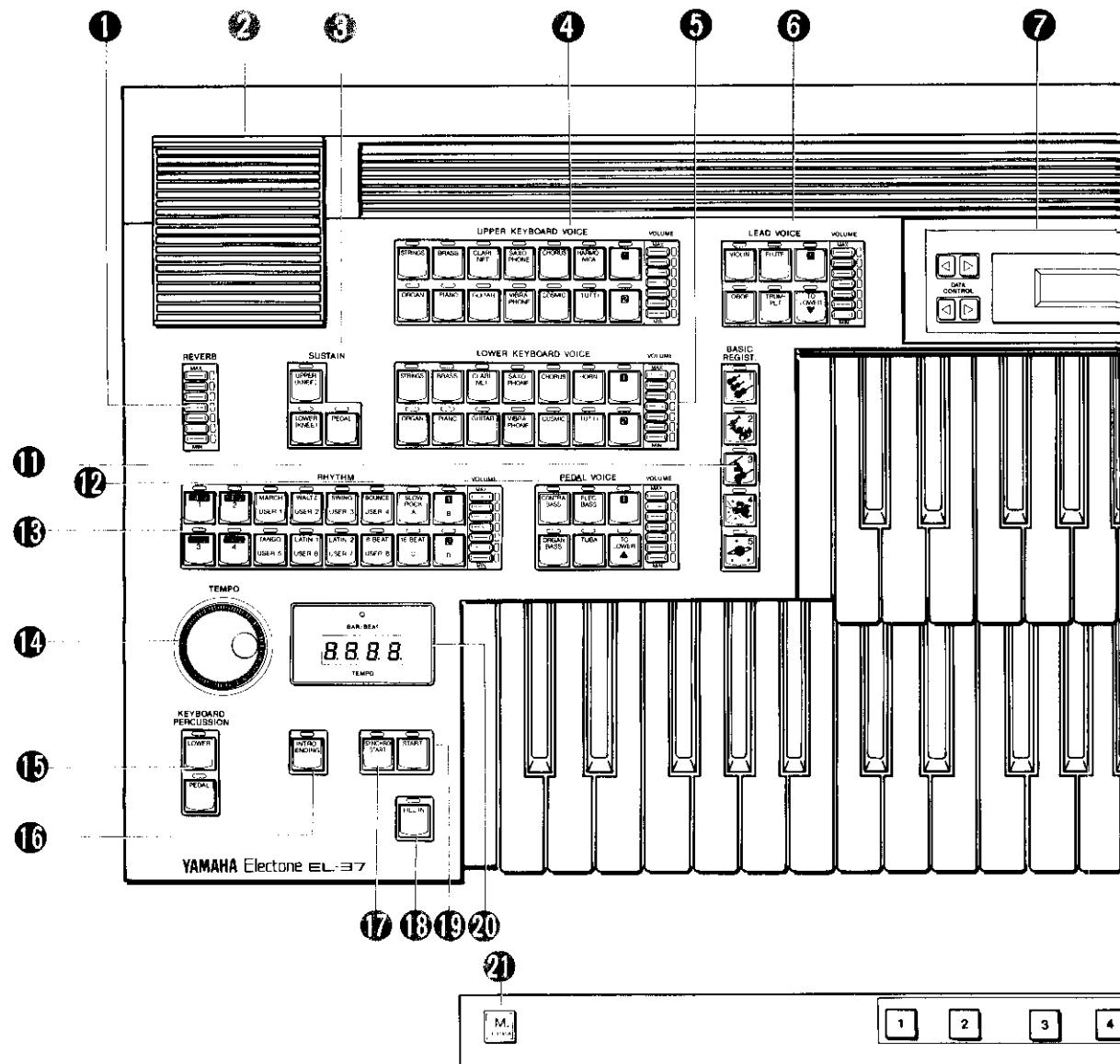
エレクトーンでよく使う言葉ですので、覚えておいてください。

\*レジストレーションは、略して“レジスト”とも言います。(例：“レジストメモリー”、“レジストシフト”など)

記憶させたレジストレーションや作成したリズムパターンは、EL-37の電源を1週間に1回以上入れないと消えてしまいます。フロッピーディスクに記録して残しましょう。(「レジストレーションデータの記録」について→P151参照)

EL-37の楽しさを感じていただけましたか。EL-37は、豊富な機能を持っていますので、お楽しみください。

# 各部の名称とはたらき(パネル)



①リハーフボタン(→P57参照)

:全体にかかるリバーブ(残響)効果の深さを調節できます。

②モニタースピーカー

:自分の演奏がよく聞こえるように、ここからも音が出ます。

③サスティン(→P58参照)

:上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤ごとに、サスティン(余韻)効果をかけることができます。

④アップバーキーボードボイス(→P22参照)

:上鍵盤の音色を選んだり、音量を調節できます。

⑤ロワーキーボードボイス(→P22参照)

:下鍵盤の音色を選んだり、音量を調節できます。

⑥リードボイス(→P22参照)

:リード演奏用の音色を選んだり、音量を調節できます。

⑦ディスプレイとデータコントロール(→P13参照)

:様々な設定で使うディスプレイとボタンです。

⑧ディスプレイセレクト(→P13参照)

:ディスプレイの表示を目的の表示にするためのボタンです。

⑨リズムプログラム(→P87、P114参照)

:リズムのパターンを作ったり、リズムの再生順序を設定するときに使うボタンです。

⑩マスター音量(→P5参照)

:エレクトーン全体の音量を調節できます。

⑪ベーシックレジストレーションボタン(→P19参照)

:基本レジストレーションにするときの選択ボタンです。

⑫ペダルボイス(→P22参照)

:ペダル鍵盤用の音色を選んだり、音量を調節できます。

⑬リズム(→P36参照)

:リズムパターンを選んだり、音量を調節できます。

⑭テンポダイヤル(→P41参照)

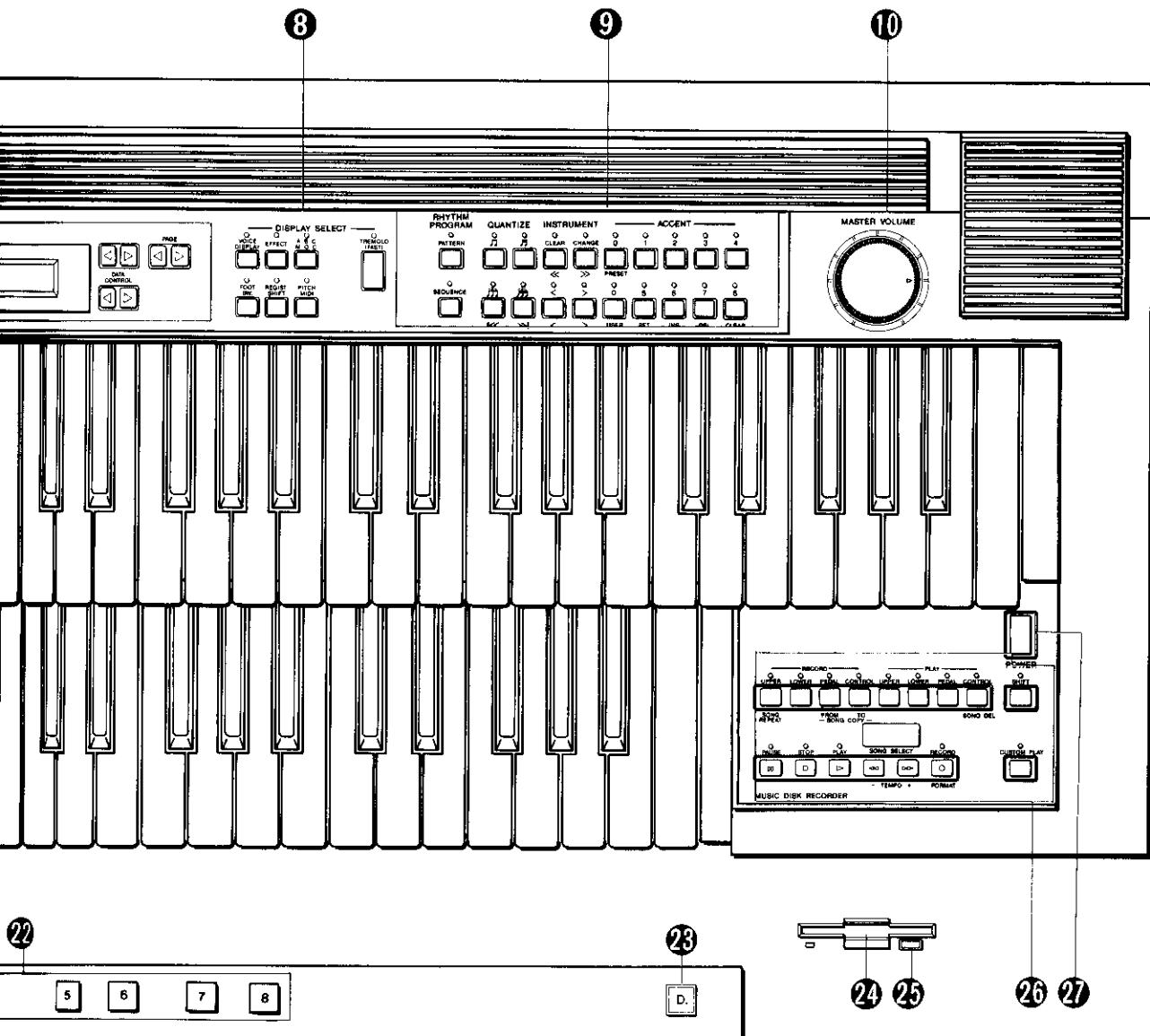
:リズムの速さを調節できます。

⑮キーボードペダル(→P49参照)

:下鍵盤やペダル鍵盤で打楽器の音を出すときに使うボタンです。

⑯イントロ／エンディングボタン(→P40、41参照)

:イントロパターンからリズムをスタートさせたり、エンディングパターンでリズムを停止させることができます。



⑧シンクロスタートボタン(→P39参照)

⑨フィルインボタン(→P40参照)

⑩スタートボタン(→P39参照)

⑪テンポ、バー／ビートディスプレイ(→P41参照) :リズムの速さや小節数、拍数を表示します。

⑫メモリー／トゥーディスクボタン

(→P60、152参照) :設定したレジストレーションを、メモリーボタンに記憶させたり、フロッピーディスクに記録するときには使います。

⑬メモリーボタン(→P60、61参照)

⑭ディセーブルボタン(→P62参照)

⑮フロッピーディスク挿入口(→P147参照)

⑯ディスク取り出しボタン(→P147参照)

⑰ミュージックディスクレコーダー(→P142参照) :ディスクに演奏を録音したり、再生させたり、付属のディスクを使うときなどに使います。

⑱パワースイッチ(→P5参照) :主電源のスイッチです。

:下鍵盤やペダル鍵盤を押すことにより、リズムをスタートさせることができます。

:フィルインのパターンからリズムをスタートさせたり、途中でフィルインのパターンを入れることができます。

:リズムをスタート、ストップさせるボタンです。

:設定したレジストレーションを記憶させたり、フロッピーディスクに記録するときには使います。

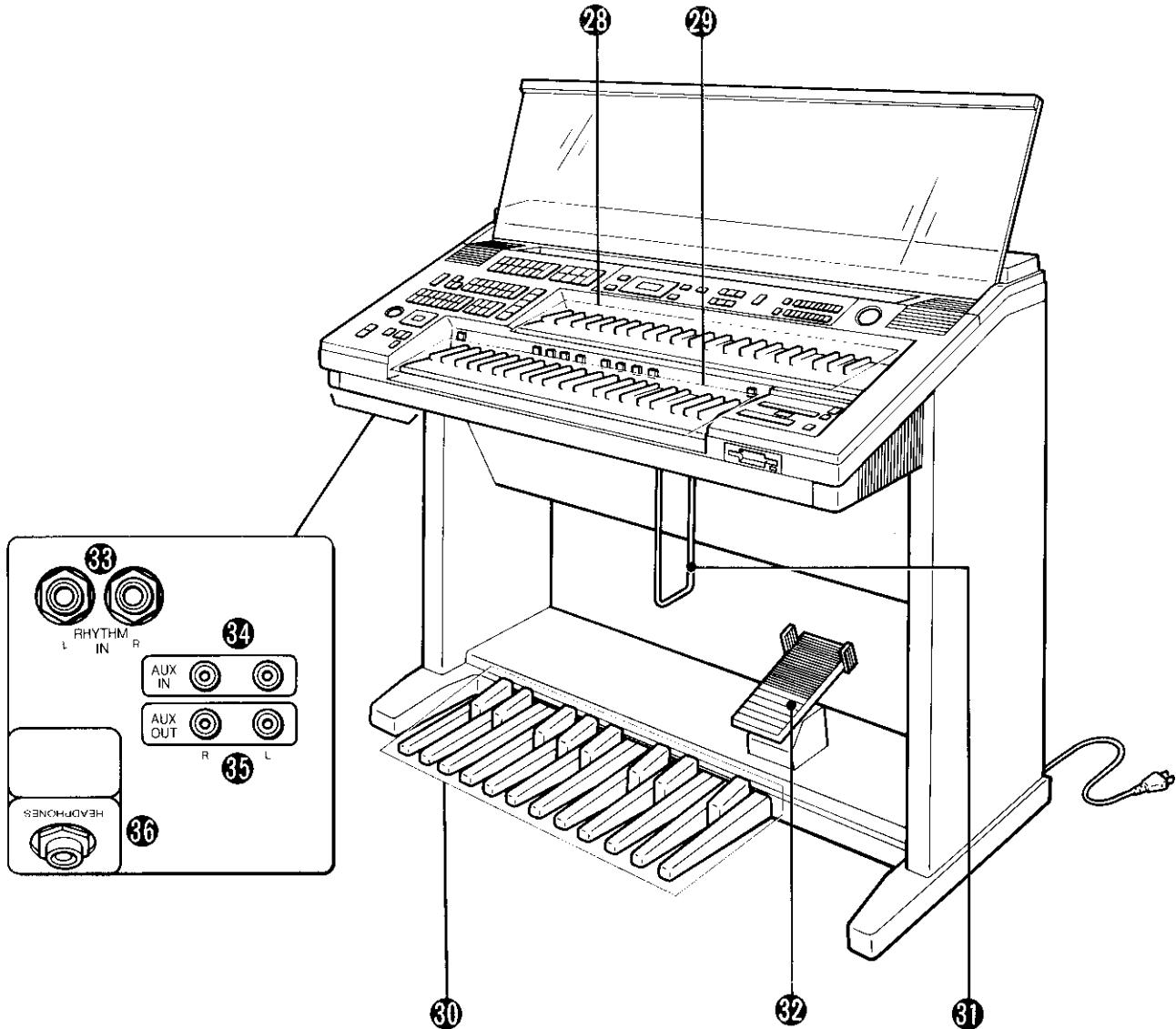
:設定したレジストレーションを記憶させたり、記憶させたレジストレーションを再現させるときには使います。

:レジストレーションの変更に関係なく、その時のリズムのセッティングを保護するボタンです。

:フロッピーディスクを差し込む所です。

:挿入したディスクを取り出すためのボタンです。

# 各部の名称とはたらき (全体図、付属端子)



②8上鍵盤

②9下鍵盤

③0ペダル鍵盤

③1ニーレバー(→P59参照) : 演奏しながら、サステインなどの効果をコントロールします。

③2エクスプレッションペダル(→P5参照) : 演奏しながら、エレクトーン全体の音量をコントロールします。

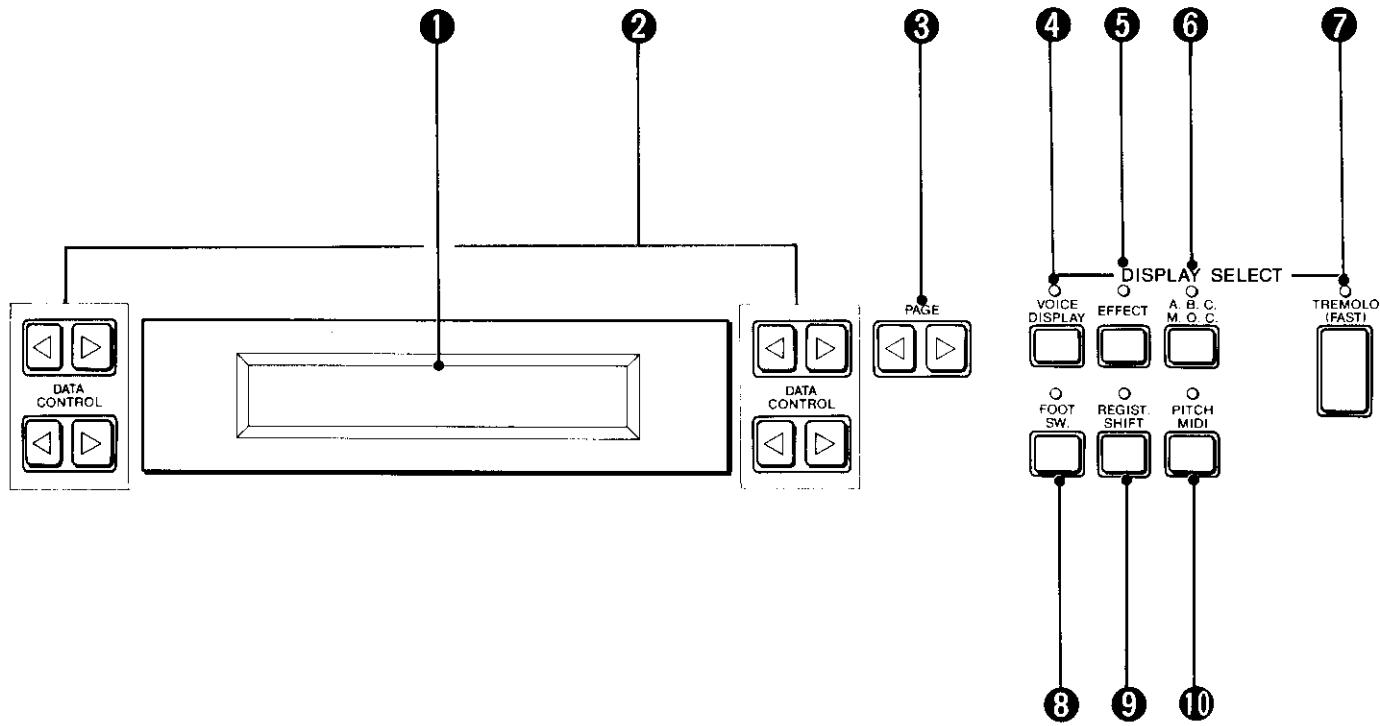
③3リズム入力端子 : 他のリズムマシンからの信号をステレオ入力する端子です。

③4ライン入力端子 : 外部機器からの音声信号をステレオ入力する端子です。この端子で入力した音の音量は、接続した外部機器で調節します。

③5ライン出力端子 : キーボードアンプなどの外部スピーカーやミキサーなどに音声信号をステレオ出力する端子です。

③6ヘッドホン端子 : ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホン以外の機器を接続することはやめてください。

# 各部の名称とはたらき (ディスプレイ、データコントロール、ディスプレイセレクト)



①ディスプレイ(→P14参照)

: 現在使われている音色やリズムを表示したり、設定中のメニューが表示されます。

②データコントロールボタン(→P15参照)

: 表示されたメニューの値などを変更できます。目的のメニュー横のボタンを使います。

③ページボタン(→P15参照)

: ひとつの機能の設定メニューが数ページに分かれている場合は、このボタンでページを変更します。

④ボイスディスプレイボタン(→P35参照)

: アッパー、ロワー、ペダル、リードボイスとして、それぞれ何という音色が選択されているか、一度に表示させることができます。

⑤エフェクトボタン(→P80参照)

: ディレイ効果またはフランジャー効果をかけた場合の、それぞれの効果の設定値を表示させることができます。

⑥オートベースコード、メロディーオンコードボタン(→P52、54)

: 伴奏機能の設定状態を表示させることができます。

⑦トレモロ(ファースト)ボタン(→P79参照)

参照): このボタンを押してランプを点灯させておくと、エフェクトの設定でトレモロを選んだ音に対してトレモロ(音が速く回転しているような)効果がかかります。

⑧フットスイッチボタン(→P135参照)

: フットスイッチを使ってできる機能の設定メニューを表示させることができます。

⑨レジストシフトボタン(→P128参照)

: 右フットスイッチを使って、レジストレーションメモリー番号を変更する機能の設定メニューを表示させることができます。

⑩ピッチ/MIDIボタン(→P190、195参照)

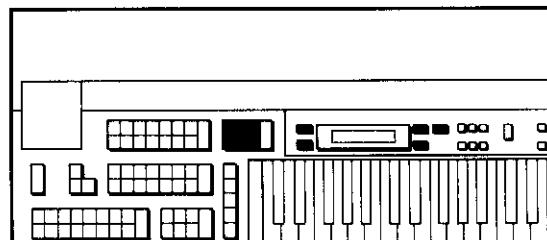
: エレクトーン全体の音程の微調節や移調機能、MIDIの設定メニューを表示させることができます。

# ディスプレイとボタン

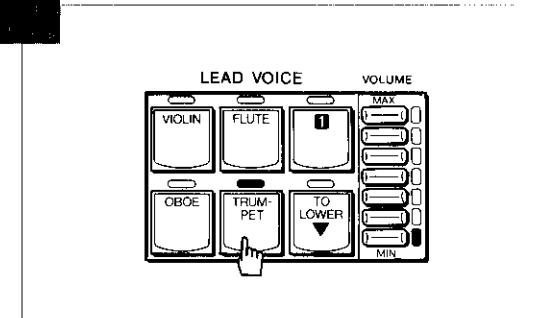
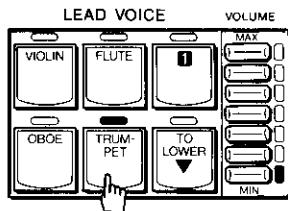
操作に応じて、ディスプレイには様々なメニューが表示されますが、ディスプレイと各部のボタンの間には、規則があります。ここでは、その規則を紹介します。

## 操作方法

ここでは、リードボイスに関連するメニューを表示させ、一部の値を変更する操作を例にして説明します。

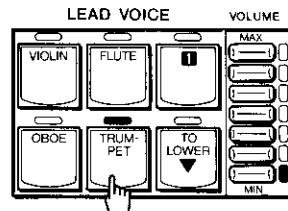


リードボイスの音色ボタンを押します。



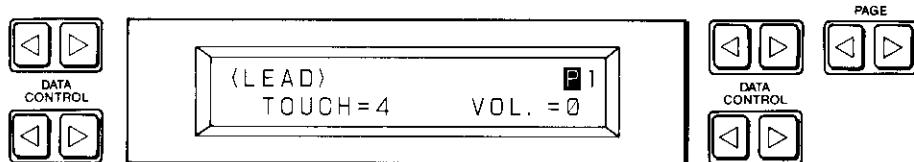
●音色ボタンを1回押すと、音色名の表示になります。

リードボイスのコンディションを表示させる場合は、もう1回同じボタンを押します。



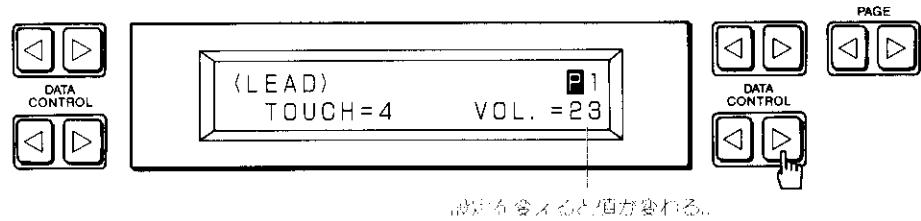
●すでに目的の表示になっている場合は、この操作は必要ありません。

例) この場合はメニューが2つ表示されています。

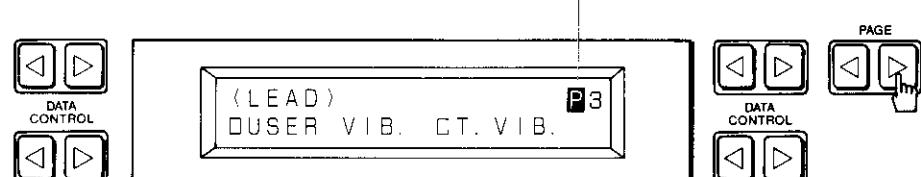


●押したボタンに関連するメニューが、ディスプレイに最大で4つ表示されます。

**3** 設定は、表示されたメニュー横のデータコントロールボタン(↖)(↗)で行います。  
例) 「VOL.」(音量)の値を変える場合は、右下のボタンを押します。



**4** 他のページを表示させるには、ページボタン(↖)(↗)を押します。  
例) たとえば、P3を表示させる場合は、ページボタン(↗)を2回押します。



●関連するメニューが1ページで収まらない場合は、数ページに別れています。

## 操作のポイント

- 関連する最初の表示を出すためには該当するパネル上のそれぞれのボタンを押しますが、ディスプレイに表示された後の設定は、主にデータコントロールボタン(↖)(↗)や、ページボタン(↖)(↗)で行います。



## 覚えておきたい用語

### ● 基本レジストレーション

EL-37にあらかじめセットされている音色の基本的な組み合わせ（音色に関する設定、効果に関する設定の組み合わせ）です。1～5までの5種類の組み合わせがあり、ボタンを押すだけで基本設定することができます。

### ● レジストレーションメモリー

基本レジストレーションとは別に、自分で設定した音色や効果、リズムなどをレジストレーションメモリーボタンに記憶させる機能です。音色名と音色に関する設定、リズム名とリズムに関する設定、効果に関する設定を、組み合わせとして記憶することができます。

### ● 音色

“あんしょく”と読み、記憶されている楽器の音のことです。EL-37には、全部で36種類の音色が記憶されています。

### ● 音色群

アッパーキーボードボイス（上鍵盤用）、リードボイス（上鍵盤リード演奏用）、口ワーキーボードボイス（下鍵盤用）、ペダルボイス（ペダル鍵盤用）という4つの音色群があります。

### ● ボイスディスプレイ

アッパーキーボードボイス、リードボイス、口ワーキーボードボイス、ペダルボイスでそれぞれ選択されている音色名を、一度に表示させる機能です。

### ● リズム

リズムパートの音のことです。EL-37には、38種類のリズムが内蔵されています。

### ● エフェクト

音の感じを変える効果のことです。EL-37には、全ての音にかかるリバーブ（残響）効果をはじめ、音色群ごとにかかるサステイン（余韻）効果やディレイ（こだま）効果など、様々な効果が内蔵されています。

### ● フィート

音色群ごとに設定できる音の高さのことです。

### ● タッチトーン

鍵盤を弾く強さによって、弾く音の音量や音色を変化させる機能です。

イニシャルタッチは、音の立ち上がりの音量・音色を変化させ、アフタータッチは、立ち上がった後の音量・音色をコントロールします。

# 基本編

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 操作の流れ                    | 18 |
| 基本レジストレーション              |    |
| 基本レジストレーションを使う           | 19 |
| 音色                       |    |
| 音色を選ぶ(ボイスメニュー)           | 20 |
| 音色の発音状態を決める(ボイスコンディション)  | 24 |
| タッチトーンの設定                | 24 |
| ボリュームファイン(音量をより細かく設定する)  | 26 |
| フィートの設定                  | 28 |
| エフェクトの選択                 | 30 |
| ピブラートの設定                 | 32 |
| 音色名の表示に戻す操作              | 35 |
| リズム                      |    |
| リズムを選ぶ(リズムメニュー)          | 36 |
| リズムをコントロールする             | 39 |
| リズムをスタート/ストップさせる         | 39 |
| 鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせる     | 39 |
| イントロパターンからリズムをスタートさせる    | 40 |
| フィルインを入れる                | 40 |
| エンディングパターンでリズムをストップさせる   | 41 |
| テンポを調節する                 | 41 |
| テンポ、バー/ビートディスプレイについて     | 41 |
| リズムに関する設定をする(リズムコンディション) | 43 |
| オートバリエーションの設定            | 43 |
| ボリュームファイン(音量をより細かく設定する)  | 44 |
| アカンパニメントの設定              | 46 |
| キーボードパーカッション             | 48 |
| A.B.C.(オートベースコード)を使う     | 50 |
| M.O.C.(メロディオンコード)を使う     | 54 |
| 効果(I)                    |    |
| 効果の種類について                | 56 |
| リバーブ(残響)効果               | 57 |
| サステイン(余韻)効果              | 58 |
| レジストレーションメモリー            |    |
| レジストレーションをメモリーボタンに記憶させる  | 60 |
| 記憶させたレジストレーションを呼び出す      | 61 |
| ディセーブルについて               | 62 |
| レジストレーションメニュー(ディスク)      |    |
| レジストレーションメニューを使う         | 63 |
| レジストレーションメニューの表示に戻す操作    | 65 |
| レジストレーションメニューの組み合わせと解説   | 66 |

# 操作の流れ

エレクトーンの基本操作の流れは次のように4つに分かれます。なお、「基本編」では、この流れに沿って説明しています。

- 各音色群の音色を選びます。
- 各音色群の音量を調節します。
- 各音色群の発音状態を決めます。(タッチトーンの設定、ボリュームファイン(音量をより細かく設定する)、発音の高さ(フィート)設定、効果(エフェクト)の選択、ピップラート効果の設定)
- 必要に応じて音色名の表示に戻す操作をします。



- リズムを選びます。
- リズムの音量を調節します。
- リズムをコントロールします。
- リズムに関する設定をします。(オートバリエーションのオン／オフ選択、ボリュームファイン(音量をより細かく設定する)、アカンパニメントの設定)



- リバーブ効果の設定をします。
- サステイン効果の設定をします。



- 各設定および選択を、メモリーボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させます。
- 記憶させた各設定および選択(レジストレーション)を呼び出します。

\*「各設定および選択を、メモリーボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させる」操作は、「音色」～効果(I)の全ての設定を行ってからでないといけないわけではありません。一部の設定をした時点で一旦記憶させてもかまいません。

# 基本レジストレーションを使う



音色

## 機能説明

## 基本レジストレーション 観表

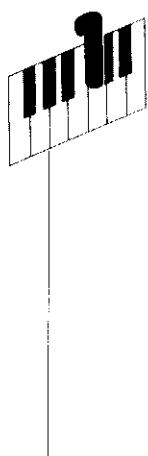
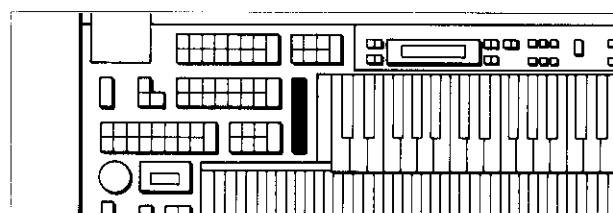
基本レジストレーションとは、EL-37にあらかじめセットされている音色の基本的な組み合せのことです。1～5まで(5種類)の組み合せがあり、ボタンを押すだけで希望する設定にすることができます。

基本レジストレーション1～5の内容です。

| 番号 | アッパー・キー・ボード<br>ボイス | ローワー・キー・ボード<br>ボイス | ペダルボイス |
|----|--------------------|--------------------|--------|
| 1  | ストリングス             | ストリングス             | コントラバス |
| 2  | プラス                | ホルン                | チューバ   |
| 3  | フルート               | ピアノ                | コントラバス |
| 4  | コズミック1             | コズミック2             | コズミック2 |
| 5  | シンセプラス             | コズミック3             | シンセベース |

## 操作方法

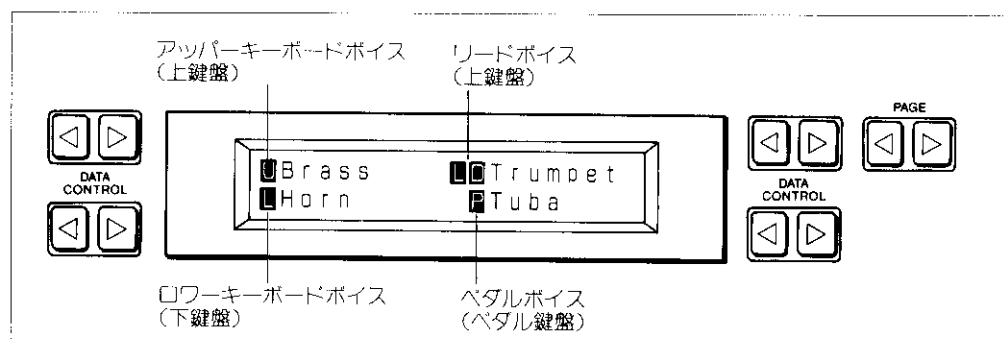
基本レジストレーション2にする操作を例にして説明します。  
他の基本レジストレーションにする場合も、操作は同様です。



ベーシックレジストレーションボタン(2)を押します。



- ランプが点灯して、基本レジストレーション2が呼び出されます。



- ディスプレイには、呼び出された基本レジストレーション2の音色名が一度に表示されます。
- 音色名以外の表示になっている場合は、ボイスディスプレイボタンを押して、音色名の表示にしてください。(→P35参照)

## 注意

- 電源を入れた時点で、必ず基本レジストレーション1になります。
- 基本レジストレーションでは、音色名以外は基本的な設定になっています。
- 基本レジストレーションでは、リードボイスのボリューム(音量)が0になっています。

# 音色を選ぶ(ボイスメニュー)

## 機能説明

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の音色をそれぞれ選んで演奏できます。  
上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の音色は、次のような音色群から選びます。

- 上鍵盤ではアッパー・キー・ボードボイスだけでなく、リードボイスの音色を選んで演奏することもできます。

| 鍵盤    | 音色群                   |
|-------|-----------------------|
| 上鍵盤   | アッパー・キー・ボードボイス、リードボイス |
| 下鍵盤   | ローウェイ・ボードボイス          |
| ペダル鍵盤 | ペダルボイス                |

- ドットボタンを使えば、キーボードパーカッション以外の音色を選ぶことができます。

## 音色一覧表

それぞれの音色群に含まれている音色を紹介します。

### アッパー・キー・ボードボイス/ローウェイ・ボードボイス

上鍵盤の音色、および下鍵盤の音色として指定できる音色の一覧表です。

全音色共に複音で演奏できます。

| 音色ボタン                            | ボイスメニュー表示  | 解説   |
|----------------------------------|--|--|
| STRINGS<br>(ストリングス)              | Strings<br>(ストリングス)<br>PizzStrs<br>(ピザカートストリングス) | 弦楽器が何本も集まつたような、厚みのある弦楽器の音色。                          |
| BRASS<br>(ブラス)                   | Brass<br>(ブラス)<br>SynBrass<br>(シンセブラス)           | 金管楽器系の音色。  |
| CLARINET<br>(クラリネット)             | Clarinet<br>(クラリネット)<br>—                        | よくオーケストラや吹奏楽で使われる木管楽器(クラリネット)の音色。                    |
| SAXOPHONE<br>(サキソフォン)            | Saxophon<br>(サキソフォン)<br>—                        | リードの振動を音源にした木管楽器(サキソフォン)の音色。                         |
| CHORUS<br>(コーラス)                 | Chorus<br>(コーラス)<br>—                            | 複数の女性が“ア”と声を出してコーラスをしているような厚みのある音色。                  |
| HARMONICA<br>(ハーモニカ)<br>(アッパー専用) | Harmonic<br>(ハーモニカ)<br>—                         | ハーモニカの音色。  |
| HORN<br>(ホルン)<br>(ローウェイ専用)       | Horn<br>(ホルン)<br>—                               | 円すい形をした金管楽器(ホルン)で、プラスよりも柔らかい音色。                      |
| ORGAN<br>(オルガン)                  | Organ<br>(オルガン)<br>—                             | オルガンの音色。   |
| PIANO<br>(ピアノ)                   | Piano<br>(ピアノ)<br>Harpsi<br>(ハープシコード)            | E_Piano<br>(エレクトリックピアノ)<br>ピアノの音色。                   |
| GUITAR<br>(ギター)                  | Guitar<br>(ギター)<br>E_Guitar<br>(エレクトリックギター)      | ギターの音色。  |
| VIBRAPHONE<br>(ビブラフォン)           | Vibrphon<br>(ビブラフォン)<br>Marimba<br>(マリンバ)        | ファン付きの共鳴管を持つた鉄琴(ビブラフォン)など、打楽器系の音色。                   |
| COSMIC<br>(コズミック)                | Cosmic1<br>(コズミック1)<br>Cosmic3<br>(コズミック3)       | Cosmic2<br>(コズミック2)<br>シンセサイザー等で作り出せる自然楽器にはない電子的な音色。 |
| TUTTI<br>(トゥッティ)                 | Tutti 1<br>(トゥッティ1)<br>—                         | Tutti 2<br>(トゥッティ2)<br>弦楽器や管楽器で編成されたオーケストラタイプの音色。    |

- ディスプレイに表示される英語の音色名は、文字数の制限により省略されるものがあります。(本表英語の音色名は、ディスプレイの表示に合わせてあります。)



## リードボイス

上鍵盤のリード演奏用の音色として指定できる音色の一覧表です。

全音色共に単音（1音）でのみ演奏できます。複音で演奏した場合は、最高音の音だけが発音されます。

| 音色ボタン               | ボイスメニュー表示                                   |                        | 解説        |
|---------------------|---|------------------------|-----------|
| VIOLIN<br>(バイオリン)   | Violin<br>(バイオリン)<br>—                      | —<br>—                 | バイオリンの音色。 |
| FLUTE<br>(フルート)     | Flute<br>(フルート)<br>Whistle<br>(ホイッスル)       | —<br>—                 | 笛系の音色。    |
| OBOE<br>(オーボエ)      | Oboe<br>(オーボエ)<br>—                         | Bassoon<br>(バスーン)<br>— | 木管楽器系の音色。 |
| TRUMPET<br>(トランペット) | Trumpet<br>(トランペット)<br>Trombone<br>(トロンボーン) | —<br>—                 | 金管楽器系の音色。 |

## ペダルボイス

ペダル鍵盤の音色として指定できる音色の一覧表です。

全音色共に単音（1音）でのみ演奏できます。

| 音色ボタン                      | ボイスメニュー表示                                      |                             | 解説                 |
|----------------------------|--|-----------------------------|--------------------|
| CONTRABASS<br>(コントラバス)     | ContBass<br>(コントラバス)<br>—                      | PizzBass<br>(ピチカートベース)<br>— | 弦楽器系のベース用音色。       |
| ELEC. BASS<br>(エレクトリックベース) | E. Bass<br>(エレクトリックベース)<br>SynBass<br>(シンセベース) | —<br>—                      | 電気楽器、電子楽器のベース用音色。  |
| ORGAN BASS<br>(オルガンベース)    | OrgBass<br>(オルガンベース)<br>—                      | —<br>—                      | オルガンのベース用音色。       |
| TUBA<br>(チューバ)             | Tuba<br>(チューバ)<br>—                            | —<br>—                      | 金管楽器(チューバ)のベース用音色。 |

## 同時発音数

一度に鍵盤を押されたときに発音させることができる音数は、次のような制限があります。

アツパーキーボードボイス、  
ロワーキーボードボイス

上鍵盤と下鍵盤をあわせて、最大で11音同時に  
発音させることができます。

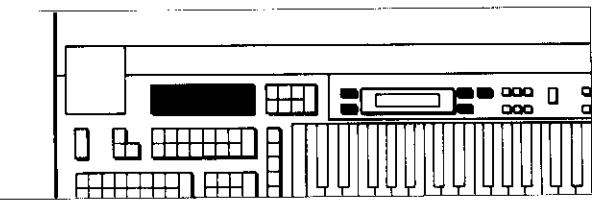
リードボイス、  
ペダルボイス

1音だけ発音させることができます。

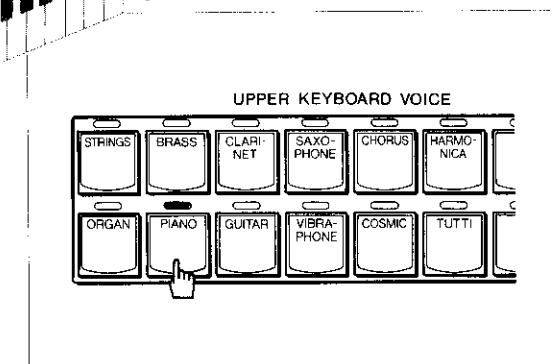
## 音色を選ぶ(ボイスメニュー)

### 操作方法

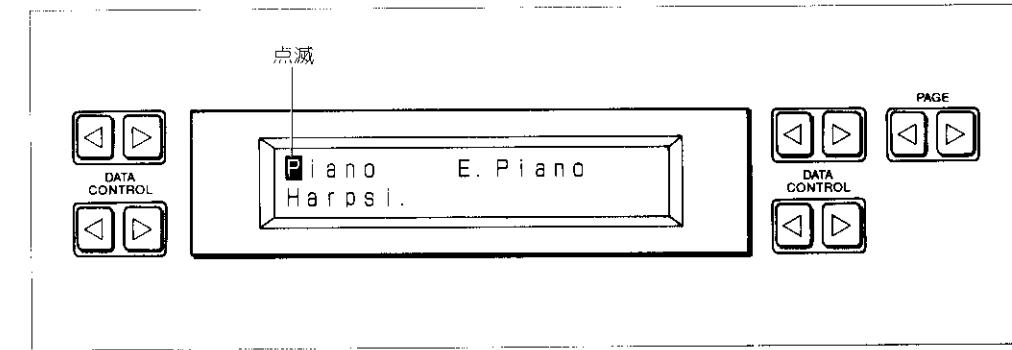
アッパー・キー・ボードボイスを、ピアノの「E.Piano」(エレクトリック・ピアノ)の音色にして、アッパー・キー・ボードボイスの音量を最大にする操作を例にして説明します。他の音色群の音色を選ぶ場合も、操作は同様です。



アッパー・キー・ボードボイスの(PIANO)(ピアノ)ボタンを押します。



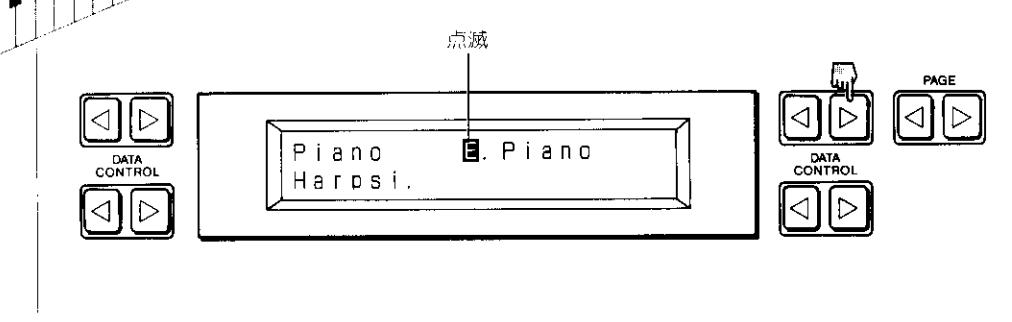
- (PIANO)(ピアノ)ボタンのランプが点灯します。



- ディスプレイには、(PIANO)(ピアノ)ボタンに属する音色名が、全て表示されます。(ボイスメニュー画面)
- それまで選ばれていた音色名の頭文字が点滅します。(頭文字と黒い四角の交互表示)

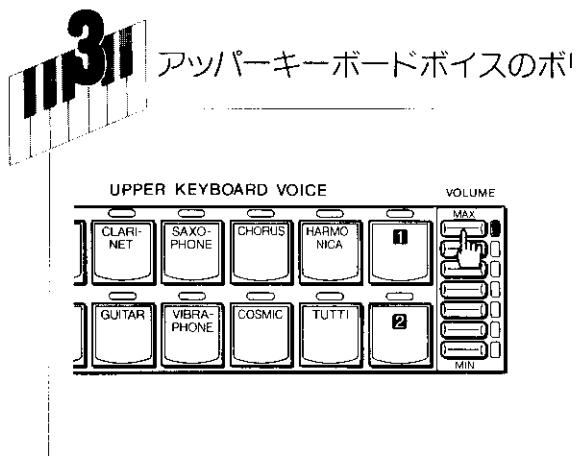


右上のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押します。



- 「E.Piano」の頭文字の「E」が点滅に変わります。
- 選択した音色で演奏できます。

これでアッパー・キー・ボードボイスは、「E.Piano」の音色になりました。



アッパー・キー・ボード・ボイスのボリューム・ボタンを押します。

- 最上段のランプが点灯します。

これでアッパー・キー・ボード・ボイスの音量は最大になりました。

## 操作のポイント

- 各音色のボタンごとに、最後に選択した音色が記憶されています。このため、操作①で希望する音色が呼び出された場合は、操作②は必要ありません。

**注 意**

- 電源を入れた時は、基本レジストレーション1の音色の組み合わせになります。音色名や音色に関する設定を変更した後、その内容を記憶させておきたい場合は、電源を切る前にレジストメモリー・ボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

メモリー・ボタン(1)～(8)に記憶させないで電源を切ってしまった場合でも、電源を切る前の状態に戻すことができます。その状態に戻すには、まず電源を入れ、(M./TO DISK)(メモリー/トゥーディスク)ボタンを押しながら、(□)(ディセーブル)ボタンを押してください。

### こんなこともできる

- 音量を微調節できます。(→P26参照)
- 「TO LOWER」(トゥーロワー)機能を使うと、リードボイスまたはペダルボイスの音色を使って、下鍵盤で演奏できます。(→P70参照)
- ドットボタンを使うと、EL-37に内蔵されている全音色およびボイスディスクの中から、好みの音色を遊ぶことができます。(→P71参照)
- 上鍵盤では、アッパー・キー・ボード・ボイス、リードボイスのどちらの音色でも演奏できます。また、アッパー・キー・ボード・ボイスとリードボイスの両音色を使って、重ねて発音させることもできます。ただし、リードボイスの音は単音で発音されるため、和音で押さえても最高音だけ発音されます。

**注 意**

- EL-37以外で記録されたレジストレーションを読み込んだ場合、音色名が表示されずに空白のまま点滅することがあります。これはEL-37にない音色が使われていることを示します。

# 音色の発音状態を決める(ボイスコンディション)

音色群ごとに、タッチトーンやボリュームファイン（音量の微調節）、フィートの設定など、音色の発音状態（ボイスコンディション）を好みの状態にすることができます。

- 設定した発音状態は、その音色群のどの音色にも共通した設定になります。
- 設定した発音状態を他の設定といっしょに記憶させておきたい場合は、電源を切る前にメモリーボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させてください。（→P60参照）

## ■タッチトーンの設定

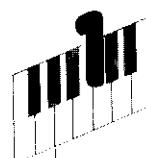
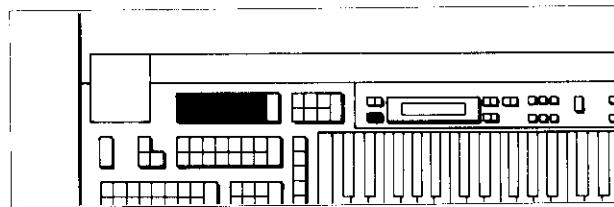
### 機能説明

音色群ごとに、タッチトーンの設定を変えることができます。

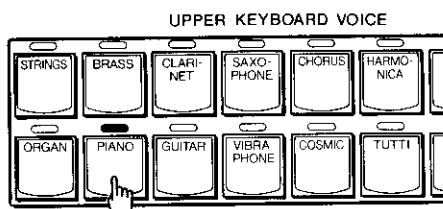
タッチトーンは、鍵盤を弾く強さによって、弾く音の音量や音色を変化させる機能です。タッチトーンには、イニシャルタッチとアフタータッチの2種類あります。イニシャルタッチは、音の立ち上がりの音量／音色を変化させ、アフタータッチは、立ち上がった後の音量／音色をコントロールします。（2種類同時に設定されます。）

### 操作方法

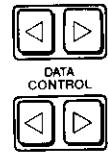
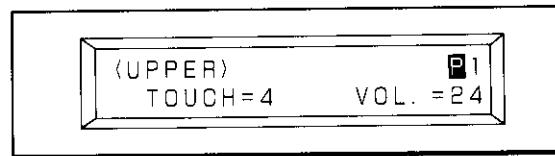
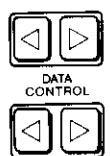
タッチトーンの設定を「6」にする操作を例にして説明します。  
ペダルボイスには、タッチトーンはかかりません。



ランプが点灯しているアッパーキーボードボイスの音色ボタンを押して、ボイスコンディションの表示にします。



- すでにボイスコンディションの表示が出ている場合は、この操作は必要ありません。
- 音色ボタンを押すたびに、音色名の表示、ボイスコンディションの表示が交互に表示されます。



- 他のページが表示されている場合は、ページボタン(◀)(▶)を押して「P 1」を表示させます。



21

左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、タッチトーンを「6」にします。



- 1~7の7段階の範囲で設定できます。

これで、タッチトーンの設定を変更できました。

注意

- オルガン、ハープシコードなどに、タッチトーンはかかりません。

## 音色の発音状態を決める(ボイスコンディション)

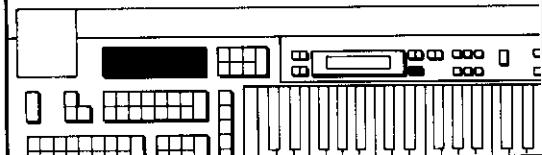
### ■ボリュームファイン(音量をより細かく設定する)

#### 機能説明

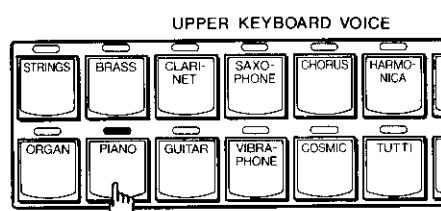
音色群ごとに、音量を微調節できます。

#### 操作方法

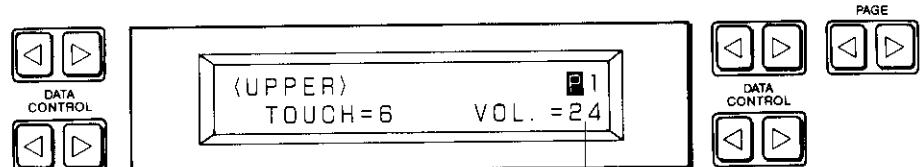
アッパー・キー・ボードボイスの音量を「17」にする操作を例にして説明します。  
他の音色群の音量を微調節する場合も、操作は同様です。



ランプが点灯しているアッパー・キー・ボードボイスの音色ボタンを押して、ボイスコンディションの表示にします。



- すでにボイスコンディションの表示が出ている場合は、この操作は必要ありません。
- 音色ボタンを押すたびに、音色名の表示、ボイスコンディションの表示が交互に表示されます。



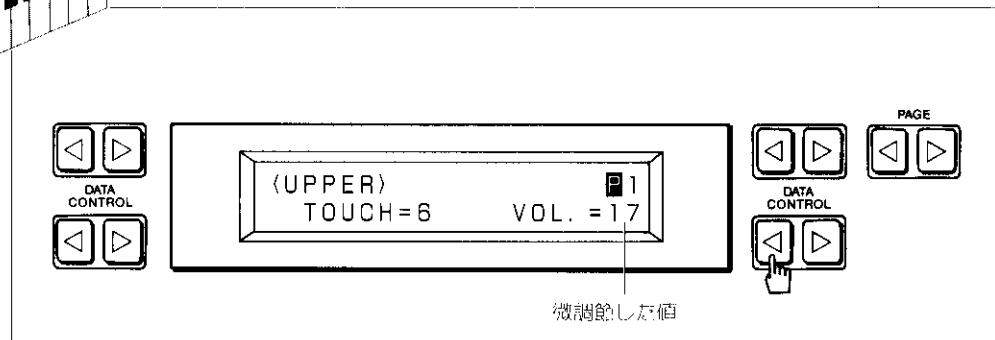
パネルのボリュームボタンで決めた値

- ボリュームボタンで決めた音量設定値が表示されます。
- アッパー・キー・ボードボイスの他のページが表示されている場合は、ページボタン[<][>]を押して「P1」を表示させます。

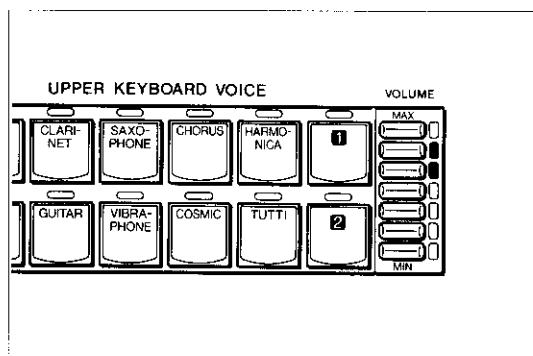


21

右下のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、音量を「17」にします。



- 0~24の範囲で微調節できます。



- 音量を「17」にすると、ボリュームボタンのランプの2段目と3段目が点灯します。ボリュームボタンの2段目を押した場合と3段目を押した場合の間の値であることを意味します。

これで、アッパー・キーボードボイスの音量を、より細かく設定できました。

# 音色の発音状態を決める(ボイスコンディション)

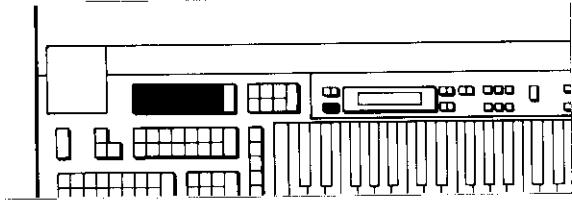
## ■フィートの設定

### 機能説明

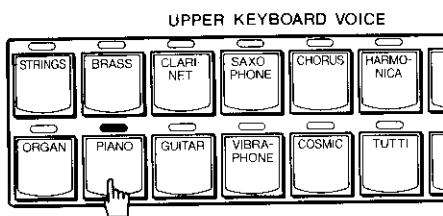
音色群ごとに、発音の高さをオクターブ単位で変えることができます。

### 操作方法

アッパー・キー・ボードボイスの発音の高さを、4フィートに変更する操作を例にして説明します。  
他の音色群の発音の高さを変更する場合も、操作は同様です。

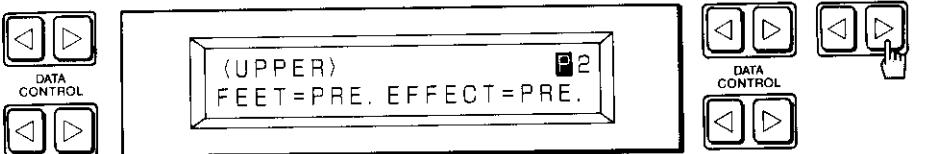


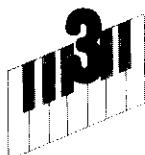
アッパー・キー・ボードボイスのボイスコンディション表示になっていることを確認します。



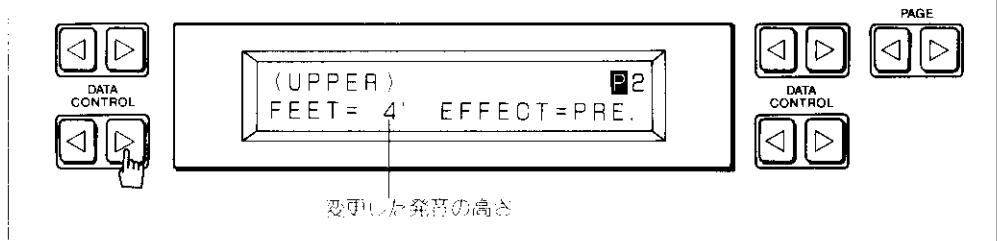
- アッパー・キー・ボードボイスのボイスコンディション表示になっていない場合は、ランプが点灯しているアッパー・キー・ボードボイスの音色ボタンを押して、ボイスコンディションの表示にします。
- 音色ボタンを押すたびに、音色名の表示、ボイスコンディションの表示が交互に表示されます。

2 ページボタン(◀)(▶)を押して、2ページ目の「P2」を表示させます。





左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、フィート(発音の高さ)を「4」にします。



- 次の4種類の中で選択できます。

PRE.(プリセット)：その音色にあすすめの高さになります。

4'(4フィート)：基音よりも1オクターブ高くなります。

8'(8フィート)：基音の高さになります。

16'(16フィート)：基音よりも1オクターブ低くなります。

これで、アッパー・キー・ボードボイスの発音の高さが、1オクターブ高くなりました。

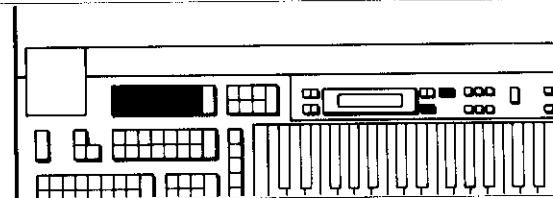
## ■エフェクトの選択

### 機能説明

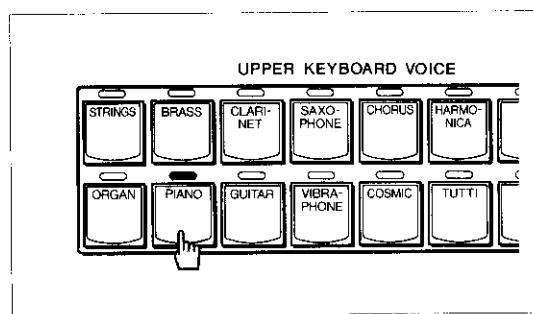
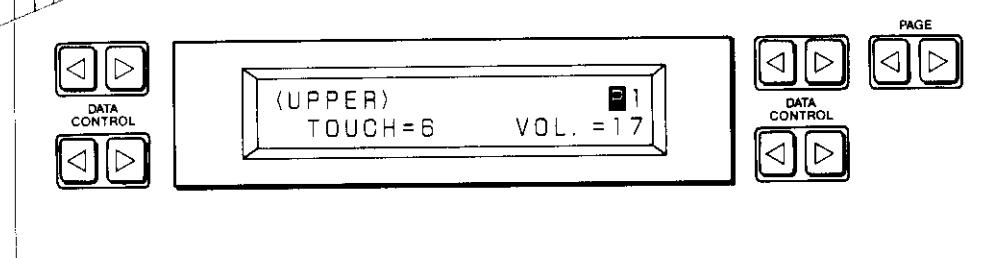
音色群ごとにかけることができる効果の種類を変えることができます。

### 操作方法

アッパー・キー・ボードボイスの音色にかける効果を、シンフォニックに変更する操作を例にして説明します。



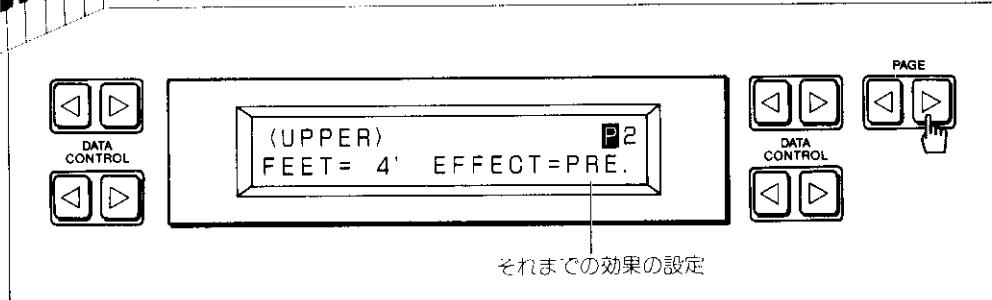
アッパー・キー・ボードボイスのボイスコンディション表示になっていることを確認します。



- アッパー・キー・ボードボイスのボイスコンディション表示になっていない場合は、ランプが点灯しているアッパー・キー・ボードボイスの音色ボタンを押して、ボイスコンディションの表示にします。
- 音色ボタンを押すたびに、音色名の表示、ボイスコンディションの表示が交互に表示されます。

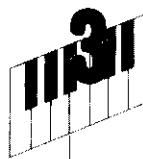


ページボタン(<)(>)を押して、2ページ目の「P2」を表示させます。

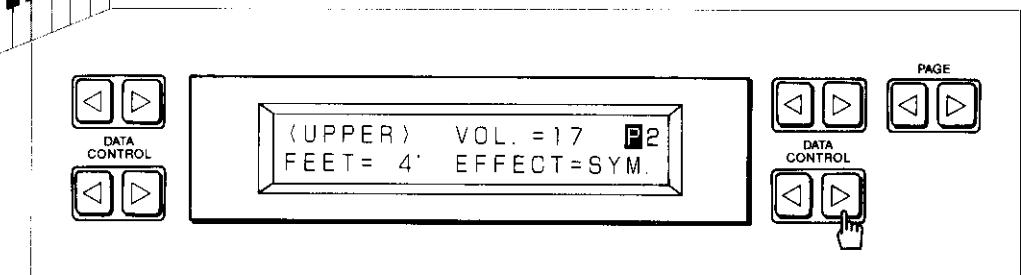


それまでの効果の設定

- すでに「P2」の表示が出ている場合は、この操作は必要ありません。



右下のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、効果を「SYM.」(シンフォニック)にします。



●次の6種類の中で選択できます。

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| PRE.(プリセット)   | : その音色におすすめの効果になります。               |
| OFF(オフ)       | : 効果がかかりません。                       |
| TRM.(トレモロ)    | : 音が高速で回転しているような感じになります。           |
| SYM.(シンフォニック) | : 複数の楽器で演奏しているような厚みと広がりのある感じになります。 |
| DL.Y.(ディレイ)   | : 音がこだましているような感じになります。             |
| FLG.(フランジャー)  | : 音がうねって、複雑な感じになります。               |

これで、アッパー・キーボードボイスの音色にシンフォニック効果がかかりました。



## 音色の発音状態を決める(ボイスコンディション)

### ■ビブラートの設定

#### 機能説明

音色群ごとにかけることができるビブラート効果の設定を変えることができます。

ビブラートは、音を振るわせる効果です。

ビブラートの設定には、次の項目があります。

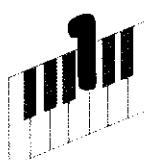
| ビブラートの設定項目                   | 設定内容                       | 説明   |
|------------------------------|----------------------------|--|
| USER VIB.<br>(ビブラートの切り替え)    | ■(ユーザー モード)<br>□(リセット モード) | ビブラートの設定をユーザー モードにするか、プリセット モードにするかを切り替えます。  |
| T. VIB.<br>(タッチビブラートの設定)     | ■(オン)<br>□(オフ)             | 鍵盤を押さえる強さによって、ビブラートがかかる深さを調節する機能を使うかどうか選びます。 |
| VIB. DELAY<br>(ビブラートディレイの調節) | 0~7                        | 鍵盤を押してから、ビブラートがかかるまでの時間を8段階で調節します。           |
| VIB. DEPTH<br>(ビブラートデプスの調節)  | 0~7                        | ビブラートがかかる深さを8段階で調節します。                       |
| VIB. SPEED<br>(ビブラートスピードの調節) | 0~7                        | ビブラートの早さを8段階で調節します。                          |

#### 操作方法

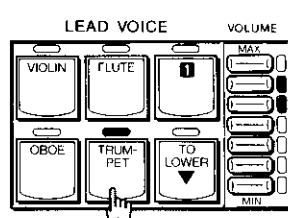
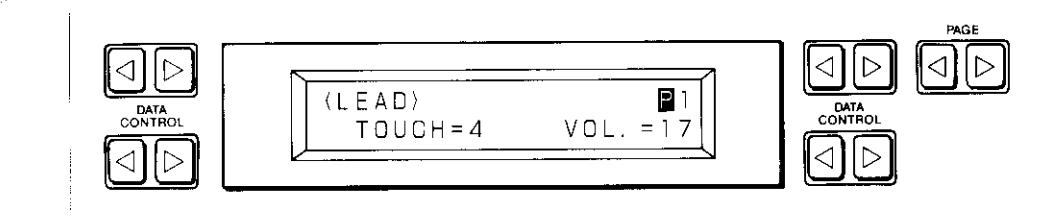
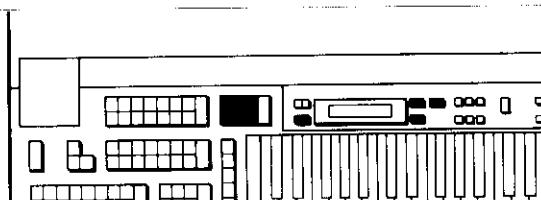
リードボイスのビブラート効果の設定を「USER VIB.」、「T. VIB.」をオン、「DELAY=3」、「DEPTH=5」、「SPEED=4」にする操作を例にして説明します。

アッパーキーボードボイス、ロワーキーボードボイスの場合は、「DELAY」および「SPEED」を設定することはできません。

ペダルボイスの場合は、ビブラートをかけることはできません。



リードボイスのボイスコンディション表示になっていることを確認します。



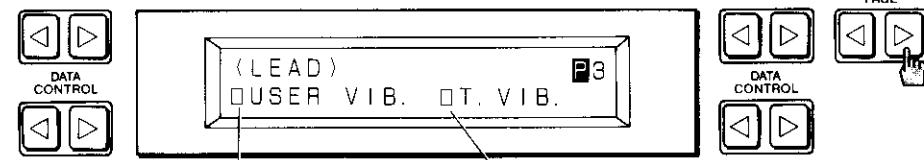
- リードボイスのボイスコンディション表示になっていない場合は、ランプが点灯しているリードボイスの音色ボタンを押して、ボイスコンディションの表示にします。
- 音色ボタンを押すたびに、音色名の表示、ボイスコンディションの表示が交互に表示されます。



音色



ページボタン(<)(>)を押して、3ページ目の「P3」を表示させます。

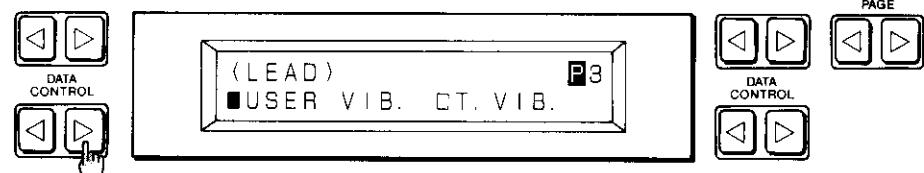


プリセットモードに  
なっていだ場合

タッチビブラートが  
オフになっていた場合



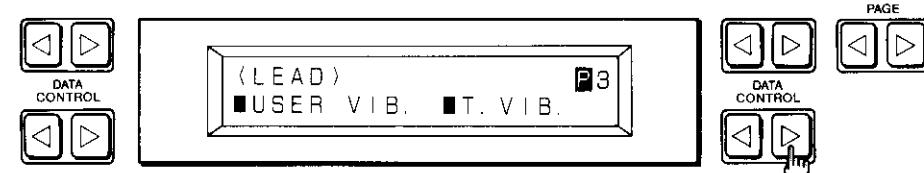
左下のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、「USER VIB.」の「□」を「■」にします。



- USER VIB.(ユーザー モード)：ビブラートの設定が可能になります。
- USER VIB.(プリセット モード)：その音色群におすすめのビブラートの設定になります。



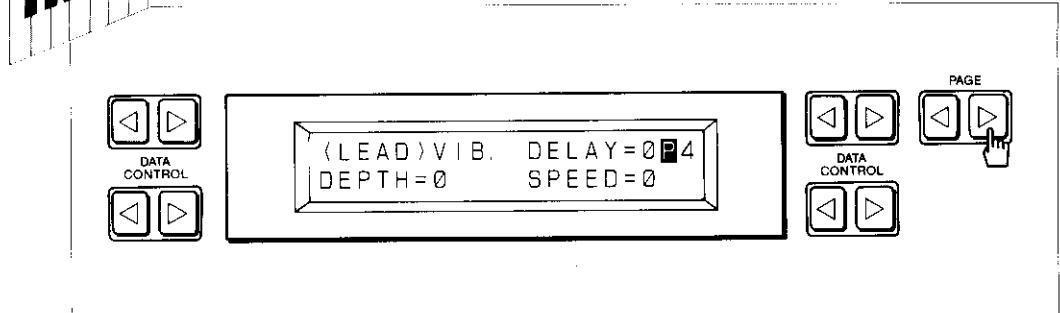
右下のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、「T. VIB.」の「□」を「■」にします。



- (オン)：タッチビブラート機能がオンになります。
- (オフ)：タッチビブラート機能がオフになります。

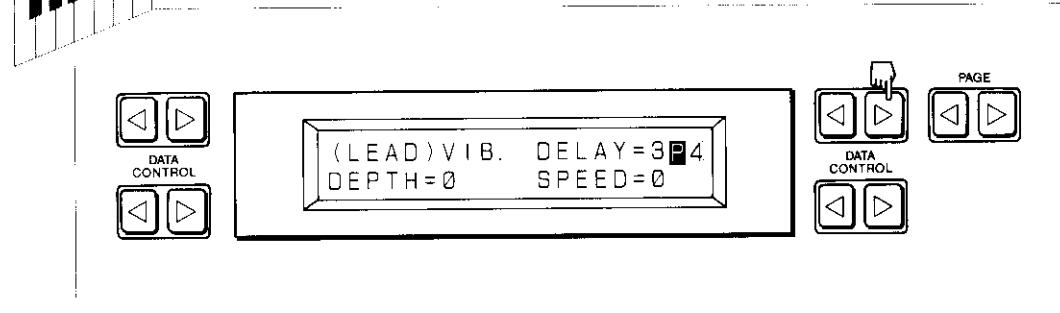
## 音色の発音状態を決める(ボイスコンディション)

5 ページボタン(<)(>)を押して、4ページ目の「P4」を表示させます。

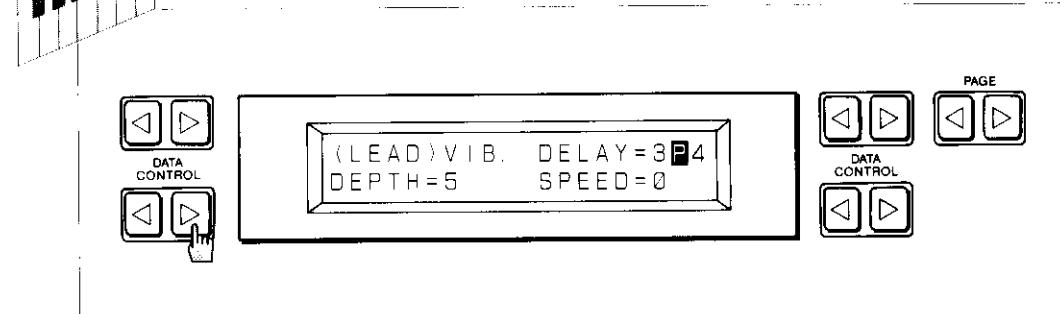


●「P3」でプリセットモードを選んだ場合は、「PRESET VIBRATO」の文字が表示され、「DELAY」、「DEPTH」、「SPEED」は設定できません。

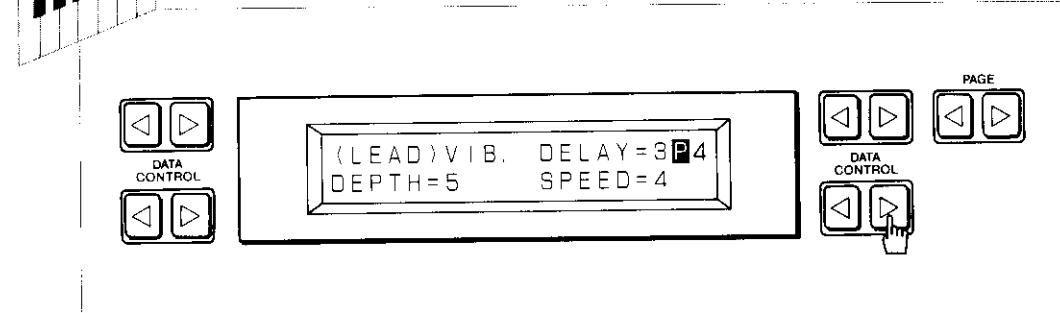
6 右上のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、「DELAY」の値を「3」にします。



7 左下のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、「DEPTH」の値を「5」にします。



8 右下のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、「SPEED」の値を「4」にします。



これで、リードボイスにビブラート効果をかけるための設定ができました。

# 音色名の表示に戻す操作

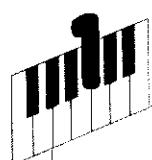
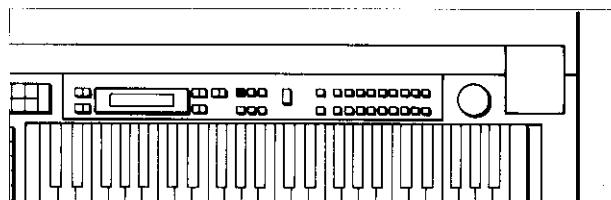


## 機能説明

アッパー・キー・ボードボイス、リードボイス、ローキー・ボードボイス、ペダルボイスの現在の音色名を一度に表示させることができます。それぞれの音色群で、何という音色を選択済みかを一目で確認できます。

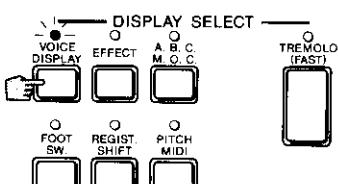
- 現在の音色設定を変えたくないが、何という音色が選択されているかを確認したい、という時に役立つ機能です。

## 操作方法



(VOICE DISPLAY)(ボイスディスプレイ)ボタンを押します。

- (VOICE DISPLAY)(ボイスディスプレイ)ボタンを押した瞬間に、ランプが一瞬だけ点滅します。



それぞれの音色群で選択されている音色

E. Piano      Trumpet  
Horn      Tube

- ディスプレイに、音色名が一度に表示されます。

これで、音色名の表示に戻りました。

## 操作のポイント

- 該当するボタンを押して元の表示に戻せば、設定を続行できます。

### 注意

- EL-37以外で記録されたレジストレーションを読み込んだ場合、音色名が表示されずに「-----」の表示になることがあります。これはEL-37以外の音色が使われていることを示します。

# リズムを選ぶ(リズムメニュー)

## 機能説明

リズムを選び、リズムに合わせて演奏できます。

## リズム一覧表

指定できるリズムの一覧表です。

| リズムボタン             | リズムメニュー表示                                    |   | 解説                                     |
|--------------------|--|---|--|
| MARCH<br>(マーチ)     | March<br>(マーチ)<br>Country<br>(カントリー)         | Polka<br>(ポルカ)<br>Broadway<br>(ブロードウェイ) | 軽快な2拍子または4拍子の、行進曲のリズム。                 |
| WALTZ<br>(ワルツ)     | Waltz1<br>(ワルツ1)<br>J.Waltz<br>(ジャズワルツ)      | Waltz2<br>(ワルツ2)<br>Bolero<br>(ボレロ)     | 19世紀にヨーロッパ各地で広く愛好された、3拍子の舞曲用のリズム。      |
|                    | Swing1<br>(スイング1)<br>J.Ballad<br>(ジャズバラード)   | Swing2<br>(スイング2)<br>Dixie<br>(ディキシー)   |  |
| SWING<br>(スイング)    | Bounce1<br>(バウンス1)<br>Reggae1<br>(レゲエ1)      | Bounce2<br>(バウンス2)<br>Reggae2<br>(レゲエ2) | ジャズの代表的なリズム。                           |
|                    | S.Rock1<br>(スローロック1)<br>S.Rock3<br>(スローロック3) | S.Rock2<br>(スローロック2)<br>—               |  |
| BOUNCE<br>(バウンス)   | Tango1<br>(タンゴ1)<br>Tango3<br>(タンゴ3)         | Tango2<br>(タンゴ2)<br>—                   | 19世紀の後期にアルゼンチンで発生したダンス用のリズム。           |
|                    | Cha-cha<br>(チャチャ)<br>Beguine<br>(ビギン)        | Rhumba<br>(ルンバ)<br>Mambo<br>(マンボ)       |  |
| LATIN 1<br>(ラテン1)  | Samba1<br>(サンバ1)<br>Bossa_1<br>(ボサノバ1)       | Samba2<br>(サンバ2)<br>Bossa_2<br>(ボサノバ2)  | 中・南米の音楽の基本となるリズム。                      |
|                    | 8 BEAT<br>(8ビート)                             | 8Beat1<br>(8ビート1)<br>8Beat3<br>(8ビート3)  | 8Beat2<br>(8ビート2)<br>D.Pop<br>(ダンスピップ) |
| 16 BEAT<br>(16ビート) | 16Beat1<br>(16ビート1)<br>16Beat3<br>(16ビート3)   | 16Beat2<br>(16ビート2)<br>Funk<br>(ファンク)   | 16分音符を基本としたリズム。                        |

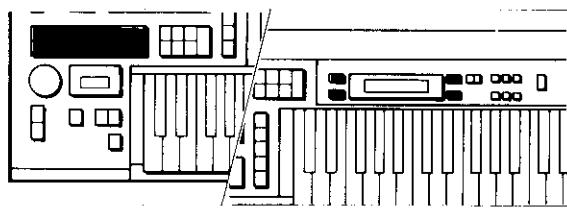
●本表の英語のリズム名は、ディスプレイの表示に合わせてあります。



リズム

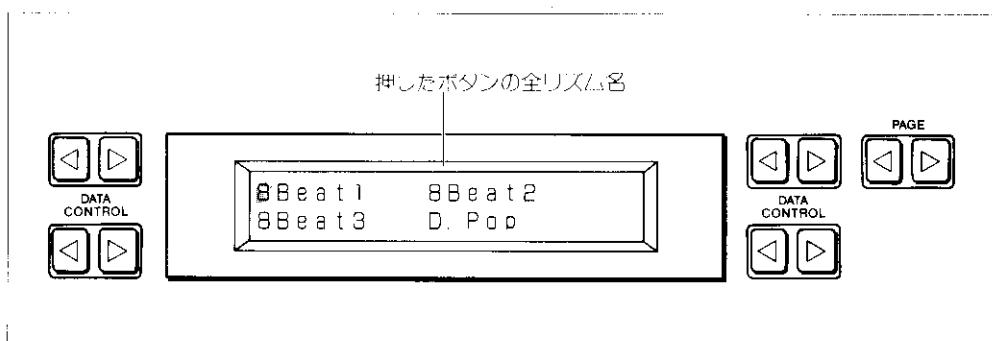
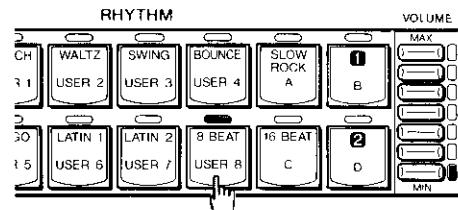
## 操作方法

8ビートの「D. Pop」(ダンスボップ)のリズムにして、リズムの音量を最大にする操作を例にして説明します。



(8 BEAT)(8ビート)ボタンを押します。

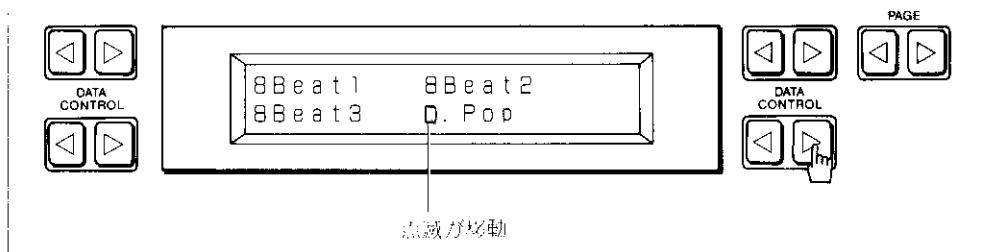
- (8 BEAT)(8ビート)ボタンのランプが点灯します。



- ディスプレイには、(8 BEAT)(8ビート)ボタンに属するリズム名が、全て表示されます。(リズムメニュー画面)
- それまで選ばれていたリズム名の頭文字が点滅します。(頭文字と黒い四角の交互表示)



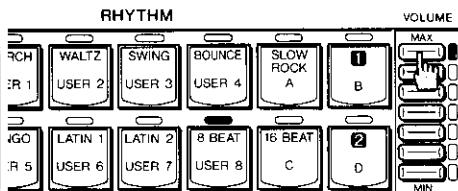
右下のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押します。



- 「D. Pop」の頭文字の「D」が点滅に変わります。
- これで、「D. Pop」のリズムになりました。

## リズムを選ぶ(リズムメニュー)

3 リズムのボリュームボタンを押します。



### 操作のポイント

- 各リズムボタンごとに、最後に選択したリズムが記憶されています。このため、操作①で希望するリズムが呼び出された場合は、操作②は必要ありません。

#### 注意

- 電源を入れた時は、基本レジストレーション1のリズム設定(マーチ)になります。リズム名やリズムに関する設定を変更した後、その内容を記憶させておきたい場合は、電源を切る前にレジストメモリーボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

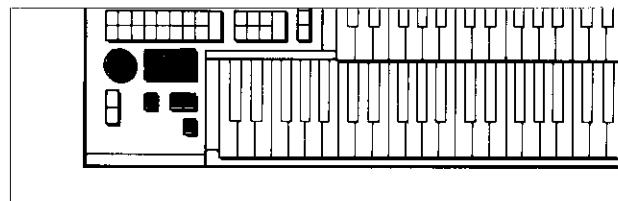
メモリーボタン(1)～(8)に記憶させないで電源を切ってしまった場合でも、電源を切る前の状態に戻すことができます。その状態に戻すには、まず電源を入れ、(M./TO DISK)(メモリー/トゥーディスク)ボタンを押しながら、(D.)(ディセーブル)ボタンを押してください。

#### こんなものできる

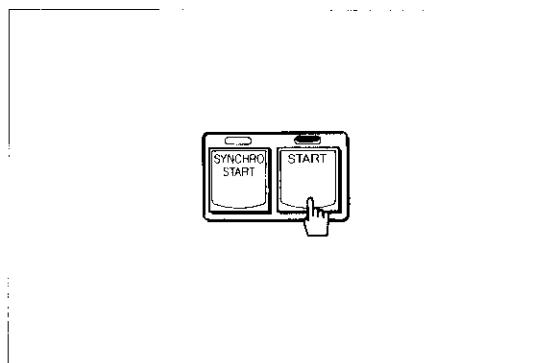
- 音量を微調節できます。(→P44参照)
- 「リズムプログラム・パターン」で自分でリズム/パターンを作ることができます。(→P86参照)
- 「リズムプログラム・シーケンス」でリズムの再生順序を記憶させることができます。(→P114参照)

**機能説明**

リズムをコントロールするための様々な機能を紹介します。

**操作方法****■リズムをスタート/ストップさせる**

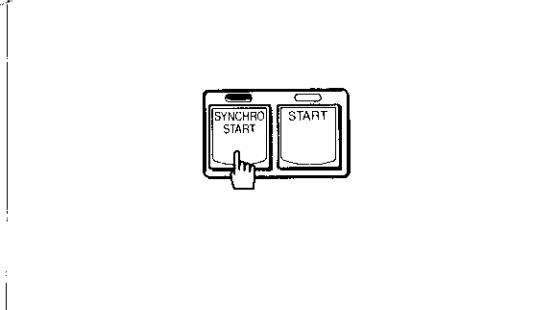
(START)(スタート)ボタンを押します。



- リズムがストップしているときに押すと、ランプが点灯してスタートします。  
もう1度押すと、ランプが消灯してストップします。

**■鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせる(シンクロスタート)**

 (SYNCHRO START)(シンクロスタート)ボタンを押します。

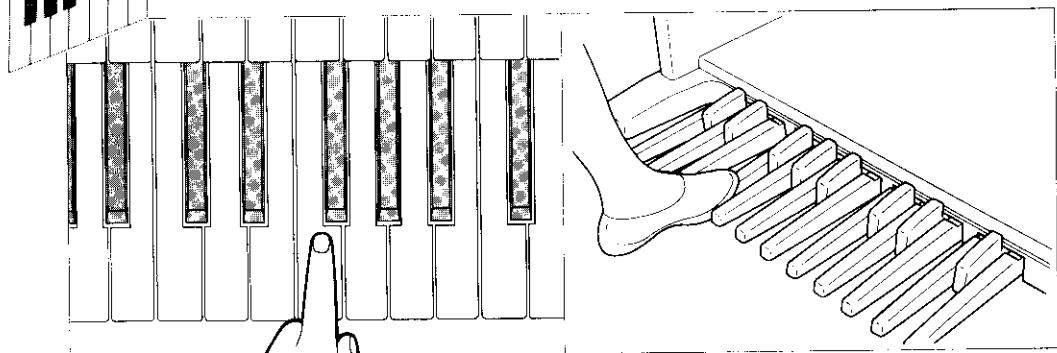


- ランプが点灯します。

## リズムを鳴らす

2

下鍵盤またはペダル鍵盤を押します。



- 下鍵盤またはペダル鍵盤を押すと同時に、リズムがスタートします。
- リズムだけでなく伴奏を付けるときにも、便利な機能です。
- シンクロスタートさせた場合は、(SYNCHRO START)(シンクロスター)ボタンを押してリズムをストップさせます。

## ■イントロパターンからリズムをスタートさせる

1  
2

(INTRO./ENDING)(イントロ／エンディング)ボタンを押します。



- (INTRO./ENDING) (イントロ／エンディング) ボタンのランプが点灯します。

1  
2

(START)(スタート)ボタンを押すか、またはシンクロスタートの方法で、リズムをスタートさせます。

- イントロパターンからリズムがスタートします。

## ■フィルインを入れる

(FILL IN)(フィルイン)ボタンを押します。



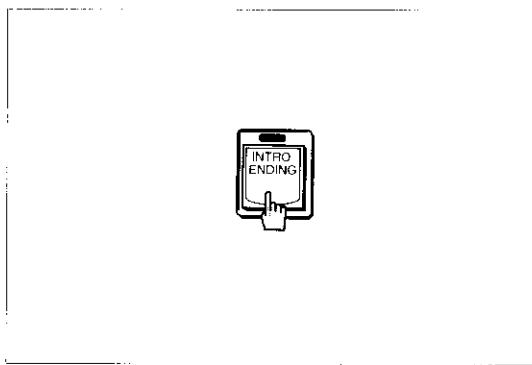
- (FILL IN)(フィルイン)ボタンのランプが点灯してフィルインが入ります。

- 1回のフィルインを入れる場合は、1回押します。
- 2回以上のフィルインを入れる場合は、その間押し続けます。



## ■エンディングパターンでリズムをストップさせる

(INTRO./ENDING)(イントロ/エンディング)ボタンを押します。

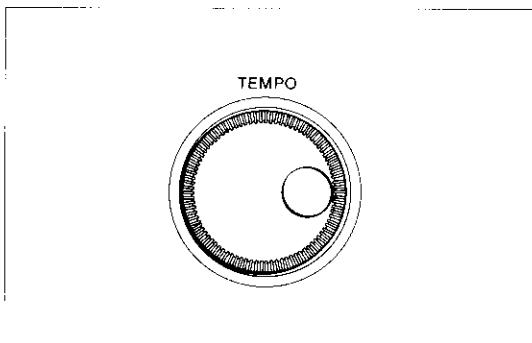


- エンディングパターンが終わると、消灯してストップします。



## ■テンポを調節する

テンポダイヤルを回して調節します。



- $\text{♩} = 40 \sim 240$  の範囲で調節できます。
- 時計周りに回すと値が大きくなり、テンポが速くなります。  
反時計回りに回すと値が小さくなり、テンポが遅くなります。

## ■テンポ、バー/ビートディスプレイについて

テンポを調節すると、テンポの値を表示します。

例)  $\text{♩} = 120$ にしたときは、  
次のように表示されます。

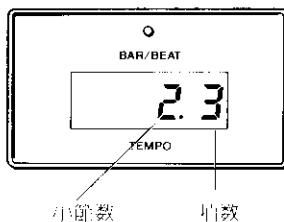


TEMPO

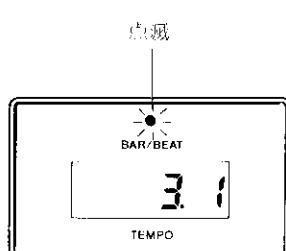
# リズムを鳴らす

リズムをスタートさせると、小節数と拍数が表示されます。

例) 22小節目(3拍め)のときは、次のよう表示されます。



- 小節数は最大で255小節まで、拍数は1小節内の拍数を表示します。
- イントロ/パターンの最中は、小節数の前に「-」が表示されます。たとえば8小節のイントロのときは、「-8」～「-1」まで、小節ごとにカウントされます。



- リズムをスタートさせると、設定したテンポに従い、各小節の1拍目にランプが点滅します。
- [SYNCHRO START] (シンクロスタート) ボタンを押し、鍵盤を押すまでは、1拍ごとにランプが点滅します。

## こんなこともできる

- フィルイン/パターンからリズムをスタートさせることもできます。  
〔FILL IN〕(フィルイン)ボタンを押した後、〔START〕(スタート)ボタンを押すか、またはシンクロスタートの方法でリズムをスタートさせます。
- イントロ/パターンの代わりに、4拍～2拍のタクト(カウント音)からスタートさせることもできます。  
〔INTRO./ENDING〕(イントロ／エンディング)ボタンを押しながら〔START〕(スタート)ボタンを押すことにより、タクトからスタートします。  
〔SYNCHRO START〕(シンクロスタート)ボタンを押した後に、〔INTRO./ENDING〕(イントロ／エンディング)ボタンを押しながら下鍵盤またはペダル鍵盤を押してもタクトからスタートします。
- リズムのスタート／ストップ、エンディング、フィルインなどを左フットスイッチでコントロールすることもできます。(→P135参照)

### 注 意

- シンクロスタートさせた場合は、〔START〕(スタート)ボタンを押してもストップしません。
- 〔START〕(スタート)ボタンを押してスタートさせた場合は、〔SYNCHRO START〕(シンクロスタート)ボタンを押してもストップしません。
- イントロ/パターンまたはエンディング/パターンの最中は、下鍵盤の音は発音されません。
- イントロ/パターンおよびエンディング/パターンの長さは、選択したリズムにより異なります。

# リズムに関する設定をする(リズムコンディション)



リズム

リズムのボリュームファイン(音量の微調節)やアカンパニメントの設定など、リズムに関する設定(リズムコンディション)を好みの状態にすることができます。

- リズムに関する設定は、どのリズムにも共通した設定になります。
- リズムに関する設定を他の設定といっしょに記憶させておきたい場合は、電源を切る前にメモリーボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

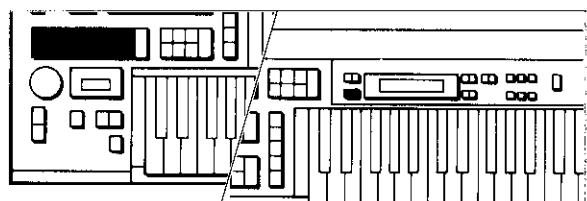
## ■オートバリエーションの設定

### 機能説明

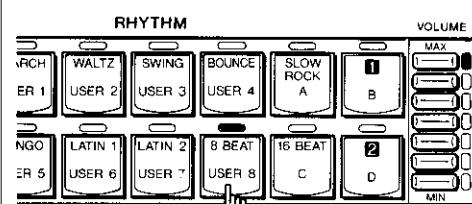
リズムの4小節目と8小節目のパターンを、自動的に変化させることができます。

### 操作方法

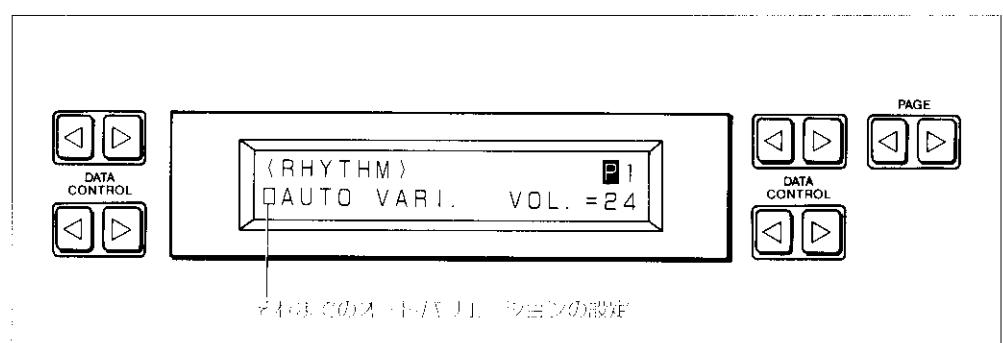
オートバリエーション機能の「AUTO VARI.」を「■」(オン)にする操作を例にして説明します。



 ランプが点灯しているリズムボタンを押して、リズムコンディション表示にします。



- リズムボタンを押すたびに、リズム名の表示、リズムコンディションの表示が交互に表示されます。

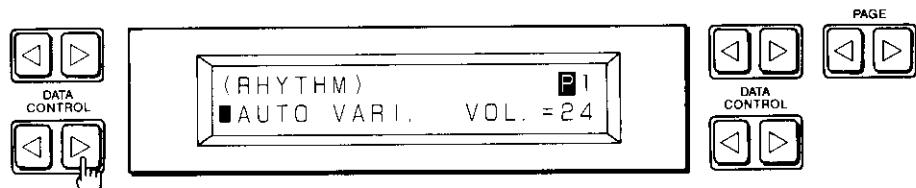


- それまでの「AUTO VARI.」の設定が表示されます。
- 他のページが表示された場合は、ページボタン〔◀〕〔▶〕を押して「P1」を表示させます。

## リズムに関する設定をする(リズムコンディション)

2

左下のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、[AUTO VARI.]を「■」にします。



- (オン)：オートバリエーション機能がオンになります。
- (オフ)：オートバリエーション機能がオフになります。

これで、オートバリエーション機能の設定ができました。

## ■ボリュームファイン(音量をより細かく設定する)

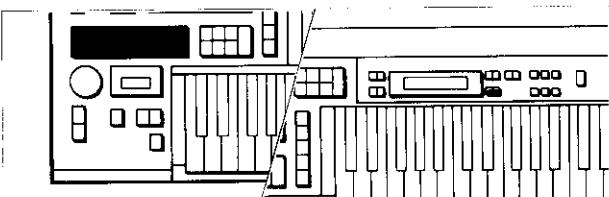
### 機能説明

リズムの音量を微調節できます。

- キーボード/パーカッショニスト機能を使って打楽器演奏するときも、ここで設定した音量で鳴ります。

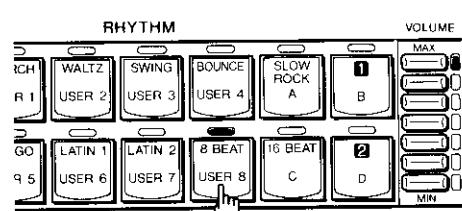
### 操作方法

リズムの音量を「21」にする操作を例にして説明します。



1

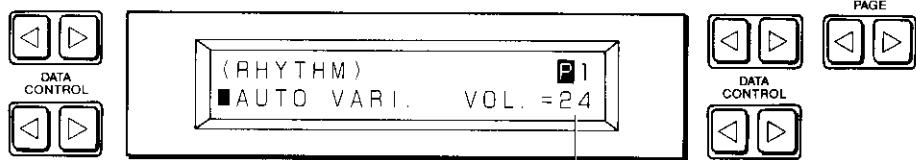
ランプが点灯しているリズムボタンを押して、リズムコンディションの表示にします。



- すでにリズムコンディションの表示が出ている場合は、この操作は必要ありません。
- リズムボタンを押すたびに、リズム名の表示、リズムコンディションの表示が交互に表示されます。



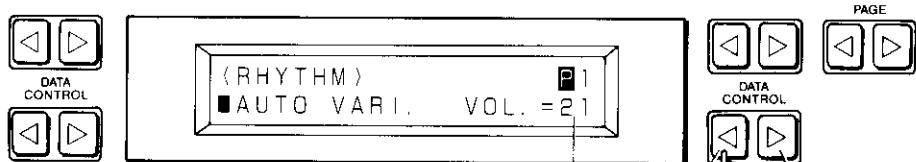
リズム



パネルのボリュームボタンで決めた値

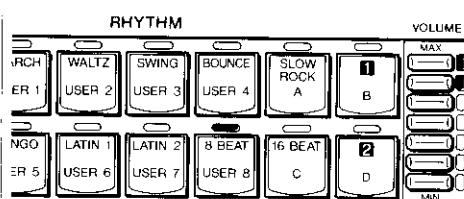
- ボリュームボタンで決めた音量の設定値が表示されます。
- 他のページが表示されている場合は、ページボタン(◀)(▶)を押して「P1」を表示させます。

右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、音量を「21」にします。



微調整した値  
小さくなる 大きくなる

- 0~24の範囲で微調節できます。



- 音量を「21」にすると、ボリュームボタンのランプの最上段と2段目が点灯します。ボタンの最上段を押した場合と、2段目を押した場合の間の値であることを意味します。

これで、リズムの音量をより細かく設定できました。

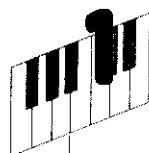
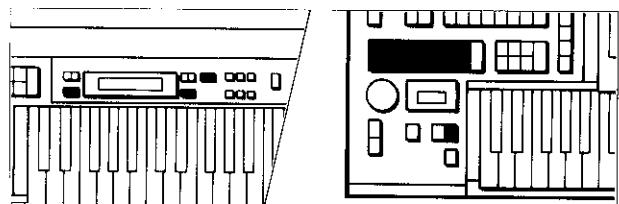
## ■アカンパニメントの設定

### 機能説明

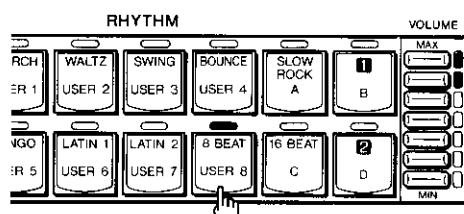
アカンパニメント(伴奏)を付けることができます。アカンパニメントの種類には、4つのタイプがあります。それぞれのタイプは、リズムの種類によって異なります。

### 操作方法

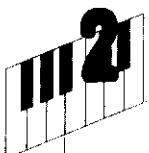
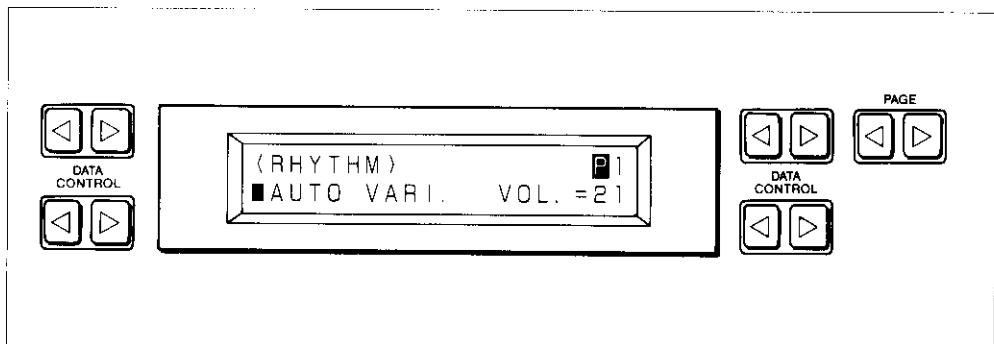
アカンパニメントの「TYPE」(タイプ)を「2」、アカンパニメントの「VOL.」(ボリューム)を「20」にする操作を例にして説明します。



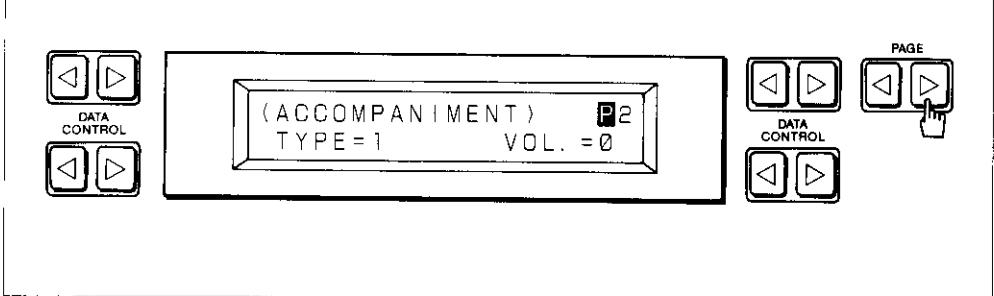
ランプが点灯しているリズムボタンを押して、リズムコンディションの表示にします。



- すでにリズムコンディションの表示が出ている場合は、この操作は必要ありません。
- リズムボタンを押すたびに、リズム名の表示、リズムコンディションの表示が交互に表示されます。



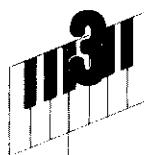
ページボタン(◀)(▶)を押して、2ページ目の「P2」を表示させます。



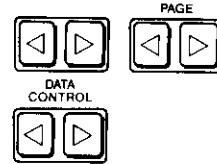
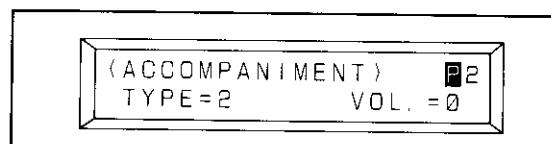
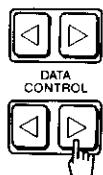
- アカンパニメント(リズムコンディションの「P2」)の表示になります。



リズム



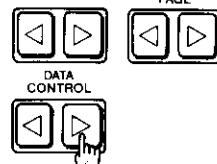
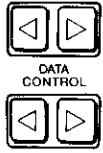
左下のデータコントロールボタン[<][>]を押して、「TYPE」を「2」にします。



- アカンパニメントの「TYPE」は「1」～「4」の範囲で設定できます。

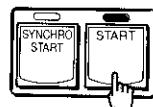


右下のデータコントロールボタン[<][>]を押して、アカンパニメントの「VOL.」を「20」にします。



[START](スタート)ボタンを押して、下鍵盤を押します。

- リズムをスタートさせないと、アカンパニメントは鳴りはじめません。



これで、リズムに加えてアカンパニメント(伴奏)を付けることができました。

こんなこともできる

- アカンパニメントは、A.B.C.(オートベースコード)機能と同時に使うことができます。

注意

- アカンパニメントの機能を使う場合は、アカンパニメントのボリュームを上げてください。ボリュームが最低になっているとアカンパニメントは鳴りません。

## キーボードパーカッション

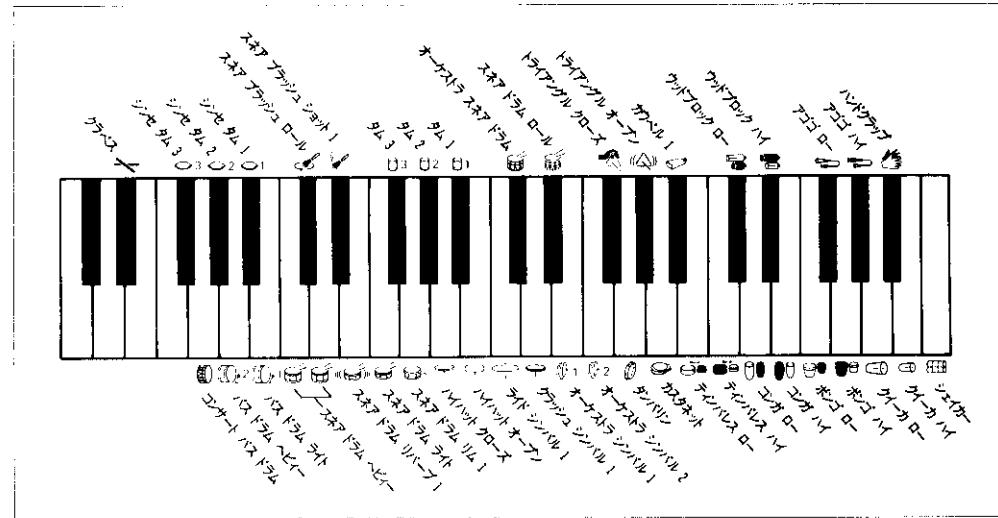
## 機能説明

キーボードパーカッションとは、下鍵盤またはペダル鍵盤でいろいろな打楽器の音を発音することができる機能です。

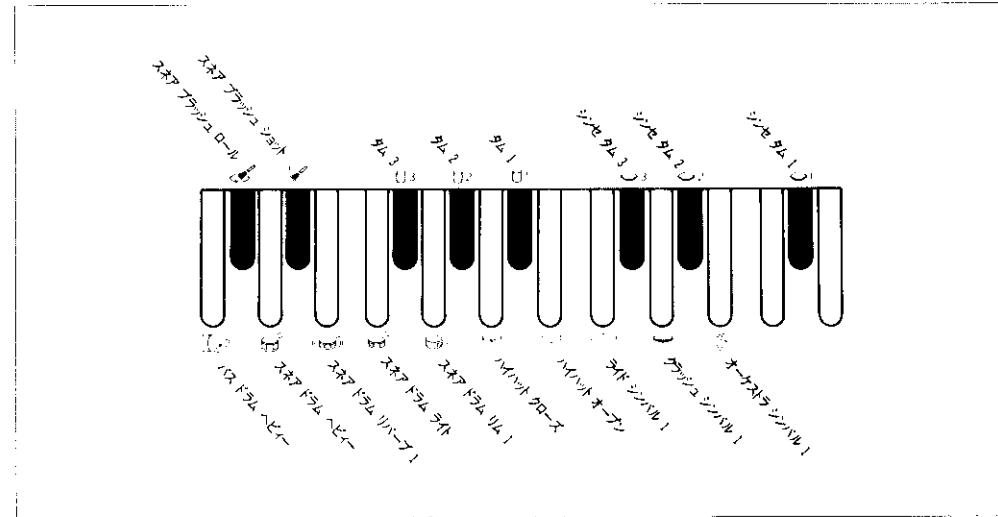
下鍵盤またはペダル鍵盤を押さえると、打楽器音と一緒に、それぞれで選ばれている音も発音します。

下鍵盤とペダル鍵盤に割り当てられている打楽器の音は、次の通りです。

## 下鍵盤の打楽器音

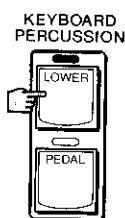
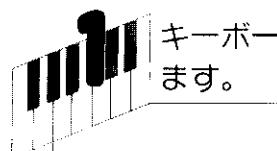
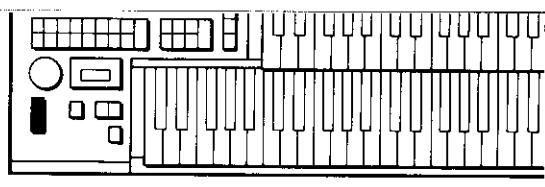


## ペダル鍵盤の打楽器音

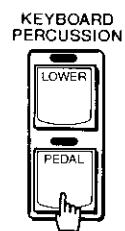
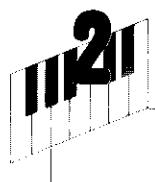


## 操作方法

下鍵盤、ペダル鍵盤の両方で、打楽器音を発音するように設定する操作を例にして説明します。



- ・〔LOWER〕(ロー) ボタンのランプが点灯します。



- ・〔PEDAL〕(ペダル) ボタンのランプが点灯します。

- ・リズムのボリュームまたは、リズムコンディションの1ページ目にあるボリュームで音量を調節してください。詳しくは、P44をご覧ください。
- ・キーボードパーカッションだけの音を発音させたい場合は、ロワーキーボードボイスやペダルボイスのボリュームを最小にしてください。
- ・キーボードパーカッションのボタンをもう一度押すと、打楽器の音は出なくなります。

これで、下鍵盤とペダル鍵盤の両方で打楽器の音が発音できるようになりました。

# A.B.C.(オートベースコード)を使う

## 機能説明

オートベースコード(A, B, C.)とは、下鍵盤またはペダル鍵盤で単音やコード(和音)を押さえるだけで、簡単に自動伴奏が付けられる機能です。

この機能を設定すると、押された音と同時に、押された音に対応したコード伴奏が鳴ります。

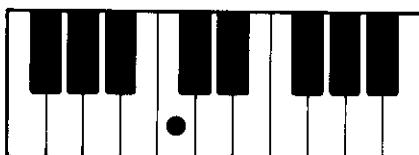
また、鍵盤から指や足を離しても、継続して伴奏を鳴らすことができる機能(メモリー)があります。この機能はA, B, C.と併用することができます。

A, B, C.の設定には、次の4つの種類があります。

|                      |  |
|----------------------|--|
| ●OFF                 | :自動伴奏は付きません。   |
| ●Single(シングルフィンガー)   | :下鍵盤をひとつ押さえるだけで、メジャーコードが検出され、コードとベースの自動伴奏ができます。また、マイナーコード、セブンスコード、マイナーセブンスコードの自動伴奏もできます。 |
| ●Fingered(フィンガードコード) | :下鍵盤で押されたコードが検出され、コードとベースの自動伴奏が得られます。  |
| ●Custom(カスタムA.B.C.)  | :下鍵盤で押されたコードとペダル鍵盤で押された音が検出され、コードとベースの自動伴奏が得られます。  |

## シングルフィンガー コードの押さえ方

- 下鍵盤を下のように押さえると、それぞれのコードが検出され、コードとベースの自動伴奏が始まります。



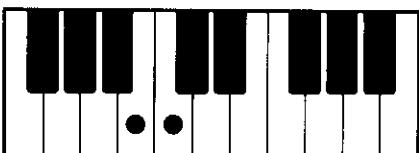
### ★メジャーコード

根音をひとつ押さえると、そのルートのメジャーコードになります。例は、Cメジャー(C)。



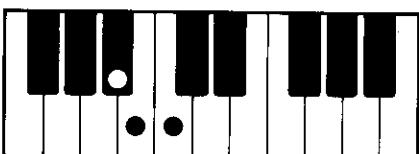
### ★マイナーコード

根音とそれより左側の黒鍵を同時に押さえると、そのルートのマイナーコードになります。例は、Cm。



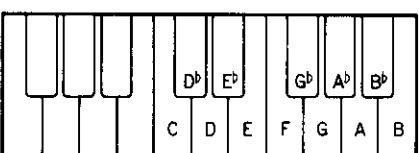
### ★セブンスコード

根音とそれより左側の白鍵を同時に押さえると、そのルートのセブンスコードになります。例は、C7。



### ★マイナーセブンスコード

根音とそれより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえると、そのルートのマイナーセブンスコードになります。例は、Cm7。



下鍵盤とコードの根音の位置関係。

## 注 意

- シングルフィンガーでは、下鍵盤のどの音域を押さえても、自動伴奏の音域は変わりません。
- シングルフィンガーでは、下鍵盤をレガート(なめらかに)に弾くと、伴奏のコードが正しく切り替わらないことがあります。次の鍵盤に押さえるときは、押さえた指を一度、鍵盤から離してから次へ移ってください。

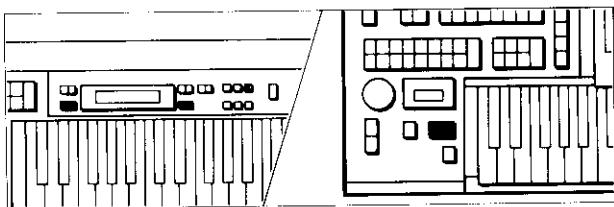
## フィンガードコード カスタムA.B.C.で検出 されるコード

- フィンガードコードまたはカスタムA.B.C.を使っているときに検出されるコードは、次の15種類です。次の例の根音は、Cです。  
C、Cm、C7、Cm7、CM7、CMM7、C+5、C7+5、Cdim、C7sus4、Cm7-5、C-5、C7-5、C6、Cm6

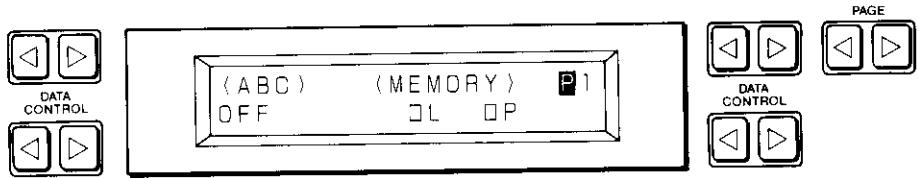
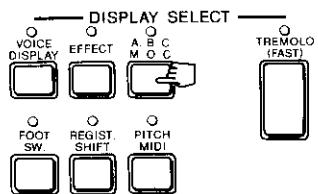
# A. B. C. (オートベースコード)を使う

## 操作方法

ここでは、A.B.C. の4つの設定から、「Single」(シングルフィンガー) を選ぶ操作を例にして説明します。また、下鍵盤(L:ロワー)とペダル鍵盤(P:ペダル)を継続して鳴るように、メモリー機能をオンに設定する操作も説明します。

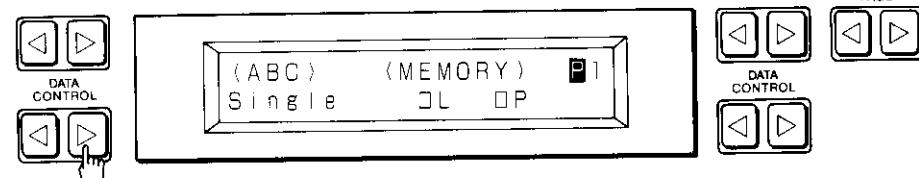


**1** (A.B.C./M.O.C.) (オートベースコード/メロディーオンコード) ボタンを押します。



● A. B. C.、メモリーの設定メニューが表示されます。

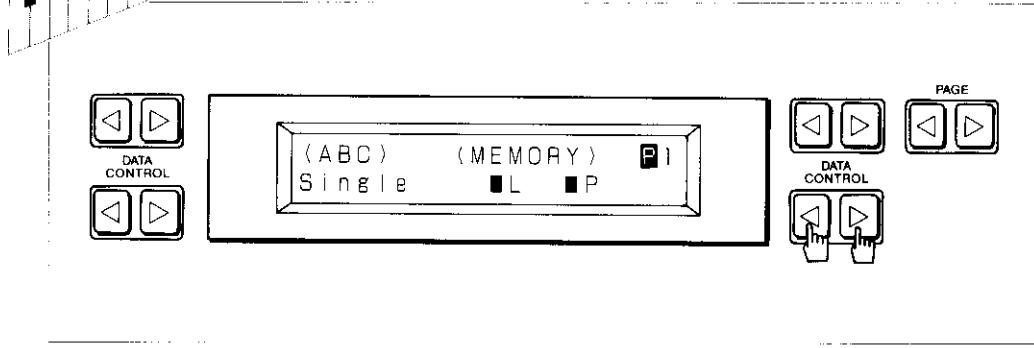
**2** 左下のデータコントロールボタン(◀)を押して、A.B.C. モードを「Single」にします。





3

右下のデータコントロールボタン〔◀〕〔▶〕を押して、メモリーの「L」(ロー)と「P」(ペダル)を「■」にします。

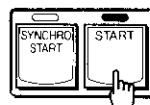


これで、A. B. C. モードとメモリーの設定が終了しました。



(START)(スタート)ボタンまたは(SYNCHRO START)(シンクロスタート)ボタンを押して、下鍵盤を押し、A. B. C. の伴奏をスタートさせます。

- ワーキーボードボイスとペダルボイスの発音状態（ボイスコンディション）の設定はP24をご覧ください。



こんなこともできる

- A. B. C. は、リズムコンディションと連動しています。詳しくは、P43をご覧ください。
- メモリーは、リズムをスタートしている状態なら、A. B. C. をオフに設定していても機能します。
- A. B. C. は、アカンパニメント(伴奏)機能と同時に使うことができます。詳しくは、P46をご覧ください。

# M.O.C.(メロディーオンコード)を使う

## 機能説明

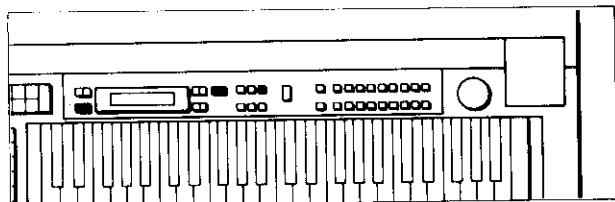
メロディーオンコード(M.O.C.)とは、下鍵盤でコードを押されたときに、上鍵盤で弾くメロディーに自動的にハーモニーを加える機能です。  
メロディーオンコードの種類には、次の3つのタイプがあります。

タイプ1：最大2音までのハーモニーが、メロディーに近い音域で発音します。

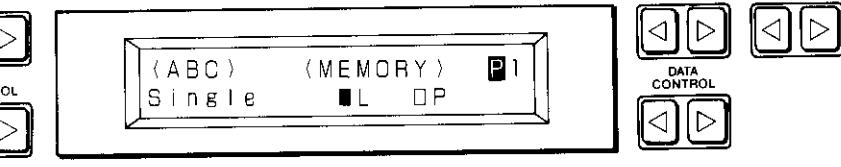
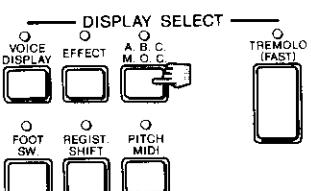
タイプ2：最大3音までのハーモニーが、メロディーに近い音域で発音します。

タイプ3：最大4音までのハーモニーが、メロディーからやや離れた音域で発音します。

メロディーオンコードの設定は、  
オフ、タイプ1～3の中から、  
「TYPE 2」(タイプ2)を選ぶ操作を例にして説明します。



(A. B. C. / M. O. C.)(オートベースコード／メロディーオンコード)ボタンを押します。



●「A. B. C.」と「MEMORY」の設定メニューが表示されます。

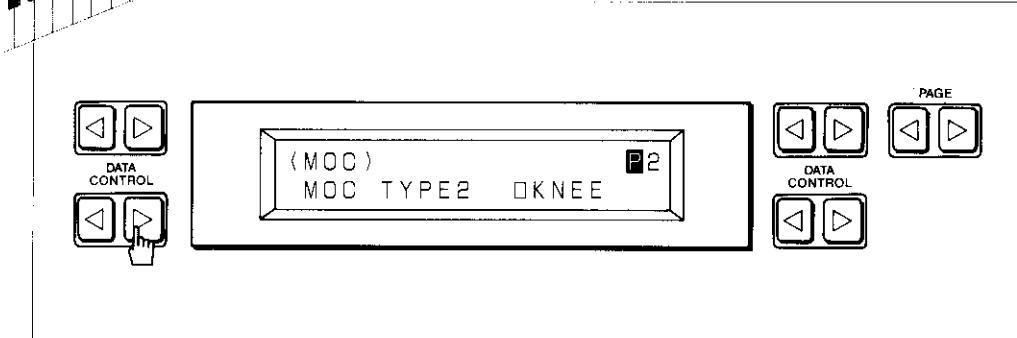
2 ページボタン(▷)を押して、2ページ目「P2」を表示させます。



●M.O.Cの設定メニューが表示されます。

**3**

左下のデータコントロールボタン(▶)を押して、M.O.C.モードを「M.O.C. TYPE 2」にします。



- 右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して「KNEE」(ニーレバー)の設定を「■」(オン)にしておくと、ニーレバーのオン／オフ操作によりハーモニー効果をオン／オフできます。

これで、M.O.C.モードの設定ができました。

こんなこともできる

- メロディーオンコードは、A. B. C. のメモリー設定で、「LOWER(ロワー)」をオンにして、リズムをスタートさせていると、下鍵盤から指を離しても、メロディーにハーモニーが付きます。

# 効果の種類について

## 機能説明

演奏する曲の曲調や好みに合わせて、効果をかけることができます。

## 効果一覧表

効果の一覧表です。

| 対象範囲  | 効果名     | 効果の解説   | 説明ページ   | 「対象範囲」の項の補足   |
|-------|---------|---|---------|---|
| 全体    | リバーブ    | 音に残響が付いて、ホールなどで演奏しているような感じになります。              | P57     | リズムを含む全ての音に一括してかけることが可能です。                                      |
| 音色群ごと | サステイン   | 離鍵後の音に余韻が付きます。                                | P58     | アッパーキーボードボイス、ロワーキーボードボイス、ペダルボイスごとにかけることが可能です。                   |
| 音色群ごと | トレモロ    | 音が高速で回転しているような感じになります。                        | P31、P79 | アッパーキーボードボイス、リードボイス、ロワーキーボードボイスごとに、4種類の中からそれぞれ効果を選んでかけることが可能です。 |
| 音色群ごと | シンフォニック | 複数の楽器で演奏しているような厚みと広がりのある感じになります。              | P31、P84 | ペダルボイスは、トレモロ、シンフォニックのどちらかを選んでかけることが可能です。                        |
|       | ディレイ    | 音がこだましているような感じになります。                          | P31、P80 | (ディレイ、フランジャーをかけることはできません。)                                      |
|       | フランジャー  | 音がうねって、複雑な感じになります。                            | P31、P82 |   |
| 音色群ごと | ビブラート   | 音がふるえます。                                      | P32     | アッパーキーボードボイス、リードボイス、ロワーキーボードボイスごとにかけることが可能です。                   |
| 音色群ごと | グライド    | 左フットスイッチをオンにしたときに音程が半音下がり、オフに戻すと徐々に元の音程に戻る効果。 | P137    | アッパーキーボードボイス、リードボイス、ロワーキーボードボイスごとにかけることが可能です。                   |

- リバーブ～グライドを同時にかけることも可能です。ただし、1つの音色群に対してトレモロ、シンフォニック、ディレイ、フランジャーの中の2つを同時にかけることはできません。

# リバーブ(残響)効果



効果

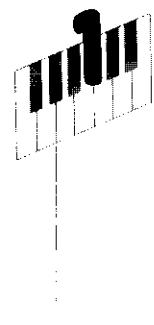
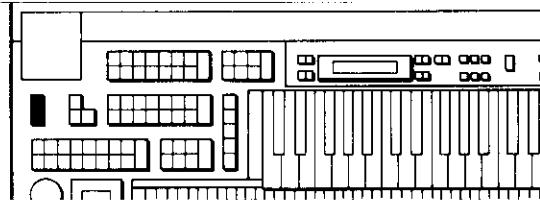
## 機能説明

全ての音に対してかかるリバーブ効果の深さ(強さ)を調節できます。

- リバーブ効果は、リズムやアカンパニメント、オートベースコードの音なども含めて、全ての音にかかります。
- 設定した深さを他の設定といつしょに記憶させておきたい場合は、電源を切る前にメモリーボタン[1]～[8]のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

## 操作方法

リバーブ効果を最も深くかける操作を例にして説明します。



リバーブボタンを押します。



- 最上段のランプが点灯します。
- これでリバーブ効果は、最も深くかかるようになりました。
- リバーブ効果をかけたくない場合は、1番下のボタンを押します。

これで、リバーブ効果を最も深くかけることができました。

# サステイン(余韻)効果

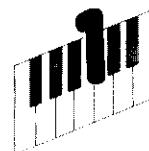
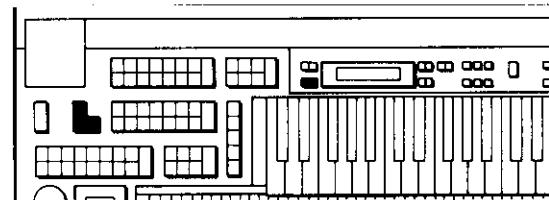
## 機能説明

アッパー/キー/ボードボイスで選んだ音、ローキー/ボードボイスで選んだ音、ペダルボイスで選んだ音に対してサステイン(余韻)効果をかけることができます。

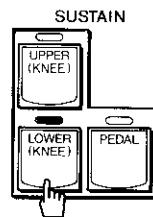
- サステインの設定状態は、その音色群のどの音色にも共通した設定になります。
- サステインの設定状態を他の設定といつしょに記憶させておきたい場合は、電源を切る前にメモリーボタン[1]～[8]のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

## 操作方法

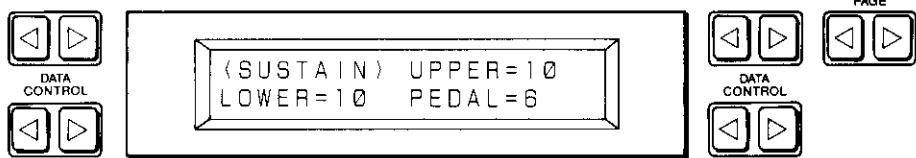
ローキー/ボードボイスで選んだ音に対して、余韻の長さ「12」のサステイン効果をかける操作を例にして説明します。  
他の音色にかける場合も、操作は同様です。



サステインの[LOWER](ロー)ボタンを押します。



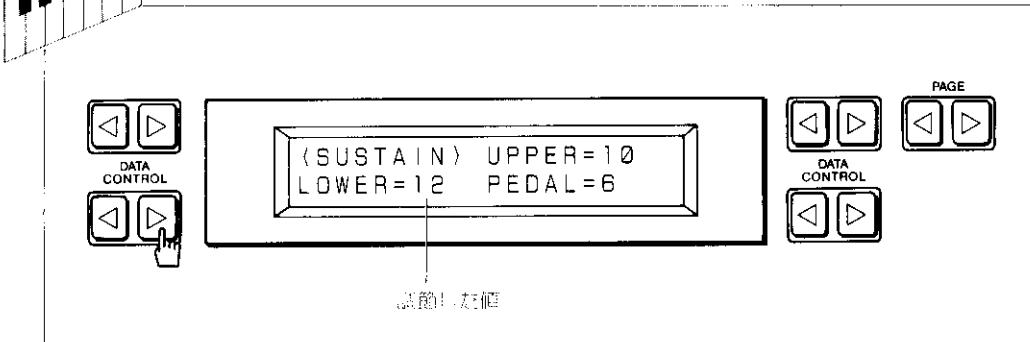
- [LOWER](ロー)ボタンのランプが点灯します。



- サステイン効果の余韻の長さが表示されます。



**21** 左下のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押して、ロワーキーボードボイスの余韻の長さを「12」にします。



- 0~12の範囲で調節できます。
- 値を大きくするほど、余韻の長さが長くなります。

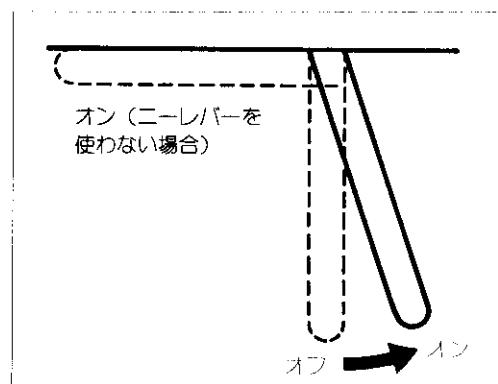
これで、余韻の長さ「12」でサステイン効果がかかるようになりました。

### 操作のポイント

- それぞれの余韻の長さをあらかじめ設定しておき、サステイン効果をかけるときだけ、該当するサステインボタンを押します。

#### こんなこともできる

- ニーレバーを使うと、演奏中にかけたいときに、サステイン効果をかけることができます。



- (1)ニーレバーをオフ(真下)の位置にします。
- (2)サステインをかける間、右ひざで右(オン)方向に倒します。

- サステインボタンがオンになっていなければ、ニーレバーをオンにしてもサステイン効果はかかりません。
- ニーレバーでオン/オフの操作をしない場合は、必ずたんんだ状態にしておいてください。

- 余韻の長さを極端に短くすると、ハープなど減衰系の音色のときに、元の音よりも余韻が短くなることがあります。この特性を利用して使うのもアイデアです。
- 残しておきたい設定は、電源を切る前にレジストレーションメモリーボタンに記憶させておくと便利です。

# レジストレーションをメモリー ボタンに記憶させる

## 機能説明

パネル上で設定した現在の状態を、メモリー ボタン(1)～(8)に記憶させることができます。

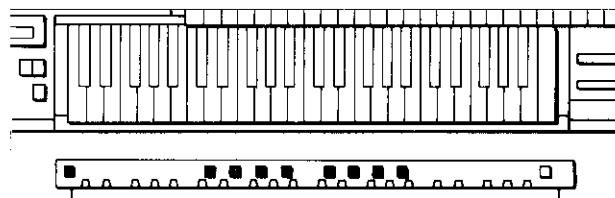
音色名、音色に関する設定、リズム名、リズムに関する設定、効果に関する設定を1つにまとめて記憶させることができます。

- メモリー ボタン(1)～(8)それぞれに記憶させることができます。
- 曲ごとに、または曲の1つの場面ごとに記憶させると便利です。
- 簡単な操作で、記憶させた状態(レジストレーション)を呼び出すことができます。

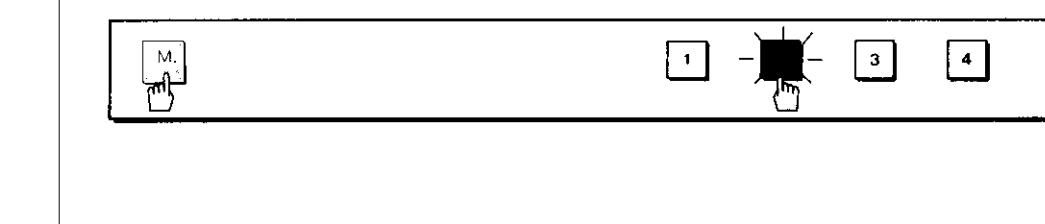
## 操作方法

メモリー ボタン(2)に記憶させる操作を例にして説明します。

他のボタンに記憶させる場合も、操作は同様です。



(M./TO DISK)(メモリー／トゥーディスク)ボタンを押しながら、メモリー ボタン(2)を押します。



- メモリー ボタン(2)が一瞬点滅して、現在のパネル状態が記憶されたことを示します。

これで、現在設定されている音色やリズムなどの状態がメモリー ボタン(2)に記憶されました。

## こんなこともできる

○メモリー ボタン(1)～(8)に記憶させた状態(レジストレーション)を、さらに録音用フロッピーディスクに記録することができます。この機能を使えば、フロッピーディスクに、(1)～(8)の組み合わせを何通りも記録させることができます。(→P151参照)

### 注

- メモリー ボタン(1)～(8)を押す前に(M./TO DISK)(メモリー／トゥーディスク)ボタンを離してしまうと、記憶されません。
- 記憶させると、それまでのボタンに記憶されていた状態は消えます。
- 現在設定されている音色やリズムなどの状態を残しておきたい場合は、電源を切る前に忘れずに記憶させてください。

### 注意

## ■記憶させたレジストレーションを呼び出す

### 機能説明

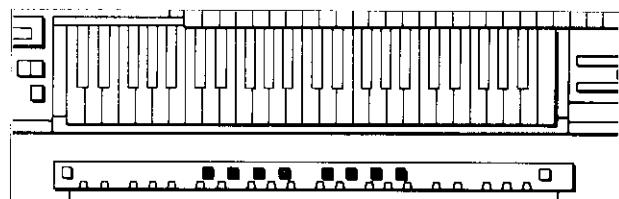
メモリーボタン(1)～(8)に記憶させた状態(レジストレーション)を呼び出して、使用できます。

音色名、音色に関する設定、リズム名、リズムに関する設定、効果に関する設定が再現されます。

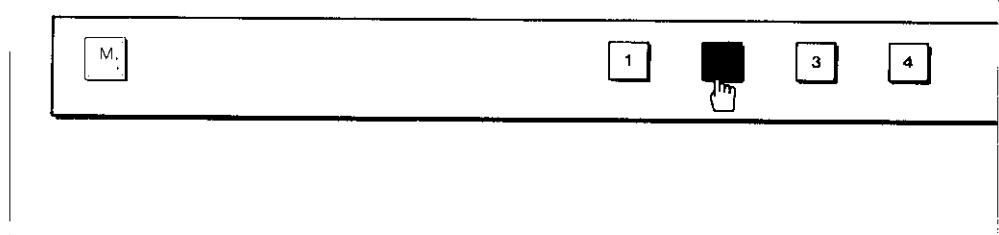
### 操作方法

メモリーボタン(2)に記憶させたレジストレーションを呼び出す操作を例にして説明します。

他のボタンのレジストレーションを呼び出す場合も、操作は同様です。



メモリーボタン(2)を押します。



●メモリーボタン(2)が点灯します。

これで、記憶されていた状態が呼び出され、メモリーボタン(2)の状態で演奏できるようになりました。

### こんなこともできる

- レジストシフトの機能を使えば、右フットスイッチの操作でレジストレーションを呼び出すことができます。(→P128参照)
- 録音用フロッピーディスクに記録したレジストレーションを呼び出して、使用することができます。(→P155参照)
- メモリーボタン(1)～(8)に記憶させないで電源を切ってしまった後、電源を切る前の状態に戻したいときは、まず電源を入れ、[M./TO DISK](メモリー／トゥーディスク)ボタンを押しながら、[D.](ディセーブル)ボタンを押します。

### 注意

- 電源を入れた時点では、必ず基本レジストレーション1になります。

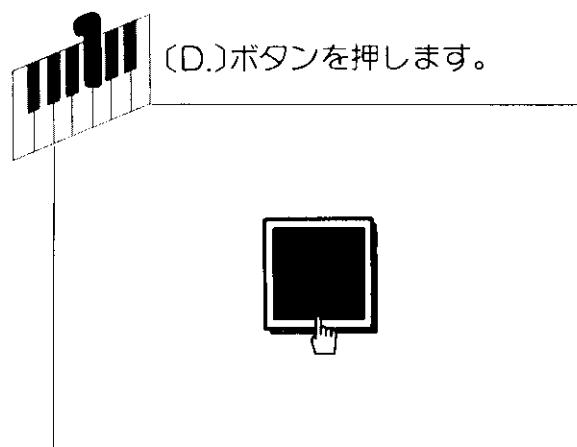
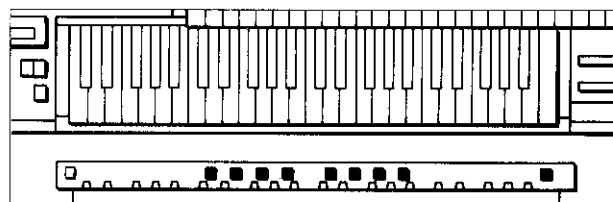
## ■ディスエーブルボタンについて

### 機能説明

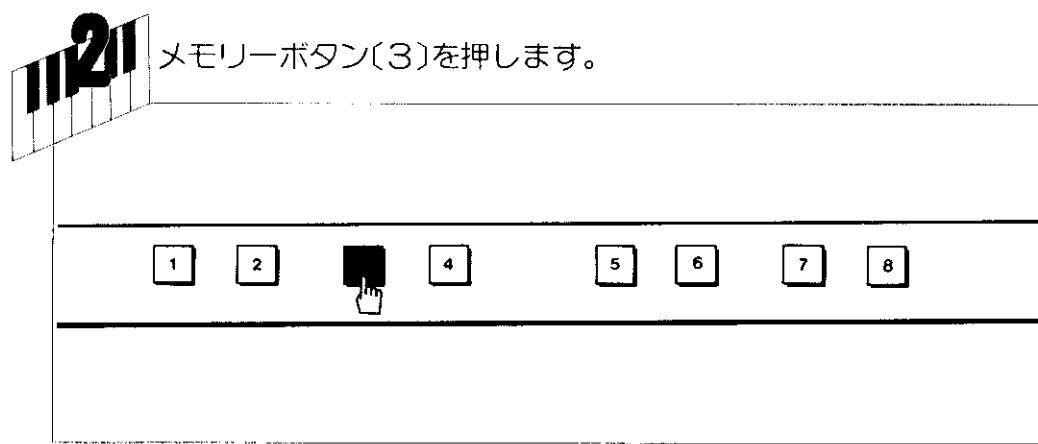
メモリー ボタン(1)～(8)に記憶させた状態(レジストレーション)のうち、音色名と効果に関する設定だけを呼び出すことができます。  
リズム名、テンポなどのリズムに関する設定は変えないで演奏できます。

### 操作方法

メモリー ボタン(3)に記憶されている音色名と効果に関する設定を呼び出す操作を例にして説明します。



- (D.) ボタンが点灯して、リズムに関する設定は、メモリー ボタンを押しても変わらなくなります。



- メモリー ボタン(3)が点灯します。

これで、メモリー ボタン(3)の音色名と効果に関する設定だけが呼び出されました。

### 操作のポイント

- この機能は、(D.) ボタンのランプを消灯させるまで、全てのレジストレーションに対して働きます。

注意

- 電源を入れた時点では、基本レジストレーション1に戻ります。  
(この機能も解除されます。)

# レジストレーションメニューを使う



## 機能説明

付属のレジストレーションメニューディスクから、基本レジストレーションとは設定が異なるレジストレーションを呼び出して、使用できます。

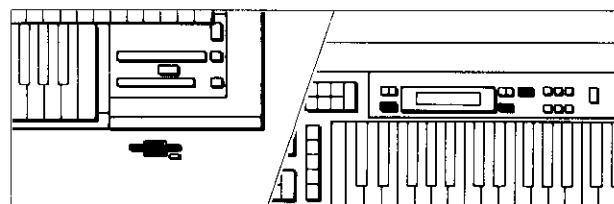
ディスク1には16種類×5ページ=80種類、ディスク2には10種類×4ページ=40種類のレジストレーションが記録されています。

- レジストレーション一覧表がP66にあります。

## 操作方法

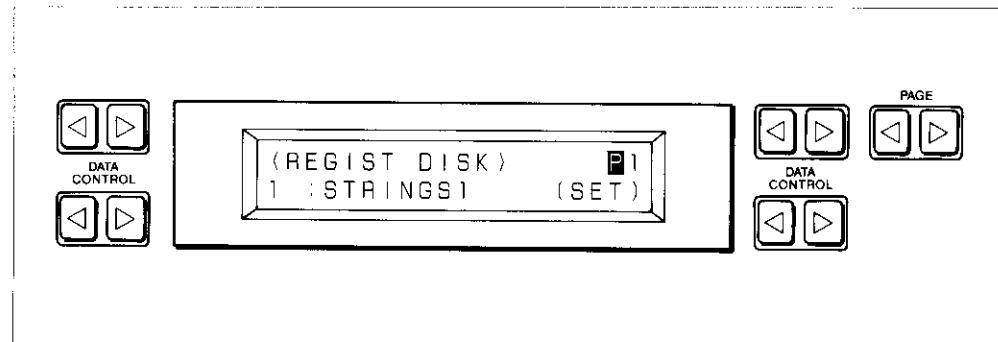
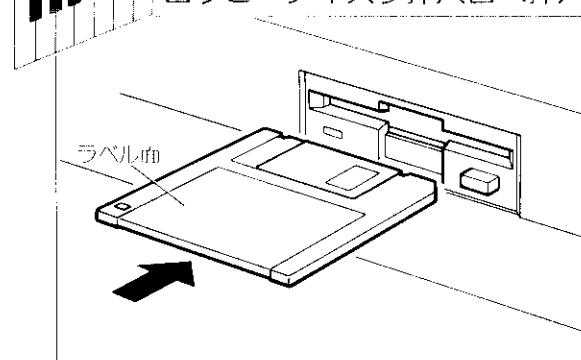
ディスク1の中から、「P3」の「4:SYNTH4」レジストレーションを呼び出す操作を例にして説明します。

他のレジストレーションを呼び出す場合も、操作は同様です。



**1** レジストレーションメニューディスク1を、ラベル面を上にしてフロッピーディスク挿入口へ挿入します。

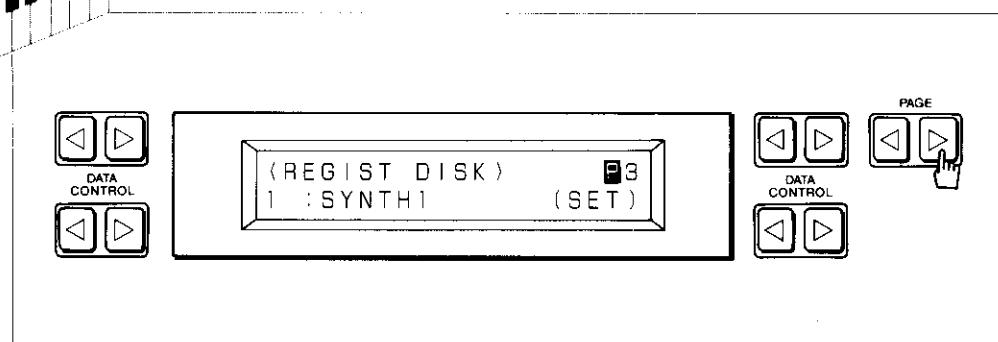
- “カチツ”と音がするまで、ディスクを押し込んでください。



- ディスクを挿入すると、ディスプレイに、「P1」(1ページ)の「1」番のレジストレーション名が表示されます。



**2** ページボタン〔〕〔〕を押して、「P3」にします。

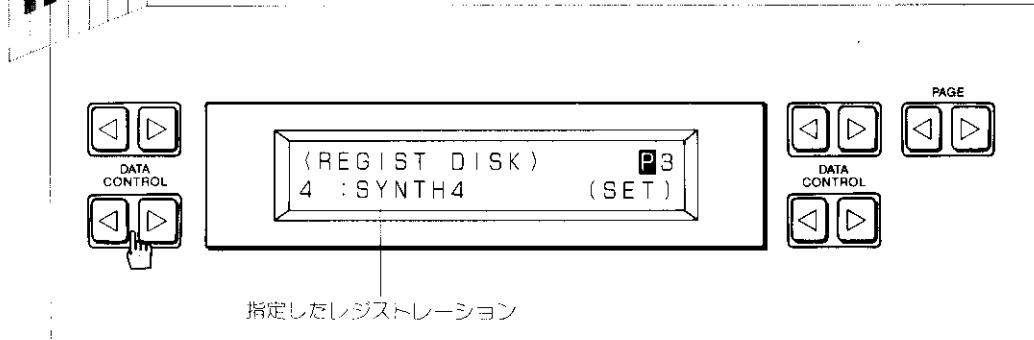


- ページを変えると、変えたページの「1」番のレジストレーション名が表示されます。

- 「P1」～「P5」のページがあります。ディスク2には「P1」～「P4」のページがあります。

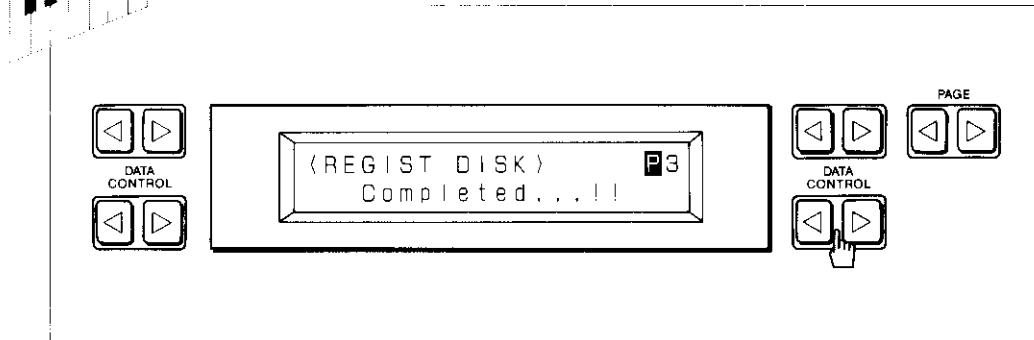
## レジストレーションメニューを使う

3 左下のデータコントロールボタン(＜)(＞)を押して、「4:SYNTH4」にします。



- ページごとに、「1」～「16」番のレジストレーションがあります。ディスク2にはページごとに、「1」～「10」番のレジストレーションがあります。(ディスク2の「11」～「16」番には、何もデータが入っていません。)

4 右下のデータコントロールボタン(＜)(＞)を押して、表示させたレジストレーションを呼び出します。



- ディスプレイには、一瞬だけ「Completed...!!」が表示されます。

これで、「P3」の「4:SYNTH4」のレジストレーションを呼び出すことができました。

こんなこともできる

- レジストレーションメニューディスクから呼び出したレジストレーションを、EL-37のメモリーボタン(1)～(8)のいずれかに記憶させることができます。詳しくは、P60をご覧ください。

- 注 意**
- リズムパターンを作成する状態や、リズムの再生順序を記憶させる状態になつているときは、レジストレーションメニューディスクを挿入しても、レジストレーションの表示にはなりません。
  - ディスク挿入口の左下にあるランプが点灯または点滅しているときは、ディスクを抜かないでください。

# レジストレーションメニューの表示に戻す操作

## 機能説明

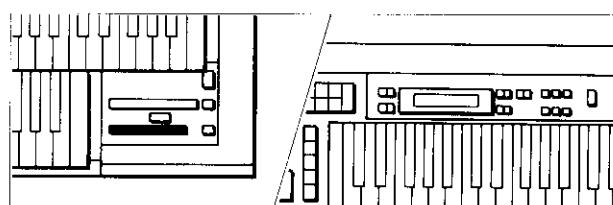
レジストレーションを呼び出す方法以外の操作をしたために他の表示になってしまって、もう一度レジストレーションメニューディスクの表示に戻すことができます。

レジストレーションメニューの表示に戻す操作には、次の2つの方法があります。

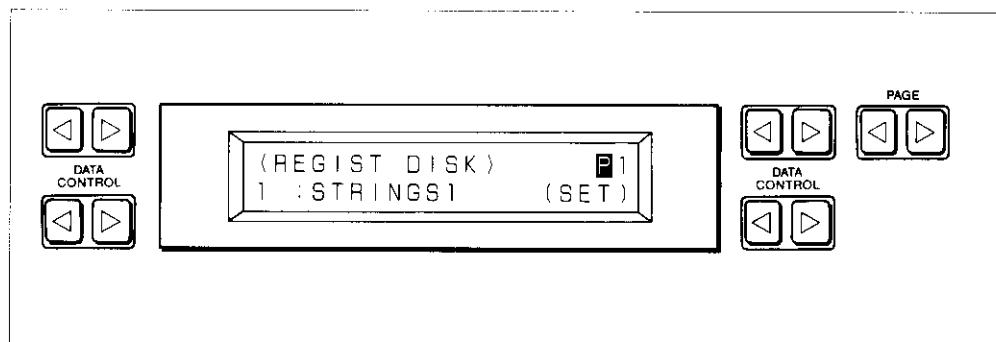
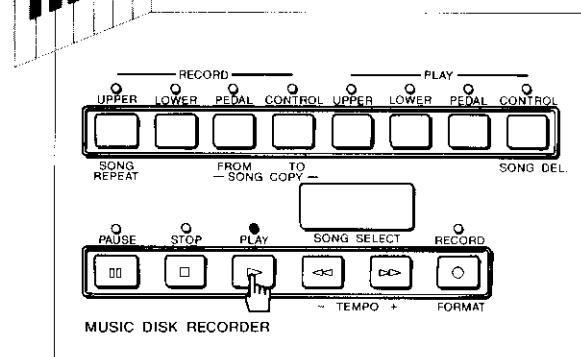
1. フロッピーディスク挿入口右横の取り出しボタンを押して、レジストレーションメニューディスクをいったん取り出し、再び挿入する方法。
2. レジストレーションメニューディスクを挿入したままで、ミュージックディスクレコーダーの[PLAY](プレイ)ボタンを使う方法。

## 操作方法

ここでは、2の方法を説明します。



レジストレーションメニューディスクを挿入したままで、ミュージックディスクレコーダーの[PLAY](プレイ)ボタンを押します。



●ディスプレイに、前回呼び出していたレジストレーション名が表示されます。

これで、レジストレーションメニューの表示に戻すことができました。

### 注意

- レジストレーションの呼び出しまで行うと、それまで設定中だった内容は消えてしまします。設定中の内容を記憶させておく場合は、呼び出す前にEL-37のメモリーボタン[1]～[8]のいずれかに記憶させてください。(→P60参照)

# レジストレーションの組み合わせと解説

ディスクのレジスト  
レーション一覧表

EL-37のレジストレーションメニューディスク1には80種類、ディスク2には40種類のレジストレーションが入っています。

## ディスク1 P1(ページ1)

| 番号 | 名 称      | サウンド イメージ                 | アッパー キーボード ポイズ | リード ポイズ     | ロー キーボード ポイズ | ペダル ポイズ         | リズム(テンポ)   | 適応曲例              |
|----|----------|---------------------------|----------------|-------------|--------------|-----------------|------------|-------------------|
| 1  | STRINGS1 | オーケストラ                    | ストリングス         | バイオリン       | ホルン          | コントラバス          | —          | 美しく青きドナウ          |
| 2  | STRINGS2 | ポップ ストリングス                | ストリングス         | ホイッスル       | ストリングス       | ピチカート ベース       | —          | 星に願いを             |
| 3  | STRINGS3 | チェンバー ストリングス              | ストリングス         | バイオリン       | ストリングス       | ピチカート ベース       | —          | G線上のアリア           |
| 4  | STRINGS4 | ソロ バイオリン                  | —              | バイオリン       | ストリングス       | コントラバス          | —          | エターナー(「ライム ラバ」より) |
| 5  | STRINGS5 | ポップス オーケストラ1              | ストリングス         | ハープシコード     | ストリングス       | エレクトリック ベース     | 8ビート1(115) | そよ風のメヌエット         |
| 6  | STRINGS6 | ピチカート ストリングス              | ピチカート ストリングス   | —           | ピチカート ストリングス | ピチカート ストリングス    | —          | ジャズ ピチカート         |
| 7  | STRINGS7 | ポップス オーケストラ2              | ストリングス         | トランペット      | プラス          | ピチカート ベース       | ポルカ(130)   | 教会へ行こう            |
| 8  | STRINGS8 | ストリングス アンサンブル             | ストリングス         | ストリングス(16') | ストリングス       | コントラバス          | —          | サウンド オブ ミュージック    |
| 9  | BRASS1   | マーチング バンド                 | プラス            | トロンボーン      | プラス          | ピューバ            | マーチ(120)   | サンダーバードのテーマ       |
| 10 | BRASS2   | ソロ トランペット                 | —              | トランペット      | ホルン          | ピューバ            | —          | レイダース マーチ         |
| 11 | BRASS3   | ビッグ バンド1                  | プラス            | サキソフォン      | トロンボーン       | ピチカート ベース       | スイング1(168) | イン ザ ムード          |
| 12 | BRASS4   | ソロ トロンボーン                 | —              | トロンボーン      | サキソфон       | ピチカート ベース       | スイング2(125) | バードランドの子守唄        |
| 13 | BRASS5   | ビッグ バンド2<br>(サックス アンサンブル) | サキソфон         | サキソфон(8')  | ピアノ          | ピチカート ベース       | スイング1(136) | 茶色の小びん            |
| 14 | BRASS6   | ジャズ コンボ1<br>(トランペット)      | —              | トランペット      | エレクトリック ベース  | ピチカート ベース       | ボサノバ2(160) | リカード ボサノバ         |
| 15 | BRASS7   | デキシーランド ジャズ               | —              | クラリネット      | ピアノ          | ピチカート ベース       | デキシー(96)   | 五匹の小豚とチャールストン     |
| 16 | BRASS8   | ソロ サキソфон                 | —              | サキソфон      | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ベース(16) | 16ビート3(80) | 悲しい色やね            |

## ディスク1 P2(ページ2)

| 番号 | 名 称    | サウンド イメージ    | アッパー キーボード ポイズ | リード ポイズ     | ロー キーボード ポイズ | ペダル ポイズ     | リズム(テンポ)    | 適応曲例                   |
|----|--------|--------------|----------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------------------|
| 1  | LEAD1  | 木管 アンサンブル    | オーボエ           | フルート        | クラリネット       | バスーン(8')    | —           | あやつ入形の葬送行進曲            |
| 2  | LEAD2  | ソロ フルート      | —              | フルート        | ピチカート ストリングス | コントラバス      | —           | シチリアーノ                 |
| 3  | LEAD3  | ソロ オーボエ      | —              | オーボエ        | ストリングス       | コントラバス      | —           | 海の見える街<br>(「魔女の宅急便」より) |
| 4  | LEAD4  | ポルカ          | —              | クラリネット      | ハーモニカ        | ピチカート ベース   | ポルカ(115)    | ピア樽 ポルカ                |
| 5  | LEAD5  | ホイッスル        | —              | ホイッスル       | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ベース | 8ビート1(78)   | 美女と野獣                  |
| 6  | LEAD6  | ハーモニカ        | —              | ハーモニカ       | ストリングス       | コントラバス      | —           | ケンタッキーの我が家             |
| 7  | LEAD7  | タンゴ バンド      | ハーモニカ          | ハーモニカ(16')  | ストリングス       | ピチカート ベース   | タンゴ1(120)   | 奥様お手をどうぞ               |
| 8  | LEAD8  | ジャズ オルガン     | ジャズ オルガン       | ジャズ オルガン(4) | ジャズ オルガン(8)  | オルガン ベース    | ボサノバ2(150)  | コール ミー                 |
| 9  | DECAY1 | アコースティック ピアノ | ピアノ            | —           | ピアノ          | ピチカート ベース   | —           | 別れの曲                   |
| 10 | DECAY2 | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ピアノ    | —           | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ベース | 16ビート3(78)  | オリビアを聴きながら             |
| 11 | DECAY3 | ホンキートンク ピアノ  | ピアノ            | —           | ピアノ          | ピアノ         | デキシー(90)    | エンターテイナー               |
| 12 | DECAY4 | ジャズ ギター      | エレクトリック ベース    | エレクトリック ベース | ストリングス       | エレクトリック ベース | ボサノバ1(140)  | マスカレード                 |
| 13 | DECAY5 | マリンバ         | マリンバ           | —           | ピアノ          | エレクトリック ベース | サンバ1(125)   | アイアイ                   |
| 14 | DECAY6 | ファンタジー 1     | ピープラфон(4')    | ホイッスル       | ストリングス       | エレクトリック ベース | スローロック1(72) | メモリー                   |
| 15 | DECAY7 | エレクトリック ギター  | エレクトリック ギター    | —           | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ベース | 8ビート3(130)  | オブラディ オブラダ             |
| 16 | DECAY8 | オリエンタル       | ハープシコード        | ハープシコード     | ストリングス       | コントラバス      | —           | にっぽん昔ばなし               |

**ディスク1 P3(ページ3)**

| 番号 | 名称     | サウンドイメージ   | アッパー キーボード ボイス | リード ボイス     | ロー キーボード ボイス | ペダル ボイス         | リズム(テンポ)     | 適応曲例            |
|----|--------|------------|----------------|-------------|--------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 1  | SYNTH1 | ウインド シンセ   | ——             | コズミック 3     | エレクトリック ギター  | エレクトリック ベース(16) | 8ビート3(150)   | トゥルース           |
| 2  | SYNTH2 | シンセ ブラス1   | シンセ ブラス        | クラリネット(4')  | エレクトリック ギター  | エレクトリック ベース     | 8ビート1(130)   | サザエさん           |
| 3  | SYNTH3 | コズミック サウンド | コズミック 2        | ホイップル       | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ベース     | 8ビート2(120)   | となりのトロ          |
| 4  | SYNTH4 | シンセ ブラス 2  | トゥッティ 2        | ブラス         | エレクトリック ギター  | エレクトリック ベース(16) | 16ビート3(117)  | 魔法使いのサリー        |
| 5  | SYNTH5 | フェーメーション   | ——             | エレクトリック ギター | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ベース(16) | ファンク(120)    | シー ライン          |
| 6  | SYNTH6 | ファンタジー 2   | コズミック 1(8)     | ホイップル       | コズミック 2      | コントラバス          | ——           | 月の光             |
| 7  | SYNTH7 | ファンタジー 3   | コズミック 2        | マリンバ(4')    | エレクトリック ピアノ  | エレクトリック ベース     | ダンス ポップ(125) | バナナのおやこ         |
| 8  | SYNTH8 | ファンタジー 4   | コズミック 3        | ホイップル       | コズミック 3      | エレクトリック ベース     | パウンス1(125)   | さんぽ(「となりのトロ」より) |

| 番号 | 名称       | リズム テンポ | アカンパニメント | アッパー キーボード ボイス  | リード ボイス     | ペダル ボイス       | 適応曲例       |
|----|----------|---------|----------|-----------------|-------------|---------------|------------|
| 9  | March    | 120     | 4        | プラス             | トランペット      | チューバ          | コバルトの空     |
| 10 | Polka    | 110     | 4        | バースーン           | フルート(4')    | ピチカート ベース     | ホルディリディア   |
| 11 | Country  | 112     | 1        | ——              | ハーモニカ       | ピチカート ベース(16) | 駅馬車        |
| 12 | Broadway | 135     | 4        | ビブラフォン(4')      | トランペット      | ピチカート ベース     | 踊りあかそう     |
| 13 | Waltz-1  | 105     | 4        | ストリングス          | ストリングス(16') | ピチカート ベース(16) | エデンの東      |
| 14 | Waltz-2  | 180     | 2        | ストリングス          | バイオリン       | ピチカート ベース     | 「こうもり序曲」より |
| 15 | J.Waltz  | 140     | 4        | エレクトリック ベース(16) | ホイップル       | ピチカート ベース(16) | モッキンバード ヒル |
| 16 | Bolero   | 136     | 1        | ——              | トランペット      | ピチカート ベース(16) | そよ風と私      |

**ディスク1 P4(ページ4)**

| 番号 | 名称          | リズム テンポ | アカンパニメント | アッパー キーボード ボイス | リード ボイス    | ペダル ボイス          | 適応曲例        |
|----|-------------|---------|----------|----------------|------------|------------------|-------------|
| 1  | Swing-1     | 160     | 3        | プラス            | トランペット     | ピチカート ベース        | マック ザ ナイフ   |
| 2  | Swing-2     | 138     | 4        | ——             | クラリネット     | ピチカート ベース        | オール オブ ミー   |
| 3  | J.Ballad    | 60      | 3        | ——             | トロンボーン     | ピチカート ベース        | ラウンド ミッドナイト |
| 4  | Dixie       | 108     | 4        | ——             | トランペット     | チューバ             | 聖者の行進       |
| 5  | Bounce-1    | 123     | 2        | ギター            | ——         | エレクトリック ベース      | 北風小僧の寒太郎    |
| 6  | Bounce-2    | 140     | 2        | ——             | クラリネット     | ピチカート ベース        | 東京ブギウギ      |
| 7  | Reggae-1    | 132     | 4        | マリンバ           | ——         | エレクトリック ベース      | バナナ ポート     |
| 8  | Reggae-2    | 120     | 4        | コズミック 2        | シンセ ブラス    | エレクトリック ベース(16)  | ジャミング       |
| 9  | Slow Rock-1 | 80      | 1        | エレクトリック ギター    | ——         | エレクトリック ベース(16)  | 君といつまでも     |
| 10 | Slow Rock-2 | 74      | 1        | ——             | トランペット     | エレクトリック ベース(16)  | この世の果てまで    |
| 11 | Slow Rock-3 | 92      | 4        | ——             | サキソフォン     | エレクトリック ベース(16)  | この胸のときめきを   |
| 12 | Tango-1     | 120     | 1        | ハーモニカ          | ハーモニカ(16') | ピチカート ベース(16')   | ラ クンバルシータ   |
| 13 | Tango-2     | 120     | 1        | ストリングス         | バイオリン      | ピチカート ベース(16')   | 真珠採りのタンゴ    |
| 14 | Tango-3     | 110     | 1        | ハーモニカ          | ハーモニカ(16') | エレクトリック ベース(16') | 花まつり        |
| 15 | Cha-Cha     | 126     | 4        | ピアノ(16')       | ピアノ(4')    | エレクトリック ベース(16') | おもちゃのチャチャチャ |
| 16 | Rumba       | 115     | 1        | ——             | トロンボーン(8') | エレクトリック ベース(16') | タブー         |

**ディスク1 P5(ページ5)**

| 番号 | 名称          | リズム テンポ | アカンパニメント | アッパー キーボード ボイス  | リード ボイス     | ペダル ボイス         | 適応曲例       |
|----|-------------|---------|----------|-----------------|-------------|-----------------|------------|
| 1  | Beguine     | 118     | 4        | ストリングス          | ホイップル       | エレクトリック ベース(16) | ビギン ザ ビギン  |
| 2  | Mambo       | 100     | 4        | プラス             | サキソフォン      | エレクトリック ベース(16) | マンボ ジャンボ   |
| 3  | Samba-1     | 120     | 1        | サキソフォン          | トランペット      | エレクトリック ベース(16) | ブラジル       |
| 4  | Samba-2     | 112     | 1        | エレクトリック ベース(16) | フルート        | エレクトリック ベース(16) | コパカバーナ     |
| 5  | Bossanova-1 | 103     | 1        | ——              | フルート        | エレクトリック ベース(16) | いそしき       |
| 6  | Bossanova-2 | 124     | 2        | ——              | サキソフォン      | エレクトリック ベース(16) | 黒いオルフェ     |
| 7  | 8Beat-1     | 100     | 3        | コズミック 2         | ビブラフォン(4')  | エレクトリック ベース(16) | いい日旅立ち     |
| 8  | 8Beat-2     | 117     | 2        | エレクトリック ピアノ     | ——          | エレクトリック ベース(16) | 守ってあげたい    |
| 9  | 8Beat-3     | 152     | 3        | エレクトリック ギター     | エレクトリック ギター | エレクトリック ベース(16) | ロックン オムレツ  |
| 10 | Dance Pop   | 130     | 4        | ビブラフォン(4')      | エレクトリック ピアノ | エレクトリック ベース(16) | 夢の中へ       |
| 11 | 16Beat-1    | 85      | 4        | ——              | フルート        | エレクトリック ベース(16) | 二人だけ       |
| 12 | 16Beat-2    | 124     | 4        | シンセ ブラス         | シンセ ブラス(16) | エレクトリック ベース(16) | アイズ トゥー ミー |
| 13 | 16Beat-3    | 112     | 4        | プラス             | トランペット      | エレクトリック ベース(16) | 愛は不思議さ     |
| 14 | 16Beat Funk | 118     | 4        | エレクトリック ギター(8)  | コズミック 3     | エレクトリック ベース(16) | ウィー ザ チャンプ |

| 番号 | 名称      | サウンドイメージ | アッパー キーボード ボイス | リード ボイス    | ロー キーボード ボイス | ペダル ボイス   | リズム(テンポ) | 適応曲例    |
|----|---------|----------|----------------|------------|--------------|-----------|----------|---------|
| 15 | Wedding | ウェディング   | オルガン           | オルガン(4')   | オルガン         | オルガン(16') | ——       | 結婚行進曲   |
| 16 | X'mas   | クリスマス    | コズミック 2        | ビブラフォン(4') | ストリングス       | コントラバス    | ——       | ジングル ベル |

# レジストレーションメニューの組み合わせと解説

## ディスク2 P1(ページ1)

| 番号 | 名 称      | サウンド イメージ      | アッパー キーボード ボイス | リード ボイス     | ロー キーボード ボイス | ペダル ボイス   | 適応曲例           |
|----|----------|----------------|----------------|-------------|--------------|-----------|----------------|
| 1  | STRINGS1 | ソロ バイオリン       | ——             | バイオリン       | ストリングス       | コントラバス    | ガボット           |
| 2  | STRINGS2 | ストリングス アンサンブル  | ストリングス         | ストリングス(4')  | ホルン          | ピチカート ベース | 虹の彼方に          |
| 3  | STRINGS3 | ポップ ストリングス 1   | ストリングス         | ビブラフォン(4')  | ホルン          | コントラバス    | サウンド オブ ミュージック |
| 4  | STRINGS4 | ポップ ストリングス 2   | ストリングス         | クラリネット      | ストリングス       | ピチカート ベース | 糸まきのうた         |
| 5  | STRINGS5 | シンフォニック オーケストラ | トゥッティ 1        | トゥッティ 2(16) | ストリングス       | コントラバス    | レイダース マーチ      |
| 6  | BRASS1   | トランペット アンサンブル  | プラス            | トランペット      | プラス          | チューバ      | ロのテーマ          |
| 7  | BRASS2   | ソロ トランペット      | ——             | トランペット      | トロンボーン       | チューバ      | 輝く光の中へ         |
| 8  | BRASS3   | ソロ トロンボーン      | ——             | トロンボーン      | トロンボーン       | チューバ      | 子象の行進          |
| 9  | BRASS4   | プラス アンサンブル     | トランペット         | トロンボーン      | ホルン          | チューバ      | 10人のインディアン     |
| 10 | BRASS5   | ビッグ パンド        | プラス            | トロンボーン      | サキソфон       | ピチカート ベース | オー シャンゼリゼ      |

## ディスク2 P2(ページ2)

| 番号 | 名 称    | サウンド イメージ   | アッパー キーボード ボイス | リード ボイス | ロー キーボード ボイス | ペダル ボイス   | 適応曲例       |
|----|--------|-------------|----------------|---------|--------------|-----------|------------|
| 1  | LEAD1  | ソロ フルート 1   | ——             | フルート    | ストリングス       | コントラバス    | シューベルトの子守歌 |
| 2  | LEAD2  | ソロ フルート 2   | ——             | フルート    | クラリネット       | ピチカート ベース | 河は呼んでいる    |
| 3  | LEAD3  | ホイッスル       | ——             | フルート(4) | ピチカート ストリングス | ピチカート ベース | 北風小僧の寒太郎   |
| 4  | LEAD4  | フルート アンサンブル | フルート           | フルート(4) | バスーン         | ピチカート ベース | どんぐりころころ   |
| 5  | LEAD5  | ポップ フルート    | ビブラフォン(4')     | フルート    | ストリングス       | コントラバス    | ジングル ベル    |
| 6  | LEAD6  | 木管 アンサンブル 1 | バスーン           | フルート(4) | クラリネット       | ピチカート ベース | ドラえもんのうた   |
| 7  | LEAD7  | ソロ オーボエ     | ——             | オーボエ    | バスーン         | ピチカート ベース | ドナドナ       |
| 8  | LEAD8  | 木管 アンサンブル 2 | ——             | クラリネット  | バスーン         | クラリネット    | 気のいいあひる    |
| 9  | LEAD9  | ソロ クラリネット   | クラリネット         | ——      | ホルン          | ピチカート ベース | わらの中の七面鳥   |
| 10 | LEAD10 | ソロ サキソфон   | ——             | サキソfon  | ストリングス       | コントラバス    | ダニー ポーイ    |

## ディスク2 P3(ページ3)

| 番号 | 名 称       | サウンド イメージ    | アッパー キーボード ボイス | リード ボイス     | ロー キーボード ボイス | ペダル ボイス    | 適応曲例        |
|----|-----------|--------------|----------------|-------------|--------------|------------|-------------|
| 1  | DECAY1    | ピアノ          | ピアノ            | ——          | ピアノ          | ピアノ        | 別れの曲        |
| 2  | DECAY2    | ハープシコード      | ハープシコード        | ——          | ストリングス       | コントラバス     | メヌエット       |
| 3  | DECAY3    | マリンバ         | マリンバ           | ——          | クラリネット       | ピチカート ベース  | こぎつね        |
| 4  | DECAY4    | オルゴール        | ビブラフォン(4')     | ——          | ビブラフォン(4')   | ビブラフォン(4') | グラームスの子守歌   |
| 5  | DECAY5    | クラシック ギター    | ギター            | ——          | ストリングス       | ピチカート ベース  | ラ クカラチャ     |
| 6  | ORGAN1    | オルガン         | オルガン           | ——          | オルガン         | オルガン ベース   | 結婚行進曲       |
| 7  | ORGAN2    | ジャズ オルガン     | ジャズ オルガン(8)    | ——          | ジャズ オルガン(8)  | オルガン ベース   | のんきとたんき     |
| 8  | BANDONEON | バンド ネオン      | ハーモニカ          | ハーモニカ       | ストリングス       | ピチカート ベース  | ガリンカ        |
| 9  | SYNTH1    | コズミック サウンド 1 | コズミック 2        | コズミック 1     | コーラス         | コントラバス     | 月の光         |
| 10 | SYNTH2    | コズミック サウンド 2 | コズミック 3        | シンセ ベース(8') | コズミック 3      | シンセ ベース    | パロック ホウ ダウン |

## ディスク2 P4(ページ4)

| 番号 | 名 称       | リズム テンポ | アカンパニメント | アッパー キーボード ボイス | リード ボイス     | ペダル ボイス         | 適応曲例       |
|----|-----------|---------|----------|----------------|-------------|-----------------|------------|
| 1  | March     | 120     | 4        | プラス            | トランペット      | チューバ            | ボギー大佐      |
| 2  | Broadway  | 135     | 4        | トロンボーン(8)      | サキソfon(8)   | ピチカート ベース       | アイ ゴット リズム |
| 3  | Waltz     | 105     | 4        | ストリングス         | ストリングス(16)  | ピチカート ベース       | ムーンリバー     |
| 4  | Swing     | 160     | 3        | プラス            | トランペット      | ピチカート ベース       | A列車で行こう    |
| 5  | Slow Rock | 80      | 3        | ギター            | エレクトリック ベース | エレクトリック ベース(16) | 津軽海峡冬景色    |
| 6  | Tango     | 127     | 3        | ハーモニカ          | ハーモニカ(16)   | ピチカート ベース(16)   | エル チョクロ    |
| 7  | Cha-Cha   | 126     | 4        | ピアノ(16')       | ピアノ(4)      | エレクトリック ベース(16) | ラストダンスは私に  |
| 8  | Samba     | 120     | 1        | サキソfon         | トランペット      | エレクトリック ベース(16) | ブラジル       |
| 9  | 8Beat     | 100     | 3        | コズミック 2        | ビブラフォン(4')  | エレクトリック ベース(16) | いい日旅立ち     |
| 10 | 16Beat    | 74      | 4        | ハーモニカ          | ハーモニカ       | エレクトリック ベース(16) | 愛のハーモニー    |

○ディスク1、2のリズム付きのレジストレーションでは、<ABC>はフィンガード、<メモリー>はロー キーボード/ペダルともオンになっています。

# 活用編

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| トゥーロワー                        |     |
| 音色を下鍵盤に移す                     | 70  |
| ドットボタン                        |     |
| 設定した音色をドットボタンに登録する            | 71  |
| 設定したリズムをドットボタンに登録する           | 74  |
| 効果(II)                        |     |
| トレモロ(ファースト)                   | 79  |
| エフェクトセット(ディレイ/フランジャー/シンフォニック) | 80  |
| リズムプログラム・パターン                 |     |
| リズムプログラム(パターン)について            | 86  |
| 新しいリズムを作る                     | 88  |
| リズムをエディットする                   | 106 |
| リズムプログラム・シーケンス                |     |
| リズムプログラム(シーケンス)について           | 113 |
| リズムの順序を決める(シーケンス)             | 114 |
| フットスイッチ                       |     |
| フットスイッチについて                   | 127 |
| 右フットスイッチ                      |     |
| レジストシフト                       | 128 |
| 左フットスイッチ                      |     |
| リズム(トップ/エンディング/フィルイン)         | 135 |
| グライド                          | 137 |
| リセット                          |     |
| パワーオン・リセット                    | 139 |
| 「演奏の録音・再生」                    |     |
| ミュージックディスクレコーダー               |     |
| ミュージックディスクレコーダー(MDR)について      | 142 |
| フロッピーディスクについて                 | 147 |
| ディスクをフォーマット(初期化)する            | 149 |
| レジストレーションデータの記録               | 151 |
| 演奏を録音する                       | 156 |
| いろいろな録音のしかた                   | 160 |
| レジストレーションのデータだけを差し替える         | 169 |
| 演奏を再生する                       | 171 |
| 曲をコピーする                       | 183 |
| 曲を削除する                        | 185 |
| ボイスディスクを使う                    | 186 |
| 「他の楽器と組み合わせる」                 |     |
| 音程／移調                         |     |
| 音の高さを変える(ピッチ/トランスポーズ)         | 189 |
| MIDI                          |     |
| MIDI端子について                    | 192 |
| MIDIを使うと                      | 193 |
| MIDIの設定                       | 195 |
| MIDIメッセージ一覧                   | 201 |

# 音色を下鍵盤に移す

## 機能説明

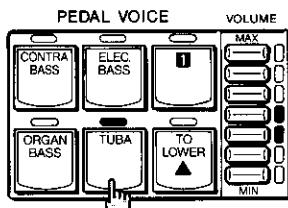
トゥーロワーとは、リードボイスやペダルボイスの音色を、下鍵盤に移して発音できる機能です。移したリードボイスまたはペダルボイスの音色は、下鍵盤の音色（ローキーボードボイス）と同時に発音します。

## 操作方法

ペダルボイスの音色群の中から、「TUBA」(チューバ) の音色を選び、その音色を下鍵盤に移す操作を例にして説明します。



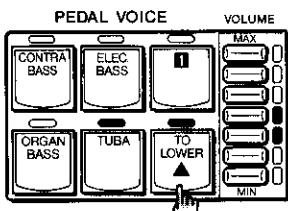
1 ペダルボイスの〔TUBA〕(チューバ) ボタンを押します。



- 〔TUBA〕(チューバ) ボタンのランプが点灯します。
- ここで、チューバの音色の中から、移したい音色を選ぶことができます。



2 ペダルボイスの〔TO LOWER〕(トゥーロワー) ボタンを押します。



- ペダルボイスの〔TO LOWER〕(トゥーロワー)のボタンのランプが点灯します。



## 操作のポイント

- 操作1で選んだ音色に効果をかけている場合は、下鍵盤へ移した音にも効果がかかっています。
- リードボイスの音色を下鍵盤に移したい場合は、リードボイスの〔TO LOWER〕(トゥーロワー) ボタンを押して、同じように操作します。

### 注意

- この機能を使って、リードボイスを移した場合は、上鍵盤を押さえてもリードボイスの音は発音されません。また、ペダルボイスを移した場合も、ペダル鍵盤を押さえてもペダルボイスの音は発音されません。
- 〔TO LOWER〕(トゥーロワー) ボタンを押しても、ディスプレイの表示は変わりません。

# 設定した音色をドットボタンに登録する

## 機能説明

ドットボタンは、全ての音色の中で、よく使う音色を登録しておくことができるボタンです。

登録したドットボタンの内容は、ドットボタンを押すだけで、簡単に呼び出すことができます。

また、音色だけでなくリズムにもドットボタンがあります。リズムのドットボタンについては、P74をご覧ください。

各音色のドットボタンは、次の通りです。

音色群 アッパーキーボードボイス：ドットボタン〔1〕、〔2〕

ロワーキーボードボイス：ドットボタン〔1〕、〔2〕

リードボイス：ドットボタン〔1〕

ペダルボイス：ドットボタン〔1〕

### ●音色名とドットボタンのページについて

| ページ | 音色名                 |
|-----|---------------------|
| P1  | STRINGS(ストリングス)     |
| P2  | VIOLIN(バイオリン)       |
| P3  | CONTRA BASS(コントラバス) |
| P4  | BRASS(プラス)          |
| P5  | HORN(ホルン)           |
| P6  | TRUMPET(トランペット)     |
| P7  | TUBA(チューバ)          |
| P8  | FLUTE(フルート)         |
| P9  | OBOE(オーボエ)          |
| P10 | CLARINET(クラリネット)    |
| P11 | SAXOPHONE(サクソフォン)   |

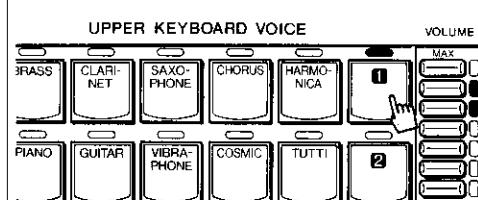
| ページ | 音色名                   |
|-----|-----------------------|
| P12 | TUTTI(トゥッティ)          |
| P13 | CHORUS(コーラス)          |
| P14 | HARMONICA(ハーモニカ)      |
| P15 | ORGAN(オルガン)           |
| P16 | ORGAN BASS(オルガンベース)   |
| P17 | PIANO(ピアノ)            |
| P18 | GUITAR(ギター)           |
| P19 | VIBRAPHONE(ビブラフォン)    |
| P20 | ELEC.BASS(エレクトリックベース) |
| P21 | COSMIC(コズミック)         |
| PUS | USER VOICE(ユーザー音色)    |

## 操作方法

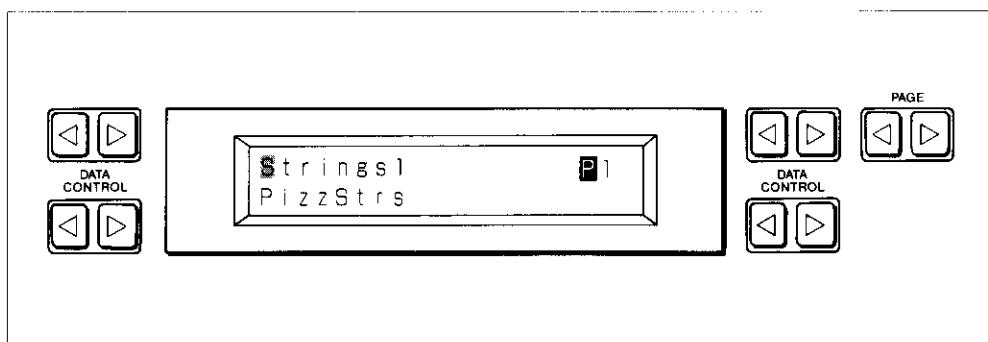
アッパーキーボードボイスのドットボタン〔1〕に、6ページ中の「Trombone」(トロンボーン)を登録する操作を例にして説明します。



1 アッパーキーボードボイスのドットボタン〔1〕を押します。



- ドットボタン〔1〕のランプが点灯します。
- アッパーキーボードボイスのドットボタン〔2〕や他の音色群のドットボタンに登録したい場合は、それぞれ登録したいドットボタンを押します。

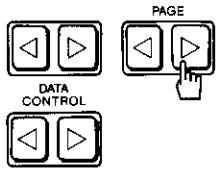
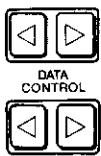


- アッパーキーボードボイスの音色名が表示され、前に登録した音色名の頭文字が点滅しています。

## 設定した音色をドットボタンに登録する

2

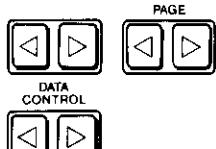
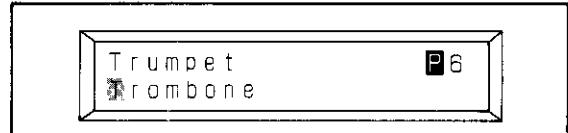
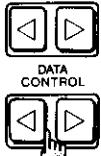
ページボタン(▷)を押して、6ページ目の「Trumpet」を選びます。



- 他の音色のメニューを表示させる場合は、ページボタン(◁)(▷)を押します。

3

左下のデータコントロールボタン(◁)(▷)を押して、「Trombone」を選びます。



- 「Trombone」の頭文字が点滅します。
- 他の音色を選ぶ場合は、データコントロールボタン(◁)(▷)を押します。

これで、ドットボタン(1)に「Trombone」が登録されました。

- 登録した音色を、もう一度呼び出すには、アッパー・キー・ボードボイスのドットボタン(1)を押します。

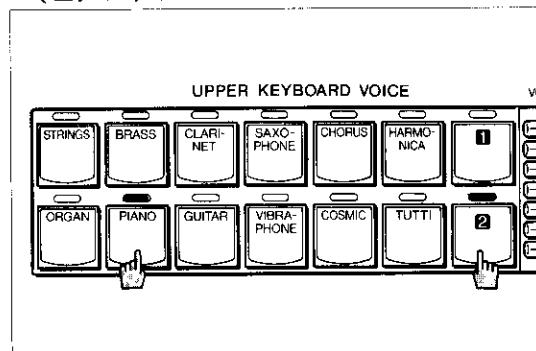
### ユーザー(USER)ボイスについて

4つの「USER」(ユーザー)ボイスに、付属のEL-37用ボイスディスクの音色を呼び出すことができます。詳しくは、P186をご覧ください。

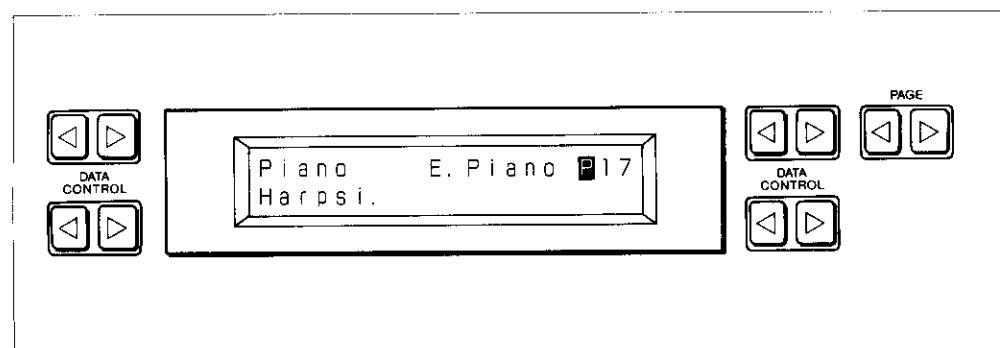
こんなこともできる

○登録したい音色のページをすぐに呼び出すことができます。

①アッパー・キー・ボードボイスのドットボタン(2)を押しながら、[PIANO] (ピアノ)ボタンを押します。

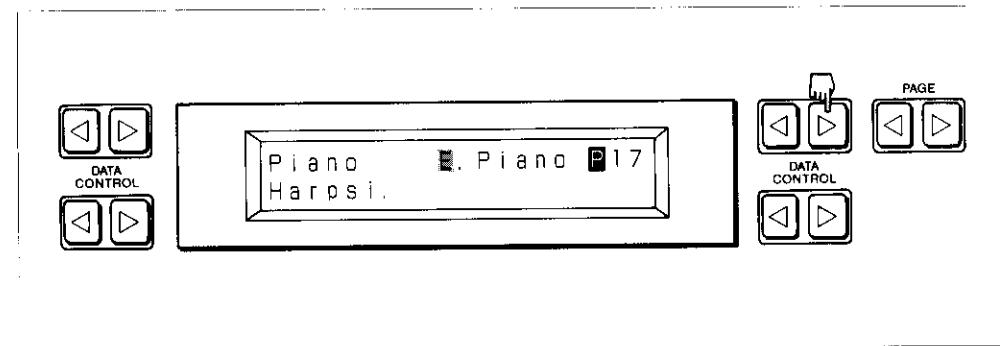


●他の音色を登録したい場合は、同じようにドットボタンを押しながら登録したい音色のボタンを押します。



●17ページ目のPIANOのメニューが表示されます。

②右上のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押して、「E.Piano」を選びます。



●「E.Piano」の頭文字が点滅します。

これで、ドットボタン(2)に「E.Piano」が登録できました。

注  
意

●ドットボタンに登録する場合、音色メニューのページに切り替えただけでは、前の設定のままです。  
データコントロールボタン(↖)(↗)を押して、音色を選ぶまでの操作を行ってください。



ドットボタン

# 設定したリズムをドットボタンに登録する

## 機能説明

ドットボタンとは、全てのリズムの中でよく使うリズム、または作ったリズムを登録しておくことができるボタンです。

登録したドットボタンの内容は、ドットボタンを押すだけで、簡単に呼び出すことができます。

また、リズムだけでなく音色にもドットボタンがあります。音色のドットボタンについては、P71をご覧ください。

リズムのドットボタンは、次の通りです。

リズム：ドットボタン(1)、(2)

### ●リズム名とドットボタンのページについて

| ページ | リズム名              |
|-----|-------------------|
| P1  | MARCH(マーチ)        |
| P2  | WALTZ(ワルツ)        |
| P3  | SWING(スイング)       |
| P4  | BOUNCE(バウンス)      |
| P5  | SLOW ROCK(スローロック) |
| P6  | TANGO(タンゴ)        |

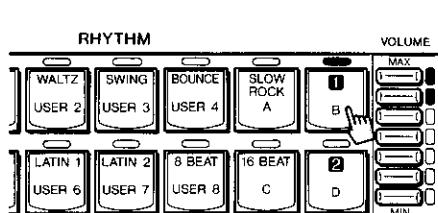
| ページ   | リズム名              |
|-------|-------------------|
| P7    | LATIN 1(ラテン 1)    |
| P8    | LATIN 2(ラテン 2)    |
| P9    | 8 BEAT(8ビート)      |
| P10   | 16 BEAT(16ビート)    |
| PU1~8 | USER 1~8(ユーザーリズム) |

## 操作方法

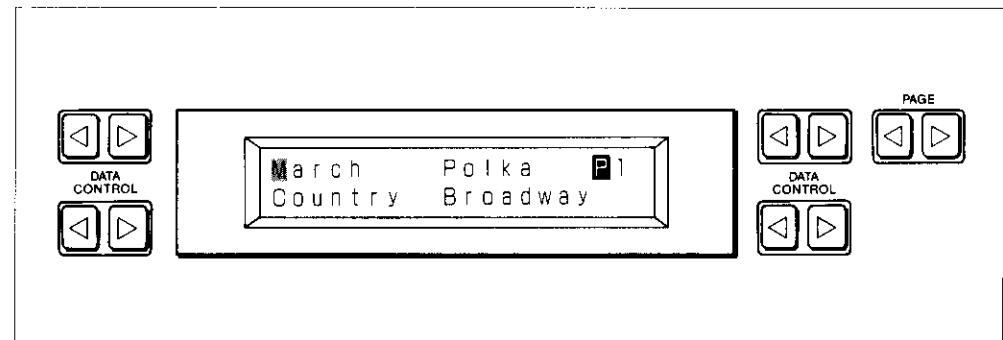
リズムのドットボタン(1)に、3ページ目の「Swing 2」(スイング2)を登録する操作を例にして説明します。



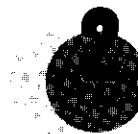
リズムのドットボタン(1)を押します。



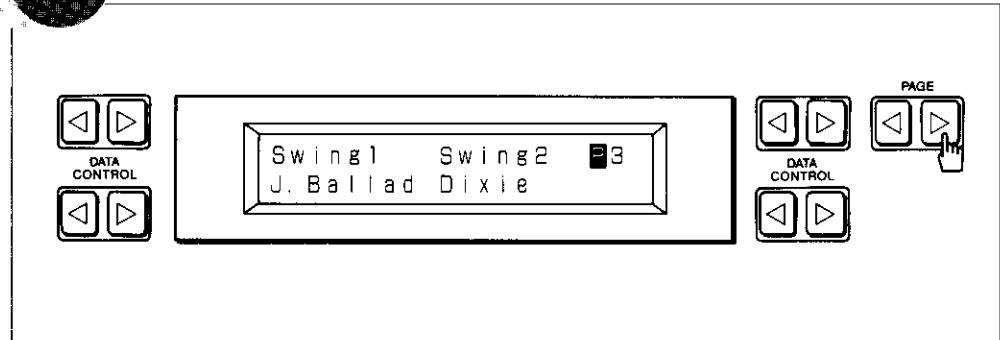
- ドットボタン(1)のランプが点灯します。
- リズムのドットボタン(2)に登録する場合は、ドットボタン(2)を押します。



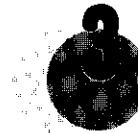
●リズム名が表示され、前に登録したリズムの頭文字が点滅しています。



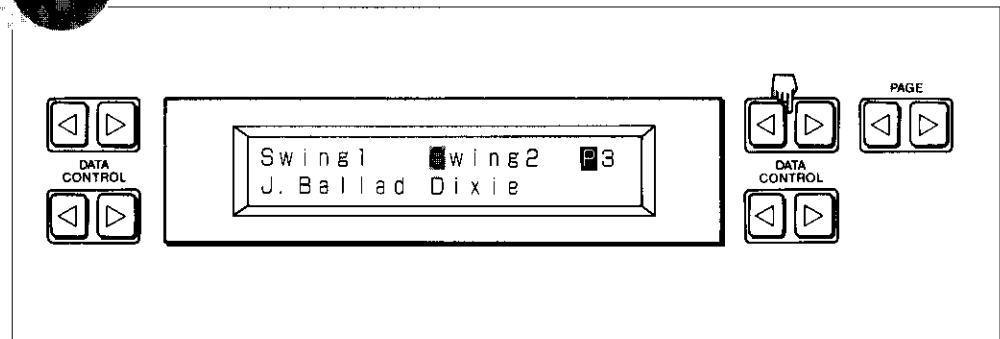
ページボタン〔▷〕を押して、3ページ目の「Swing」を表示させます。



- 他のリズムのメニューを表示させる場合は、ページボタン〔◀〕〔▷〕を押します。



右上のデータコントロールボタン〔◀〕〔▷〕を押して、「Swing 2」を選びます。



- 「Swing 2」の頭文字が点滅します。
- 他のリズムを選ぶ場合は、データコントロールボタン〔◀〕〔▷〕を押します。

ここで、ドットボタン〔1〕に「Swing 2」が登録されました。

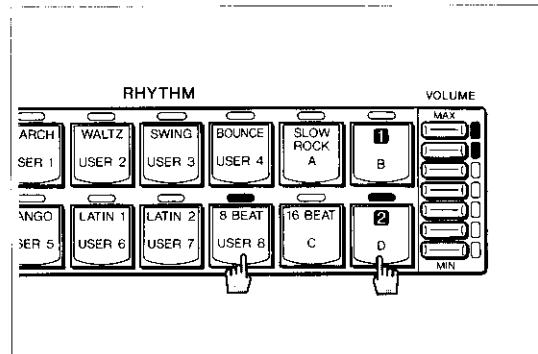
- 登録したリズムを、もう1度呼び出すには、リズムのドットボタン〔1〕を押します。

## 設定したリズムをドットボタンに登録する

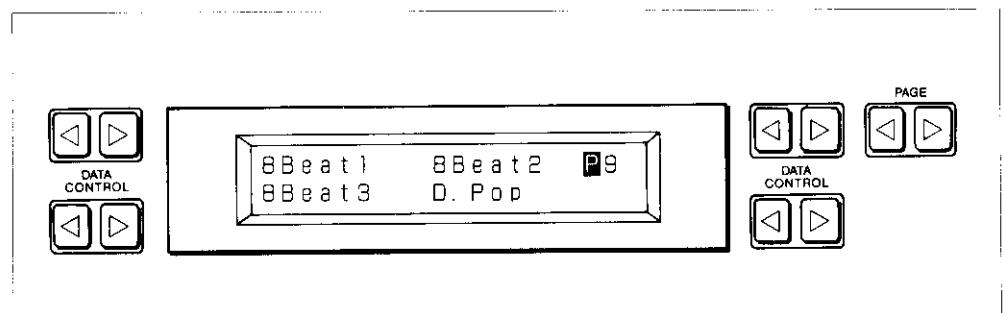
こんなこともできる

- 登録したいリズムのページをすぐに呼び出すことができます。

- ①リズムのドットボタン(2)を押しながら、(8 BEAT) (8ビート) ボタンを押します。

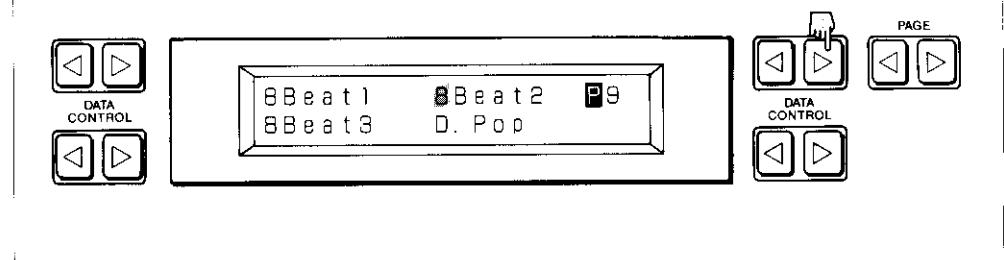


- 他のリズムを登録したい場合は、ドットボタンを押しながら登録したいリズムのボタンを押します。



- 9ページ目の8 Beatのメニューが表示されます。

- ②右上のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、「8 Beat 2」を選びます。

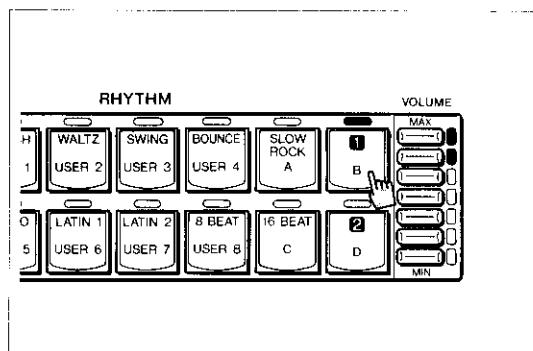


これで、ドットボタン(2)に「8 Beat 2」が登録できました。

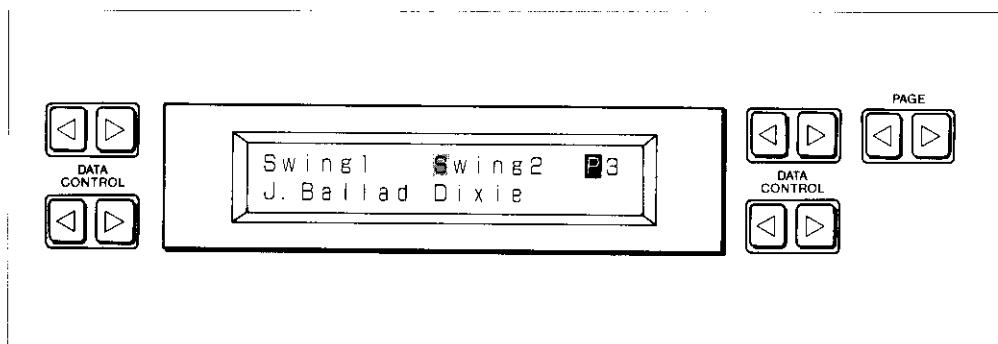
○作ったリズムをドットボタンに登録することができます。

リズムパターンで作ったリズムをドットボタンに登録することができます。

①リズムのドットボタン(1)を押します。

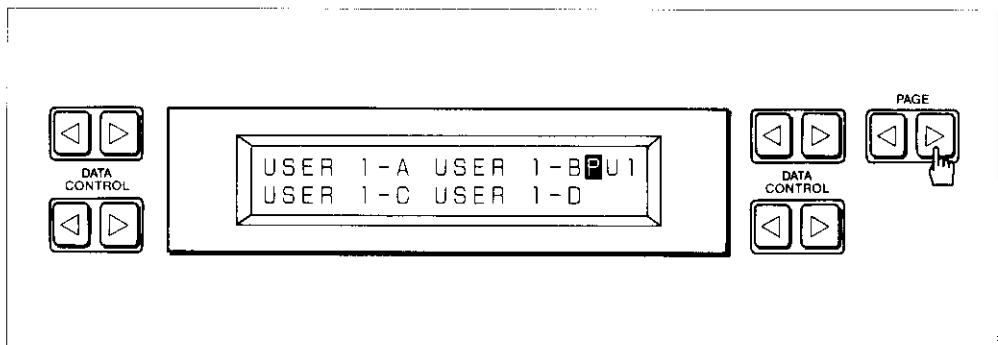


- ドットボタン(1)のランプが点灯します。
- リズムのドットボタン(2)に登録する場合は、ドットボタン(2)を押します。



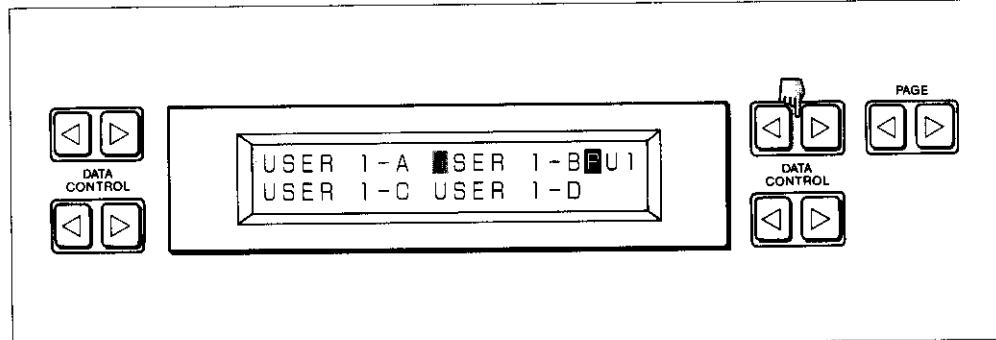
- リズム名が表示され、前に登録したリズムの頭文字が点滅しています。

②ページボタン(▶)を押し、ユーザーのページ「PU1」を表示させます。



## 設定したリズムをドットボタンに登録する

③右上のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押して、「USER 1-B」を選びます。



これで、ドットボタン(1)に「USER 1-B」が登録できました。

- 1~8の中で他のユーザー番号を選びたい場合は、ページボタン(↖)(↗)を押します。
- 「A」、「C」、「D」を選びたい場合は、データコントロールボタン(↖)(↗)を押します。
- リズムは、ユーザー1~8の各2小節長ごとに、A、B、C、Dのバリエーションを4個と、FILLを持つています。詳しくは、P86の「リズムプログラム(パターン)について」をご覧ください。

### 注意

- ドットボタンに登録する場合、ページボタン(↖)(↗)で登録したいリズム名(例えば「SWING」)を表示させただけでは、前の設定のままでです。  
データコントロールボタン(↖)(↗)を押して、リズムを選ぶまでの操作を行ってください。

# トレモロ(ファースト)

## 機能説明

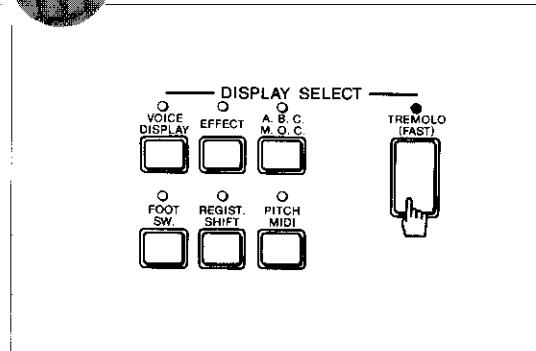
トレモロ効果は、音が回転しているようにする機能です。

## 操作方法

現在使っている音色にトレモロの効果をかける操作を例にして説明します。



1 (TREMOLO(FAST))(トレモロ(ファースト)) ボタンを押します。



- (TREMOLO(FAST))(トレモロ(ファースト)) ボタンのランプが点灯します。

これで、トレモロ効果の設定が終了しました。



### 操作のポイント

- (TREMOLO(FAST))(トレモロ(ファースト)) ボタンのランプが点灯している間は、トレモロ効果がかかります。  
ランプが消えているときは、「コーラス」効果がかかっています。  
(ボイスコンディションでエフェクトの設定が「TRM.」になっているときのみ)

### 注意

- トレモロ効果を設定する操作では、ディスプレイ表示は変わりません。
- トレモロまたはコーラス効果をかける場合は、音色の発音状態（ボイスコンディション）で、エフェクトの設定を「TRM.」にする必要があります。エフェクトが別の設定になっていると、ここで操作をしても、トレモロまたはコーラス効果はかかりません。詳しくは、P31をご覧ください。
- 音色によっては、すでにトレモロ効果がかかるっているものもあります。

# エフェクトセット(ディレイ/フランジャー/シンフォニック)

## 機能説明

エフェクトセットとは、音に効果をかける場合のかかり方を設定することです。ここで設定できる効果には、ディレイ、フランジャー、シンフォニックがあります。ディレイ効果は、元の音に対して遅れた音を出して、音がこだまするように発音させる機能です。フランジャー効果は、ディレイ効果を応用させたもので、ジェット機の音がうねりをもつたような音にする機能です。シンフォニック効果は、複数の楽器で演奏しているような感じにする機能です。

- ディレイ効果の設定には、次の種類があります。

| 設定      | 説明  | 設定範囲  |
|---------|---|-------|
| スピード    | 効果をかけた音の早さを調節します。値を大きくすると早くなります。                  | 0~100 |
| フィードバック | 効果をかけた音が繰り返される回数を調節します。値を大きくすると回数が多くなります。         | 0~100 |
| バランス    | 効果をかけた音と元の音とのバランスを調節します。値を大きくすると、効果をかけた音が大きくなります。 | 0~100 |

- フランジャー効果の設定には、次の種類があります。

| 設定      | 説明   | 設定範囲  |
|---------|--|-------|
| スピード    | うねりの音の早さを調節します。値を大きくすると早くなります。               | 0~100 |
| フィードバック | うねりの音の大きさを調節します。値を大きくすると回数が多くなり、うねりが大きくなります。 | 0~100 |
| テープス    | うねりの音の揺れ幅を設定します。値を大きくすると揺れ幅が大きくなります。         | 0~100 |

- シンフォニック効果の設定には、次の種類があります。

| 設定      | 説明                      |
|---------|-------------------------|
| シンフォニック | 複数の楽器で演奏しているような感じになります。 |
| セレステ    | シンフォニックのかかりが、ゆるやかになります。 |

- ディレイ効果またはフランジャー効果またはシンフォニック効果をかけるには、P31の「ボイスコンディション」のエフェクトの設定で行います。

ディレイ効果とフランジャー効果を、それぞれ0~100の範囲の中から設定します。シンフォニック効果のシンフォニック/セレステの選択を行います。

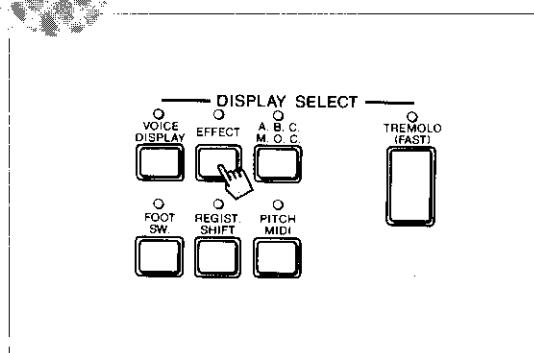
## 操作方法

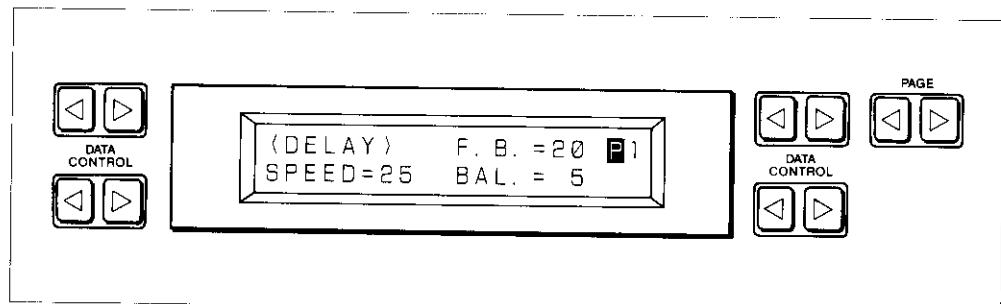
### ■ディレイ

ディレイ効果の設定は、スピードを「75」に、フィードバックを「55」に、バランス「30」にする操作を例にして説明します。

1

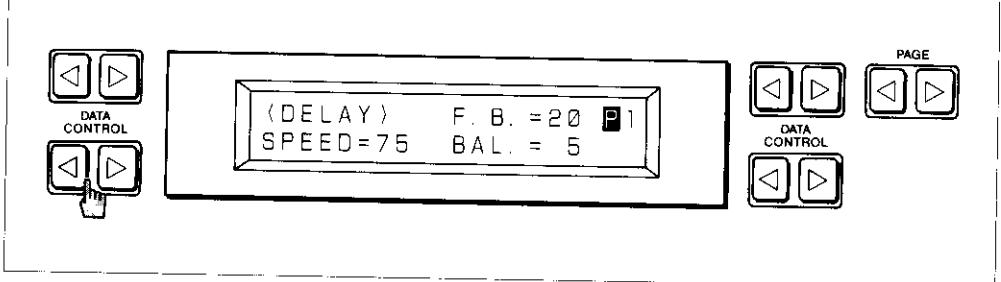
(EFFECT SET)(エフェクトセット)ボタンを押します。





●ディレイの設定メニューが表示されます。

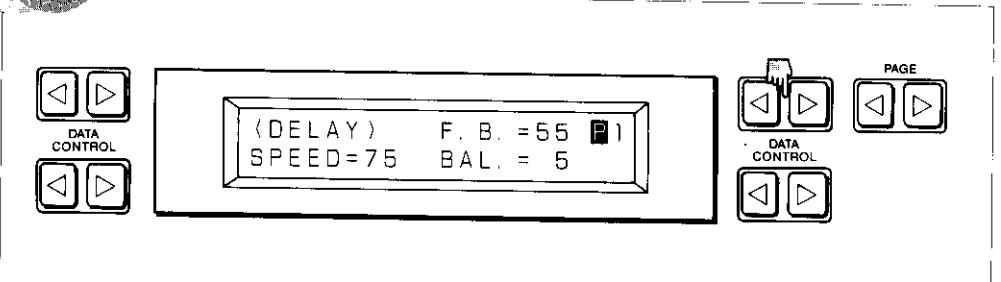
**2** 左下のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押して、スピードを「75」に設定します。



●スピードは、0~100の範囲で設定できます。

設定値を大きくすると、ディレイのスピードが早くなります。

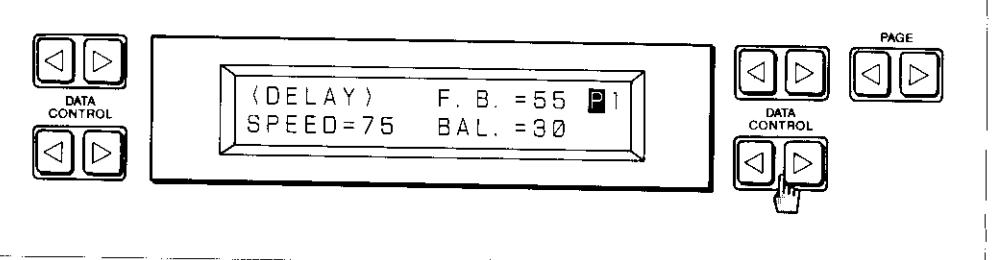
**3** 右上のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押して、フィードバックを「55」に設定します。



●フィードバックは、0~100の範囲で設定できます。

設定値を大きくすると、繰り返される回数が多くなります。

**4** 右下のデータコントロールボタン(↖)(↗)を押して、バランスを「30」に設定します。



●バランスは、0~100の範囲で設定できます。

設定値を大きくすると、効果をかけた音が大きくなります。

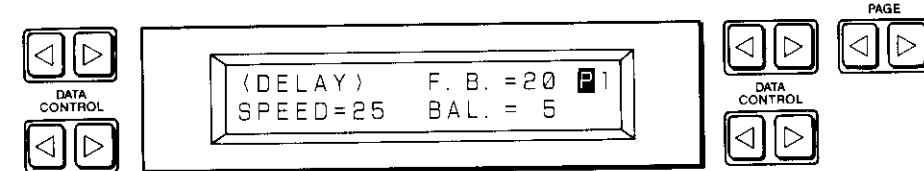
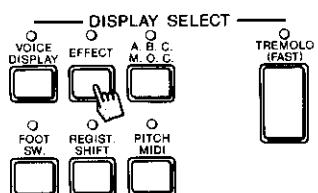
これで、ディレイの設定が終了しました。

## ■フランジャー

フランジャー効果の設定は、スピードを「65」に、フィードバックを「25」に、デプスを「40」にする操作を例にして説明します。

1

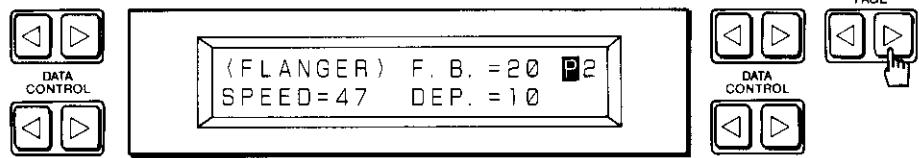
(EFFECT SET)(エフェクトセット)ボタンを押します。



●ディレイの設定メニューが表示されます。

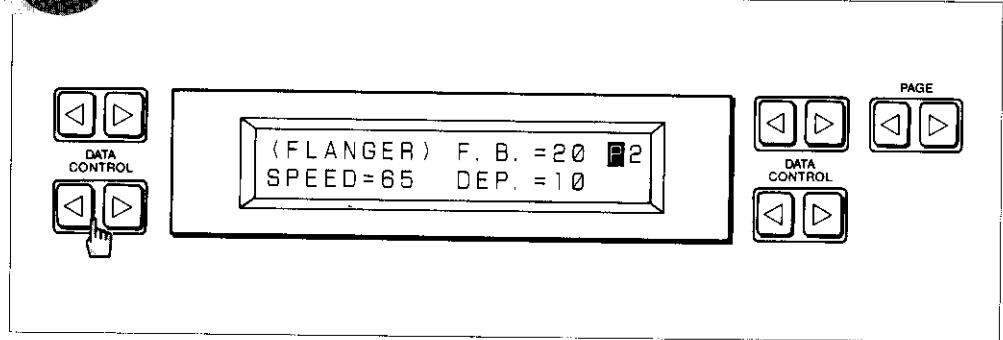
2

ページボタン(▷)を押します。



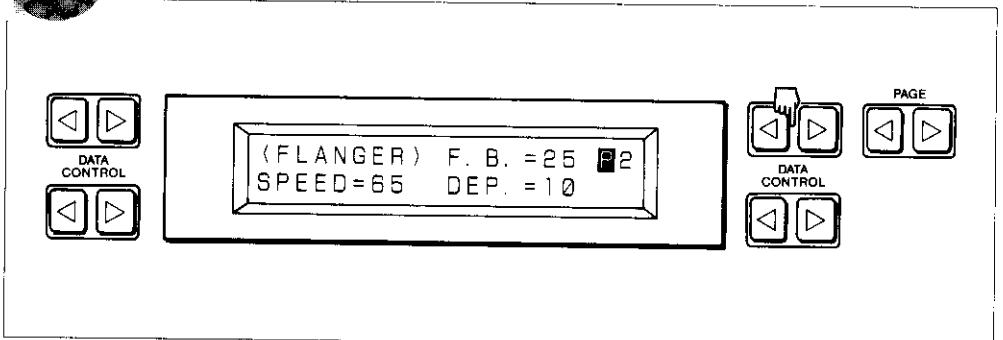
●2ページ目のフランジャーの設定メニューが表示されます。

左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、スピードを「65」に設定します。



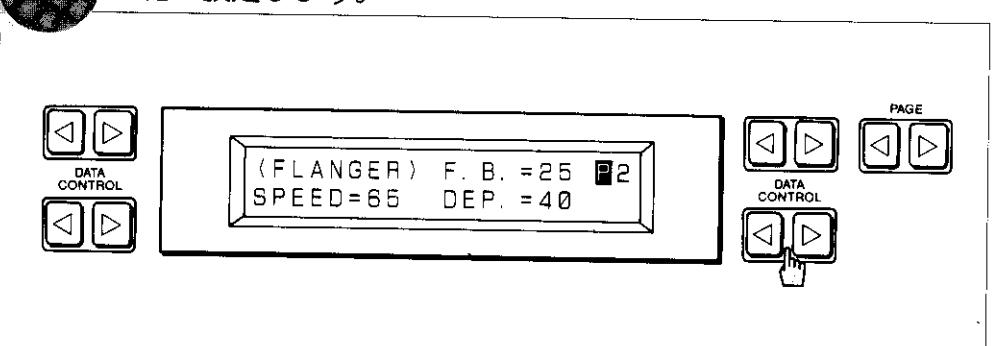
- スピードは、0~100の範囲で設定できます。  
設定値を大きくすると、フランジャーのスピードが早くなります。

右上のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、フィードバックを「25」に設定します。



- フィードバックは、0~100の範囲で設定できます。  
設定値を大きくすると、うねりが大きくなります。

右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、テープスを「40」に設定します。



- テープスは、0~100の範囲で設定できます。  
設定値を大きくすると、揺れ幅が大きくなります。  
これで、フランジャー効果の設定が終了しました。

こんなこともできる

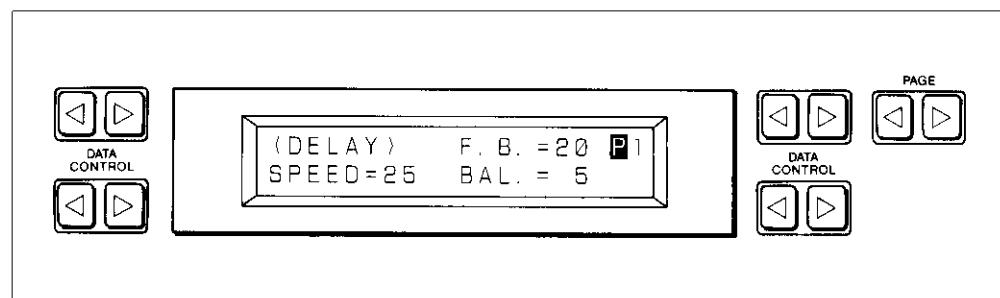
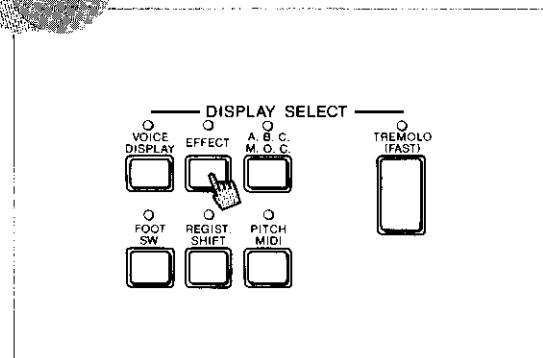
- 設定メニューで表示されている数字は、現在設定されている値です。

## ■シンフォニック

シンフォニック効果の設定は、シンフォニック／セレステの選択を「Celeste」にする操作を例にして説明します。

1

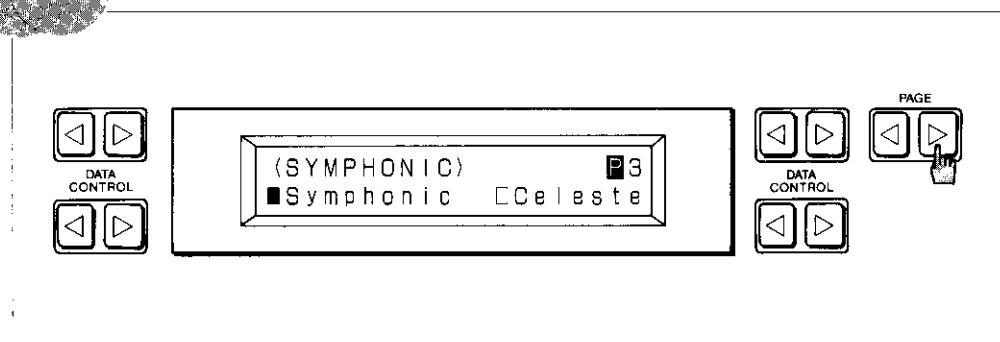
(EFFECT SET)(エフェクトセット)ボタンを押します。



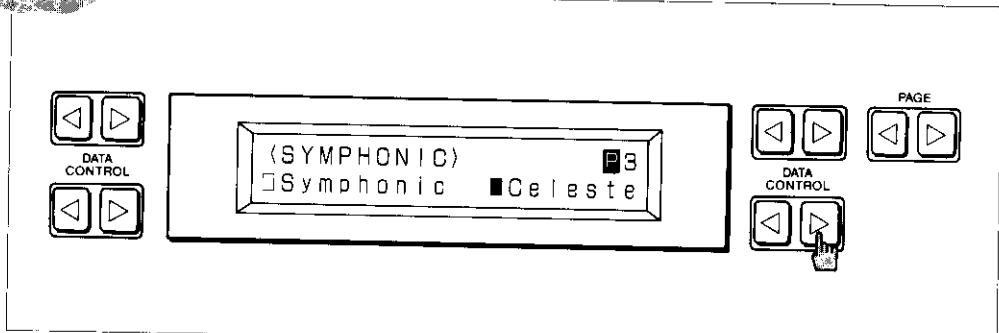
●ディレイの設定メニューが表示されます。

2

ページボタン(>)を押して、3ページ目を表示させます。



**3** 右下または左下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、「Celeste」(セレステ)を「■」にします。



- 「Symphonic」(シンフォニック)、「Celeste」(セレステ)のどちらかを選ぶことができます。

これで、シンフォニック効果の設定ができました。

# リズムプログラム(パターン)について

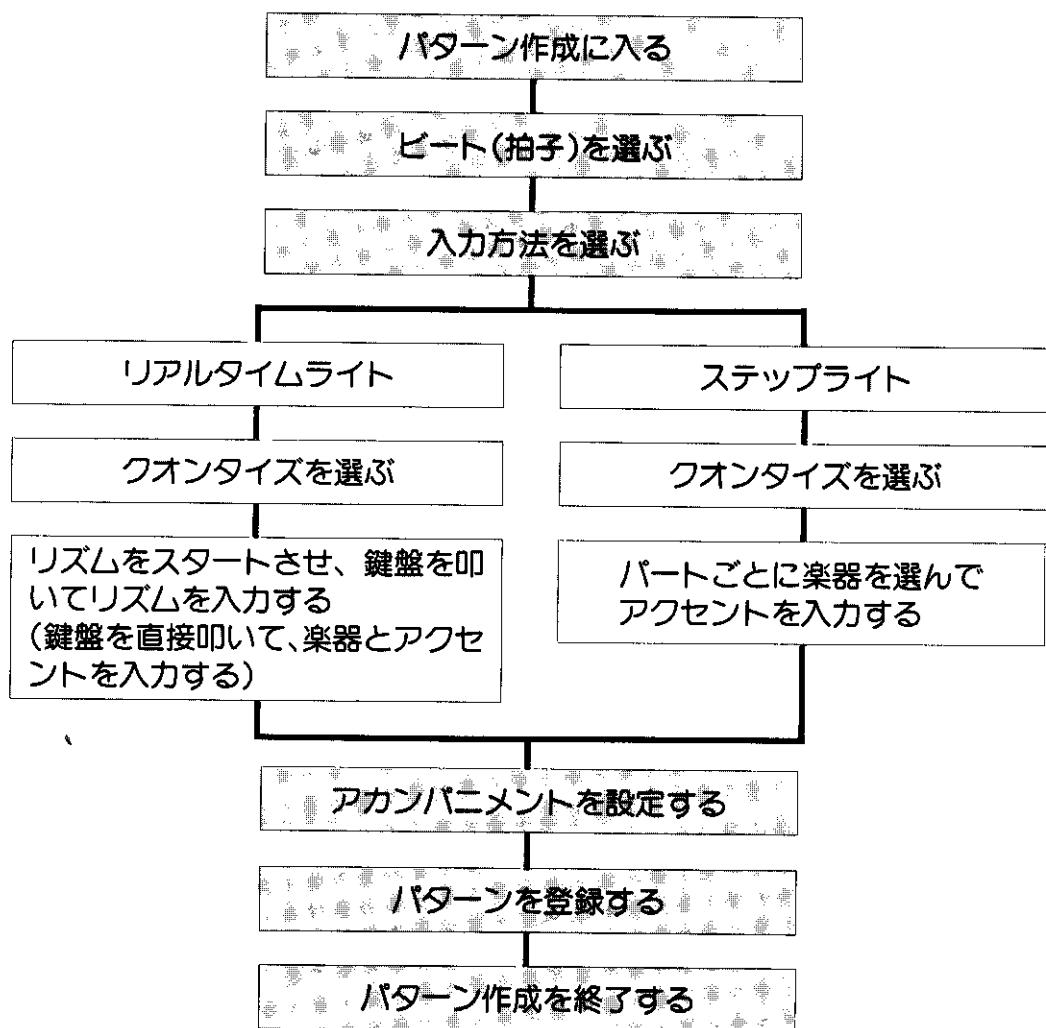
## 機能説明

リズムプログラム(パターン)とは、リズムパターンを新しく作り、編集(エディット)し、登録しておくことができる機能です。同じように、プリセットのリズムパターンも編集したり、登録することができます。

また、アカンパニメントも設定することができます。

新規作成またはエディットしたユーザーパターンは、8パターン登録できます。それぞれのパターンごとに、2小節の範囲で、A～Dと「FILL」の5つのバリエーションで、最大80小節まで登録できます。

## ■ 基本的な操作の流れ



## ■ステップライトとリアルタイムライトについて

### ●リアルタイムライト

パーカッション楽器を叩くように鍵盤を叩くことによって、打鍵の強さやタイミングをそのまま記録することができる方法です。

リズムをスタートさせ、リズムに合わせて入力します。

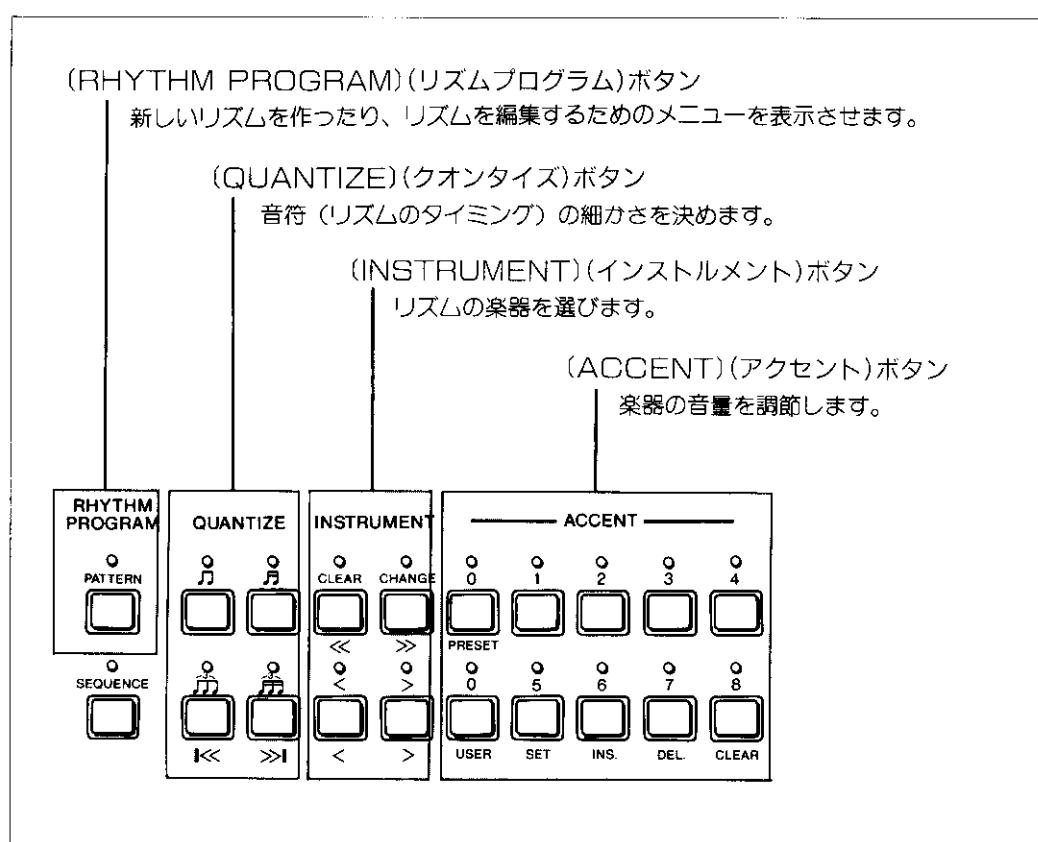
### ●ステップライト

ステップライトとは、楽譜に音符を書き込むように、楽器の音を一音ずつ段階的に入力できる方法です。

ゆっくりと考えながら入力することができます。

リズムをスタートさせずに入力します。

## ■リズムプログラム(パターン)で使うボタン

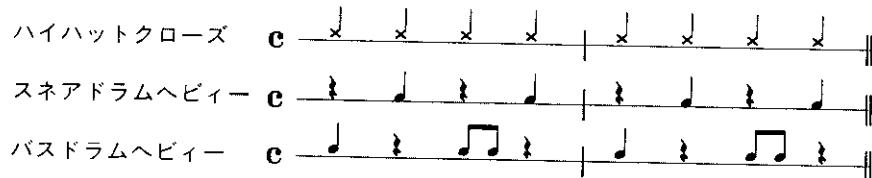




# 新しいリズムを作る

## 操作方法

リアルタイムライトの方法とステップライトの方法それぞれについて、ロックンロールのリズム/パターンを新規に作る操作を説明します。

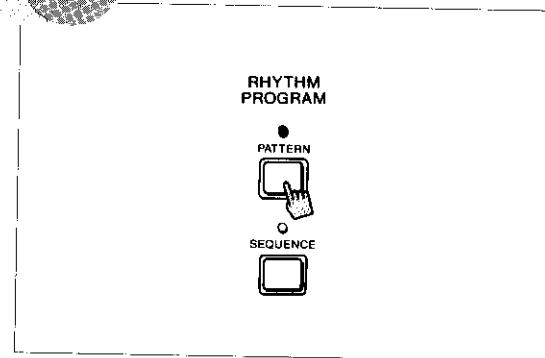


## ■リアルタイムライト

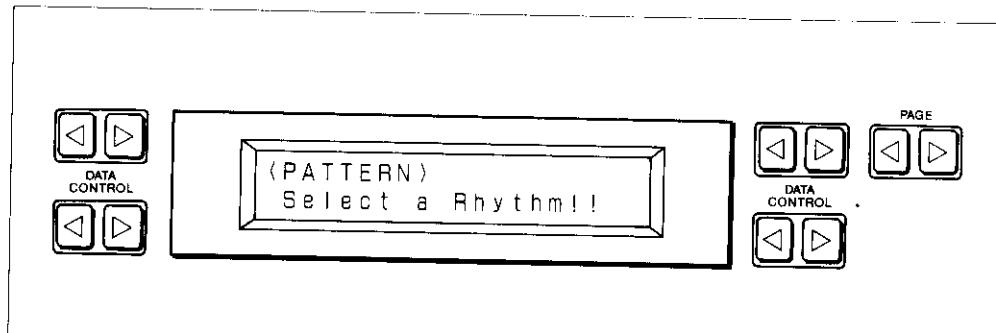
ここでは、リアルタイムライトの方法で、上のリズムを作ります。このリズムは、「4/4」のビート、「♪」のクオントライズで作り、「USER5-B」に登録します。

パターン作成に入る

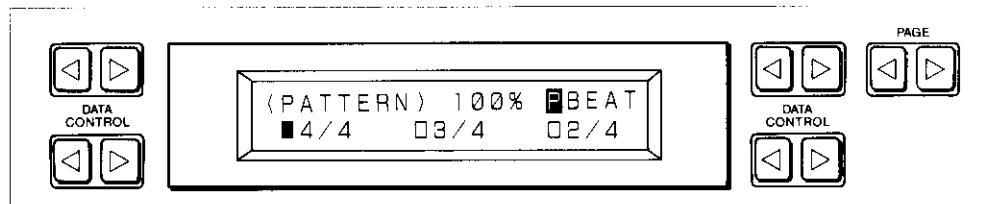
- 1 リズムプログラムの(PATTERN)(パターン)ボタンを押します。



- (PATTERN)(パターン)ボタンのランプが点灯します。



- (PATTERN)(パターン)ボタンを押している間は、ディスプレイにこのメッセージが表示されます。

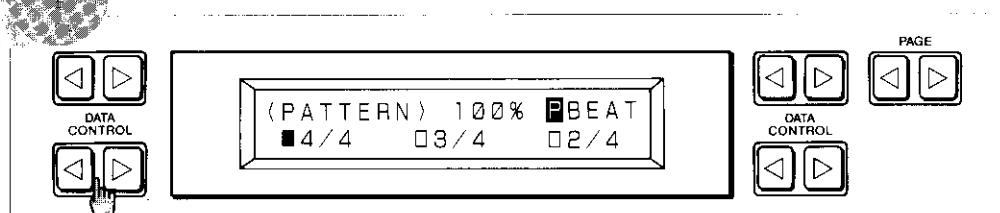


- (PATTERN)(パターン)ボタンを離すと、「BEAT」(ビート)を選ぶメニューが表示されます。

#### ビートを選ぶ

**2**

「4/4」が「■」になっていることを確認します。

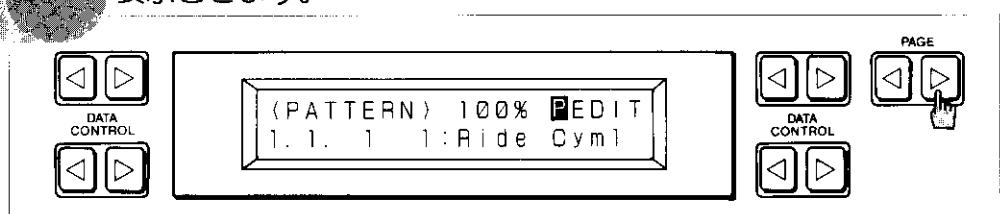


- 他のビートを選びたい場合は、データコントロールボタン(<)(>)を押して、選びたい項目を「■」にします。

#### クオントライズを選ぶ

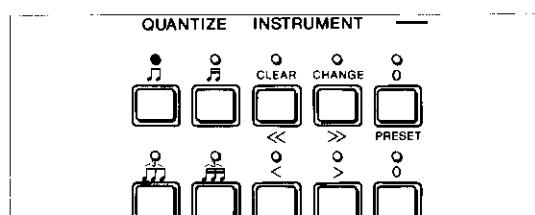
**3**

ページボタン(>)を押して、「EDIT」(エディット)のページを表示させます。



**4**

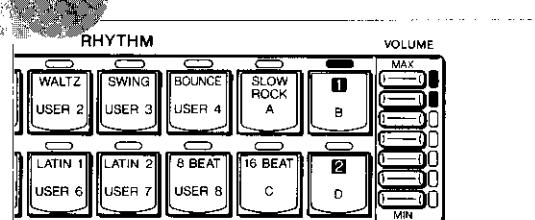
クオントライズ(♪)ボタンのランプが点灯していることを確認します。



- クオントライズ(♪)ボタンのランプが点灯していない場合や、他のクオントライズのランプが点灯している場合は、クオントライズ(♪)ボタンを押して、ランプを点灯させます。

**5**

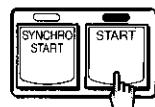
リズムのボリュームを確認します。



## 新しいリズムを作る

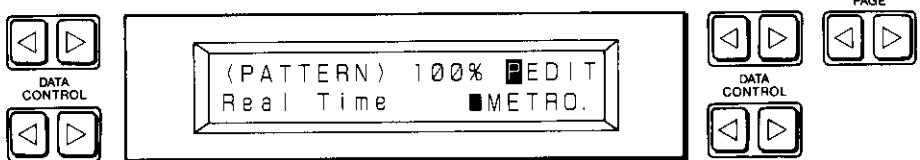
6

(START)(スタート)ボタンを押して、リズムをスタートさせます。  
(リアルタイム画面になります)



7

「METRO」(メトロノーム)が「■」になっていることを確認します。

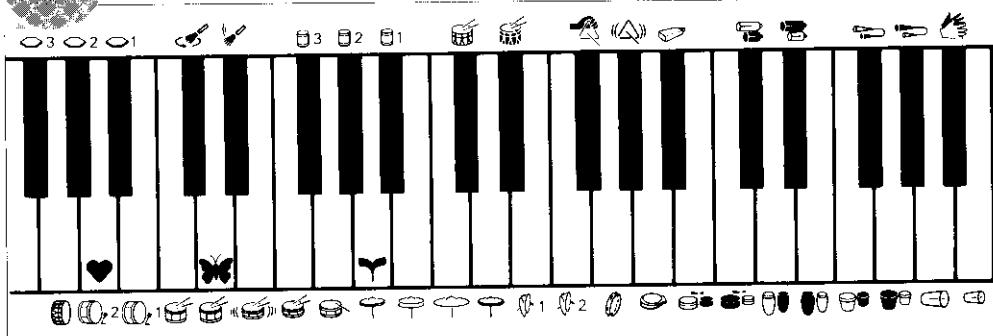


•「METRO」を「■」にすると、メトロノームの音が聞こえます。

リズムを入力する

8

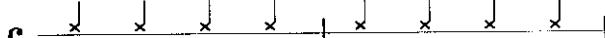
メトロノームの音を聞きながら、鍵盤を押して、リズムを入力します。



メトロノーム



手 ハイハットクローズ



蝶 スネアドラムヘビィー



心 バスドラムヘビィー



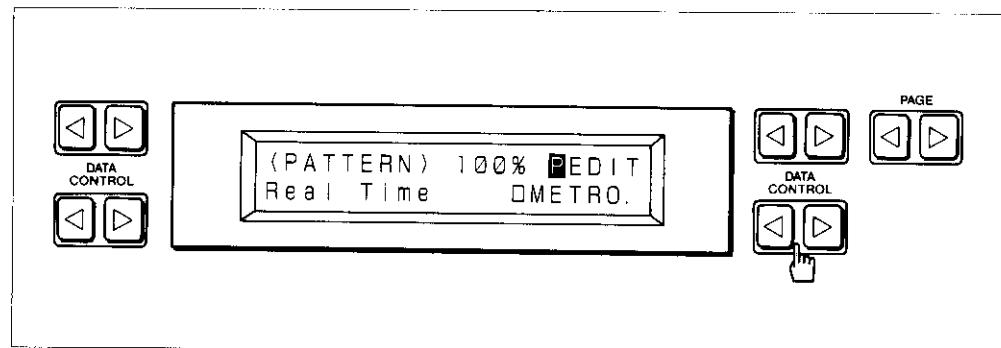
•この譜面は、メトロノームのリズムに対して、それぞれ音を入力するタイミングを示しています。

•リアルタイムライトの時は、(BAR/BEAT)(バー/ビート)ディスプレイに1～2小節分の小節数と拍数を繰り返し表示します。入力したいところで鍵盤を押してください。

こんなこともできる

- メトロノームの音を消すことができます。

右下のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、「METRO」(メトロノーム)の「■」を「□」にします。

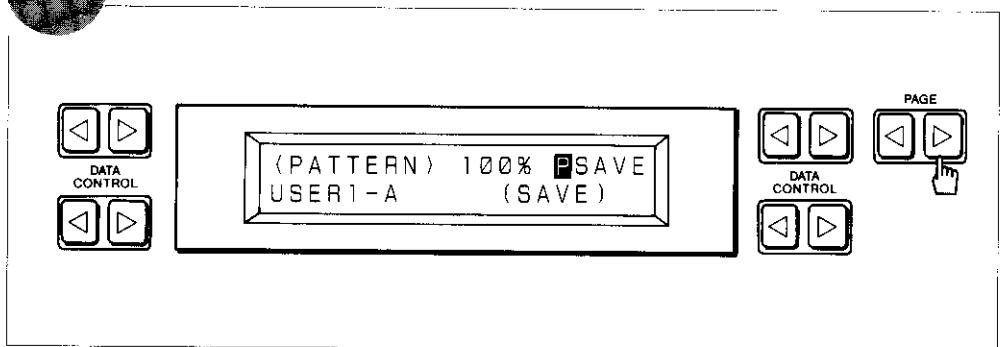


- リズムを入力した後、アカンパニメントを設定することができます。  
詳しくはP102をご覧ください。

パターンを登録する(SAVE)

9

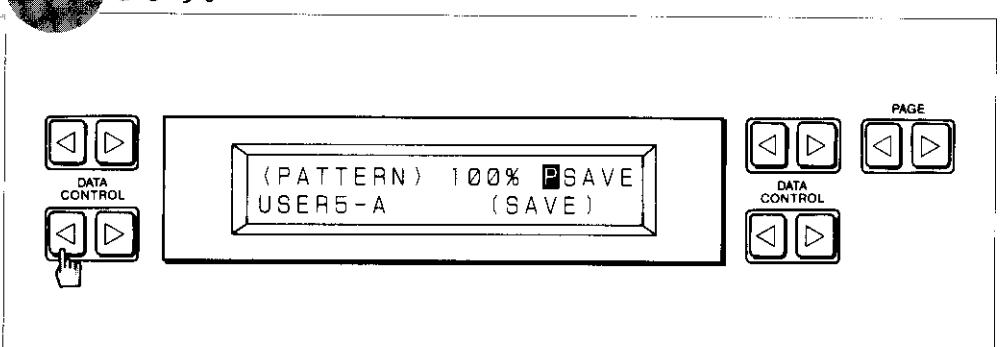
ページボタン(▶)を押して、「SAVE」(セーブ)のページを表示させます。



●設定した項目を記憶するメニューが表示されます。

10

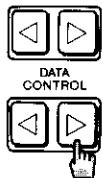
左下のデータコントロールボタン(◀)を押して、「USER 5」にします。



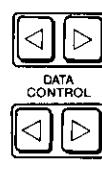
## 新しいリズムを作る

11

左下のデータコントロールボタン(▷)を押して、バリエーションを「B」にします。



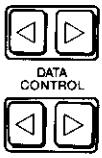
(PATTERN) 100% PSAVE  
USER5-B (SAVE)



PAGE  
<>

12

右側のデータコントロールボタン(◁)(▷)を押して、登録します。



(PATTERN) 99% PSAVE  
Save Completed...!!



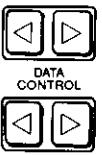
PAGE  
<>

●作成したリズムが「USER5-B」に登録され、元の表示に戻ります。

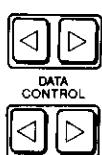
パターン作成を終了する

13

(PATTERN)(パターン)ボタンを押します。



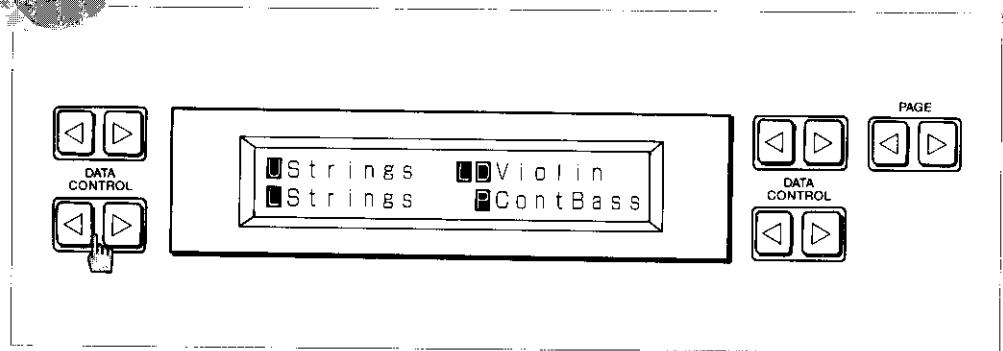
(PATTERN) Edit End  
(OK) (Cancel)



PAGE  
<>

●リズムプログラムの終了を確認するメニューが表示されます。

**14** 左側のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、パターン作成を終了します。



これで、リアルタイムライトによるリズムの新規パターンが作成できました。

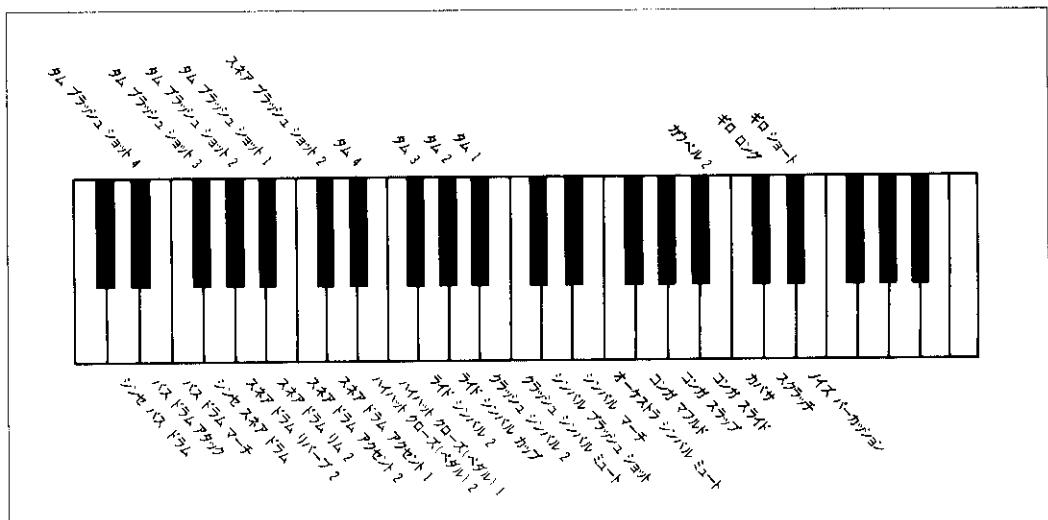
### 操作のポイント

- エディットする場合は、トラックが空いていると、新しく入力したい楽器をそのパターンに加えることができます。空いていない場合は、新しい楽器の鍵盤を押しても発音しません。その場合、必要のない楽器のデータを消してください。

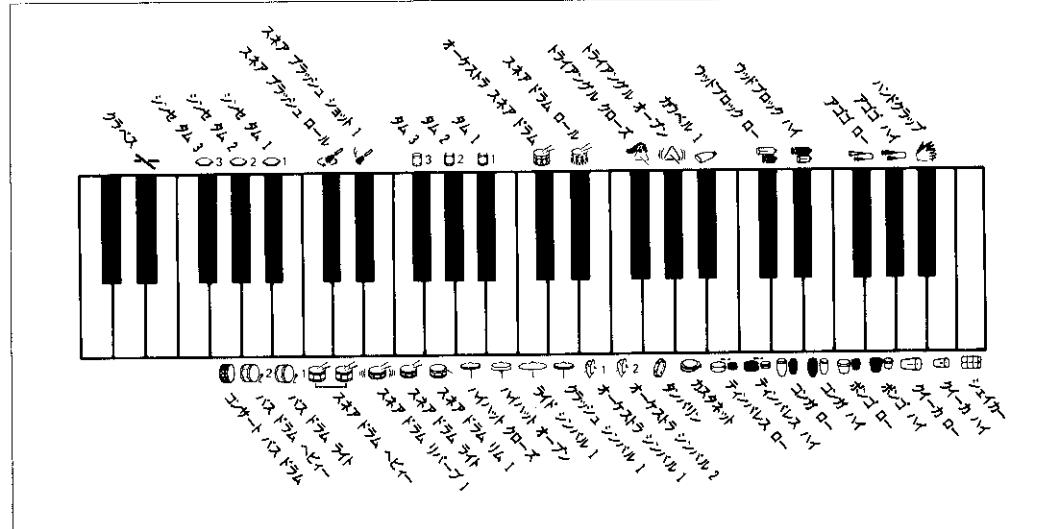
# 新しいリズムを作る

こんなこともできる

- 選択したワオントイズが、楽器音を入力するときの音の長さとなります。  
ワオントイズを選ぶと、入力のときに鍵盤を叩くタイミングが少しずれても、正しい位置に補正して入力します。  
補正できる範囲は、選んだ音符の長さの約±50%以内です。ただし、ワオントイズをオフに設定した場合は、補正機能はたらきません。パターンの入力に慣れるまでは、なるべくオフ以外の設定にするとよいでしょう。
- 各鍵盤の楽器は、次の通りです。  
上鍵盤の楽器音（35種類）

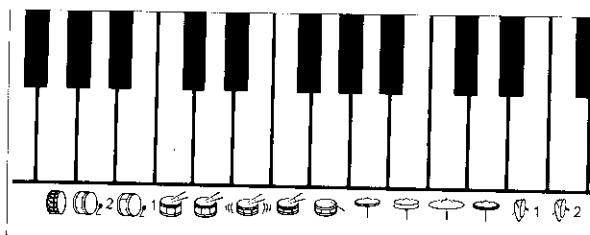
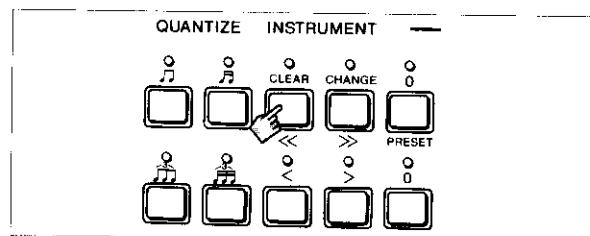


下鍵盤の楽器音（43種類）



- すでに、セットされている楽器を消すことができます。

INSTRUMENT (インストルメント) の [CLEAR] (クリア) ボタンを押しながら、消したい楽器の鍵盤を押します。

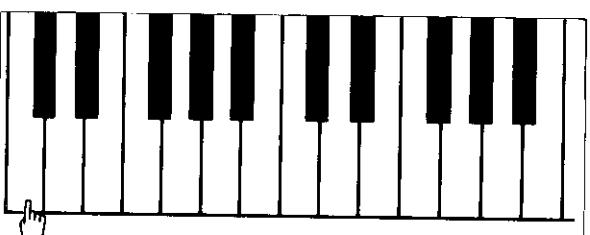
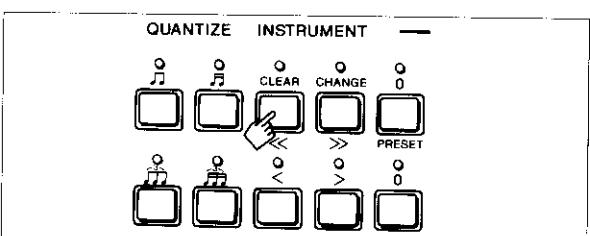


- 鍵盤を押すまでは、[CLEAR] (クリア) ボタンは押したままにしておいてください。
- データが消されると、ピツという音が鳴ります。セットされていない場合は、鳴りません。

- 鍵盤を押す前に、[CLEAR] (クリア) ボタンを離すと、現在表示されている楽器を消してよいかどうかのメッセージが表示されます。この場合は、左側のデータコントロールボタン (◀)(▶) を押すと、データが消えます。

- ユーザーパターンを消して、別の新しいユーザーパターンをつくることができます。

INSTRUMENT (インストルメント) の [CLEAR] (クリア) ボタンを押しながら、下鍵盤左端の白鍵を押します。



- 鍵盤を押すまでは、[CLEAR] (クリア) ボタンは押したままにしておいてください。
- データが消されると、ピツという音が鳴ります。これで、すべてのリズムが消えます。
- 操作方法の最初に戻って、新しいユーザーパターンを作ります。

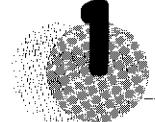
- 作った新しいリズムのアカンパニメントを設定することができます。

操作方法はP102の「アカンパニメントを設定する」をご覧ください。

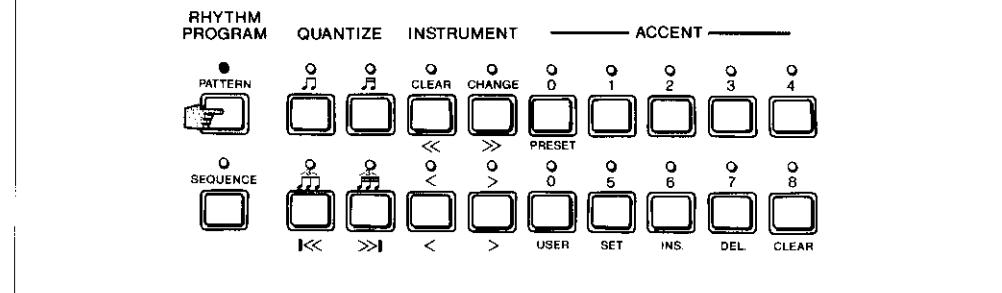
## ■ステップライト

ここでは、ステップライトの方法で、リズムを作ります。このリズムは「4/4」のビート、「♪」のクオントライズで作り、「USER5-B」に登録します。

パターン作成に入る



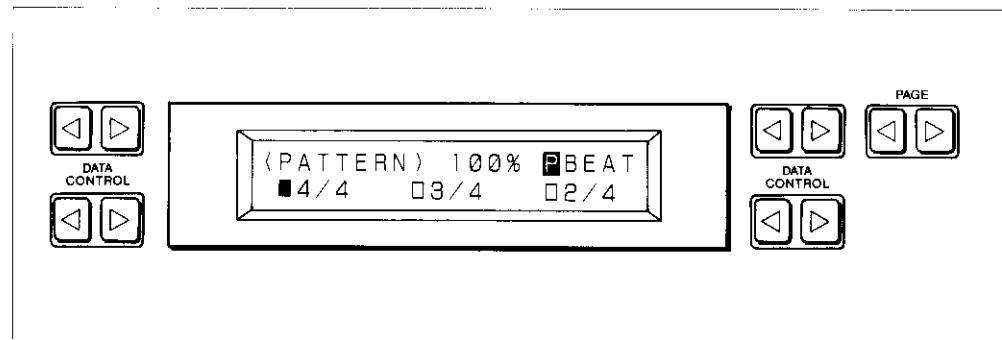
リズムプログラムの(PATTERN)(パターン)ボタンを押します。



●(PATTERN)(パターン)ボタンのランプが点灯します。



●(PATTERN)(パターン)ボタンを押している間は、ディスプレイにこのメッセージが表示されます。

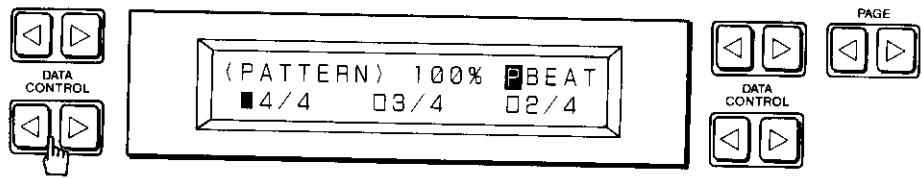


●(PATTERN)(パターン)ボタンを離すと、「ビート」を選ぶメニューが表示されます。

ビートを選ぶ

2

「4/4」が「■」になっていることを確認します。

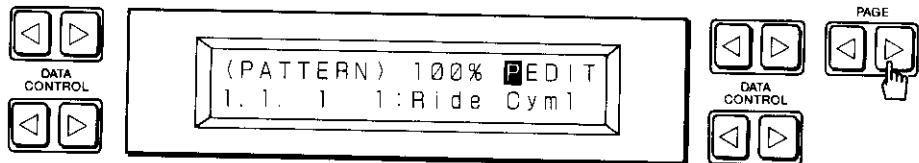


- 他のビートを選びたい場合は、データコントロールボタン(↖)(↗)を押して、選びたい項目を「■」にします。

クオントライズを選ぶ

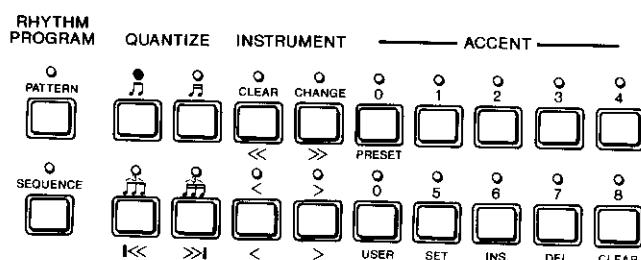
3

ページボタン(↗)を押して、「EDIT」(エディット)のページを表示させます。



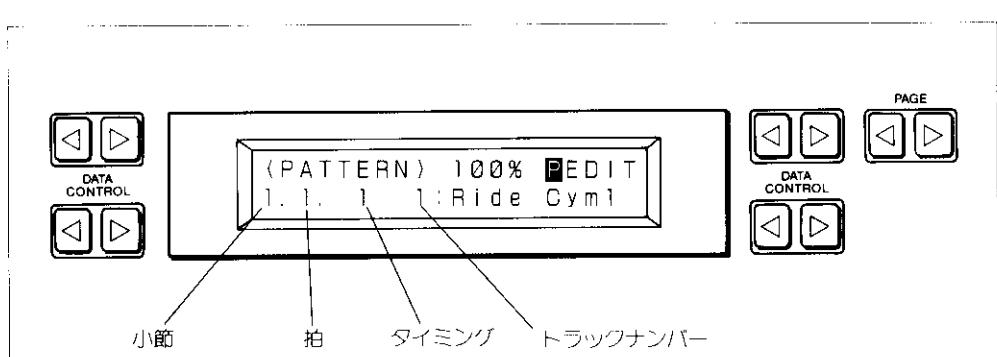
4

クオントライズ(♪)ボタンのランプが点灯していることを確認します。



- クオントライズ(♪)ボタンのランプが点灯していない場合や、他のクオントライズのランプが点灯している場合は、クオントライズ(♪)ボタンを押して、ランプを点灯させます。
- 他のクオントライズを選ぶこともできます。

## 新しいリズムを作る



- クオントライズを設定すると、小節、拍、タイミングが数字で表示されます。

### 操作のポイント

- 選択したクオントライズが楽器音を入力するときの長さとなります。

#### ○ ステップライトを行う場合

選んだクオントライズの長さにより、楽器音を入力できます。タイミングの表示は、次の表を参照してください。

各クオントライズの長さ

|     |                 |  |                  |
|-----|-----------------|--|------------------|
|     | 8分音符(1/2拍分の長さ)  |  | 16分音符(1/4拍分の長さ)  |
|     | 1拍3連符(1/3拍分の長さ) |  | 半拍3連音符(1/6拍分の長さ) |
| OFF | オフ(1/24拍分の長さ)   |  |                  |

ステップライト時に表示される1拍内のタイミング数

|     |   |    |    |    |    |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----|---|----|----|----|----|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|     | 1 | 13 |    |    |    |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|     | 1 | 7  | 13 | 19 |    |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|     | 1 | 9  | 17 |    |    |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|     | 1 | 5  | 9  | 13 | 17 | 21 |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| OFF | 1 | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |

★タイミングは、クオントライズの長さを数字で表示するものです。

1拍分を24分割しており、クオントライズの長さに応じて数字を表示します。

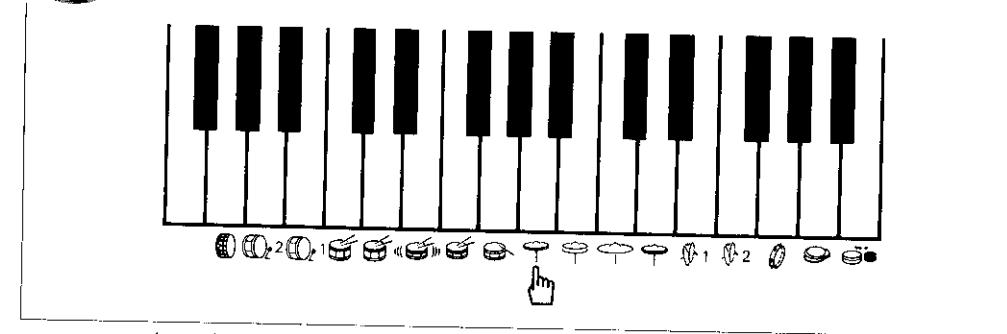
画面上では、「1. 1. 1」のように表示され、左から小節数、拍数、タイミングを表しています。この場合は、1小節目の1拍目のタイミング1を意味しています。

#### ○ リアルタイムライトを行う場合 (P88参照)

楽器を選んで、アクセントを入力する



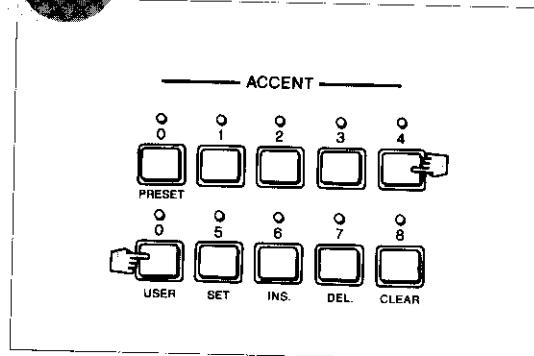
下鍵盤にセットされている「HH Closed」(ハイハットクローズ)を押して、楽器を選びます。



●楽器がセットされている鍵盤は、上鍵盤と下鍵盤があります。



アクセントボタンを押します。



●アクセントの数字が大きいほど、音が大きくなります。0は、音が鳴りません。

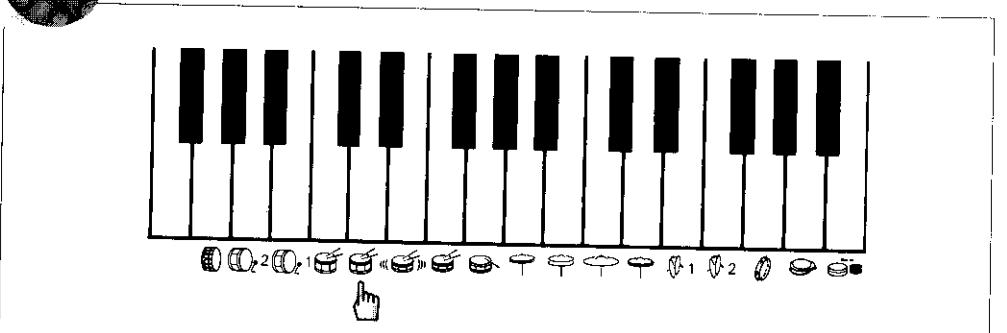
●楽器音が入力され、クオントライズの長さに応じて、タイミングが進みます。

ハイハットクローズ

| 1<br>小<br>節<br>目 | 表示    | 1.1.1 | 1.1.13 | 1.2.1 | 1.2.13 | 1.3.1 | 1.3.13 | 1.4.1 | 1.4.13 |
|------------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
|                  | アクセント | 4     | 0      | 4     | 0      | 4     | 0      | 4     | 0      |



下鍵盤にセットされている「SD Heavy」(スネアドラムヘビイー)を押して、楽器を選びます。

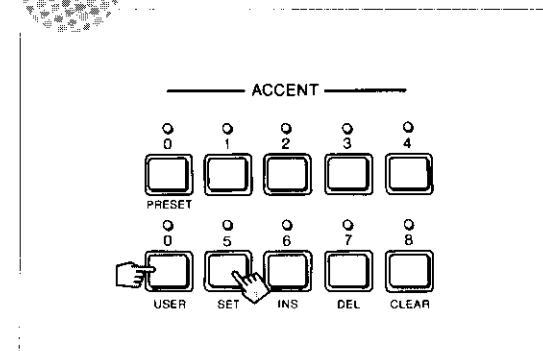


●楽器がセットされている鍵盤は、上鍵盤と下鍵盤があります。

## 新しいリズムを作る

8

アクセントボタンを押します。



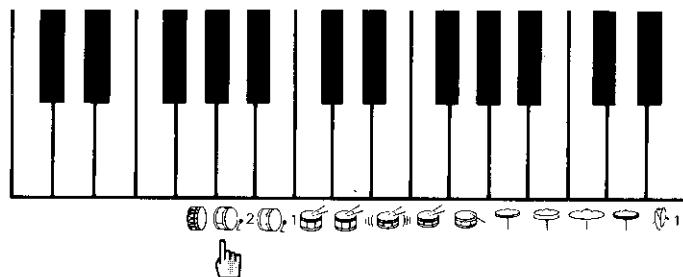
- アクセントの数字が大きいほど、音が大きくなります。0は、音が鳴りません。
- 楽器音が入力され、クオントサイズの長さに応じて、タイミングが進みます。

### スネアドラムヘビィー

| 1 小節目 | 表示    | 1.1.1 | 1.1.13 | 1.2.1 | 1.2.13 | 1.3.1 | 1.3.13 | 1.4.1 | 1.4.13 |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
|       | アクセント | 0     | 0      | 5     | 0      | 0     | 0      | 5     | 0      |

9

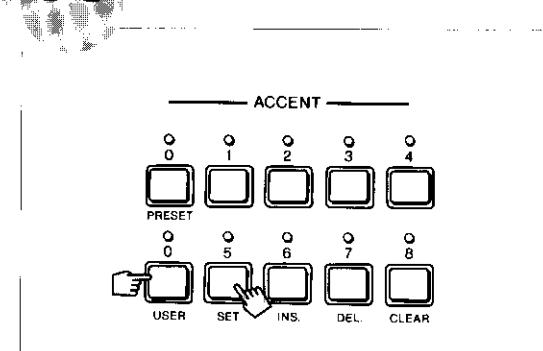
下鍵盤にセットされている「BD Heavy」(バスドラムヘビィー)を押して、楽器を選びます。



- 楽器がセットされている鍵盤は、上鍵盤と下鍵盤があります。

10

アクセントボタンを押します。



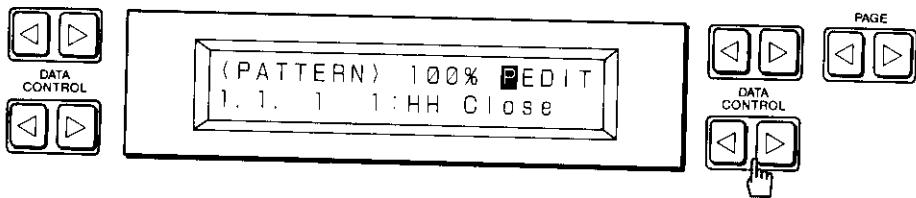
- アクセントの数字が大きいほど、音が大きくなります。0は、音が鳴りません。
- 楽器音が入力され、クオントサイズの長さに応じて、タイミングが進みます。

### バスドラムヘビィー

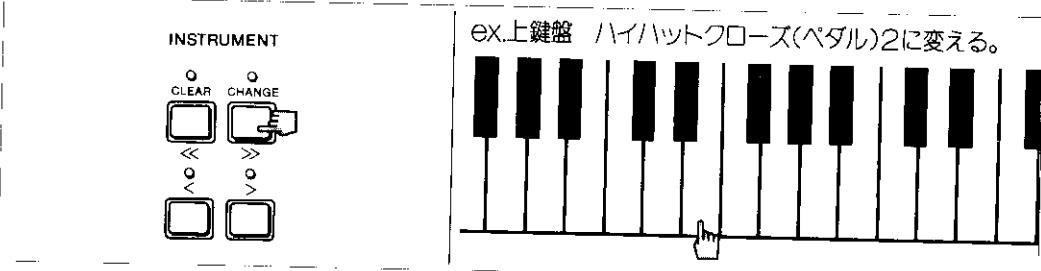
| 1 小節目 | 表示    | 1.1.1 | 1.1.13 | 1.2.1 | 1.2.13 | 1.3.1 | 1.3.13 | 1.4.1 | 1.4.13 |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
|       | アクセント | 5     | 0      | 0     | 0      | 5     | 5      | 0     | 0      |

## 操作のポイント

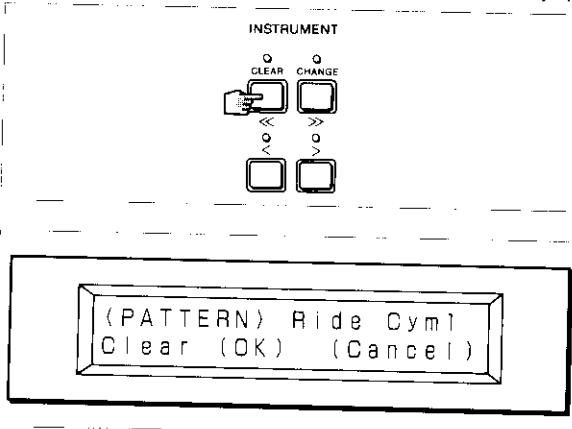
- すでに、トラックにセットされている楽器を変更することができます。
- ①右下のデータコントロールボタン(＜)(＞)を押して、変更したい楽器がセットされているトラックを選びます。



- ②インストルメントの(CHANGE)(チェンジ)ボタンを押しながら、変更したい楽器の鍵盤を押します。

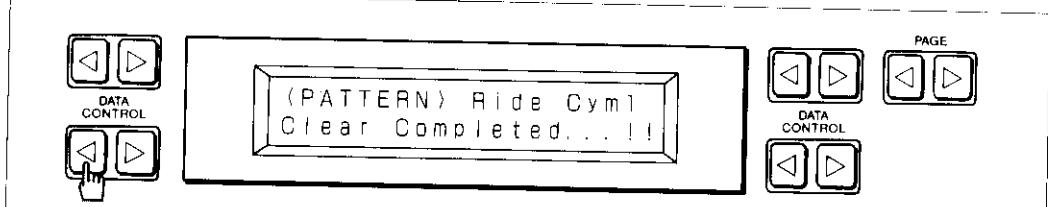


- 途中で、間違えて入力した場合は、次のように操作して、入力したデータを消します。
- ①インストルメントの[CLEAR](クリア)ボタンを押します。



●入力したデータを消去する前に、確認のメニューが表示されます。

- ②左側のデータコントロールボタン(＜)(＞)を押します。



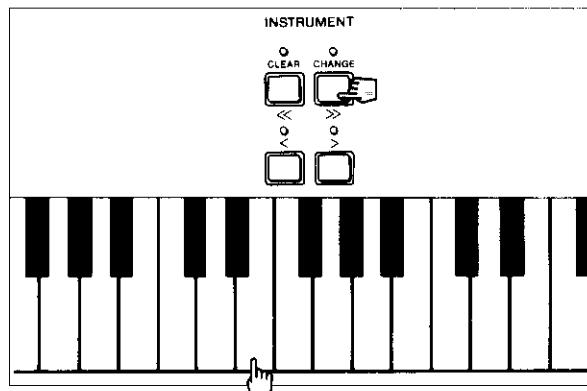
- データを消去すると、このメッセージが表示されます。
- ここで、右側のデータコントロールボタンを押すと、データの消去を取り止め、元の表示に戻ります。
- 新規にパターンをつくる場合は、1パターンの中で16楽器分(16トラック)の楽器が使用できます。ただし、同時に発音する音は、8音です。(スネアドラムホールは、同時に1音しか発音しません。)

## 新しいリズムを作る

こんなこともできる

- すでに入力した楽器のデータを簡単に消すことができます。

インストルメントの〔CLEAR〕(クリア)ボタンを押しながら、消したい楽器の鍵盤を押します。



ex.上鍵盤 ハイハットクローズ(ペダル)2

- 鍵盤を押すまでは、〔CLEAR〕(クリア)ボタンは押したままにしておいてください。
- データが消されると、ピッという音が鳴ります。消すデータがない場合は鳴りません。
- 鍵盤を押す前に〔CLEAR〕(クリア)ボタンを離すと、現在表示されている楽器を消してよいかどうかのメッセージが表示されます。この場合、左下のデータコントロールボタン〔<〕〔>〕を押すと、データが消えます。

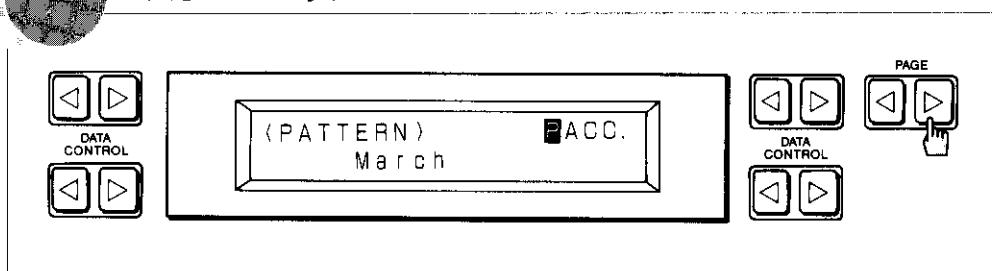
- ユーザーパターンを消して、別の新しいユーザーパターンをつくることができます。  
95ページをご参照ください。

アカンパニメントを設定する

「8 BEAT」(8ビート)に設定されているアカンパニメントの「8 BEAT」を選択します。

11

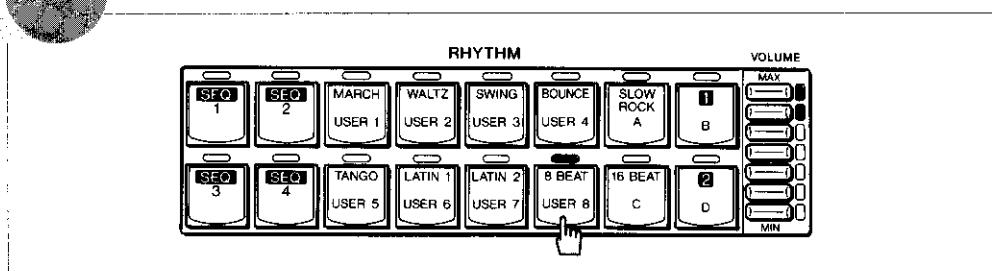
ページボタン〔>〕を押して、「ACC.」アカンパニメントのページを表示させます。

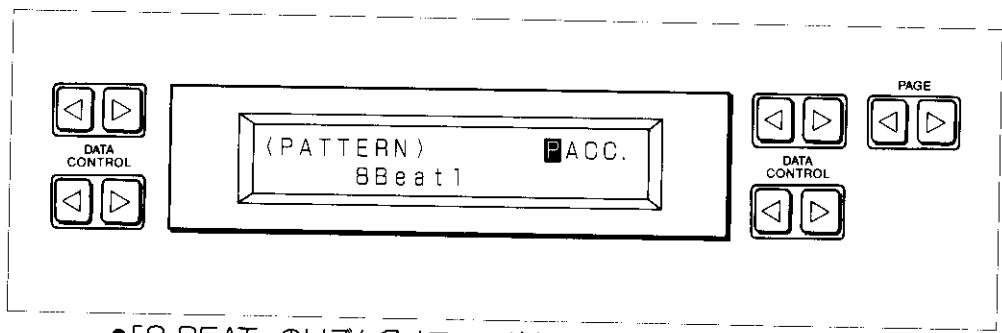


- アカンパニメントを設定するメニューが表示されます。
- このメニューには、現在選ばれているリズムが表示されます。

12

リズムの〔8 BEAT〕(8ビート)ボタンを押します。

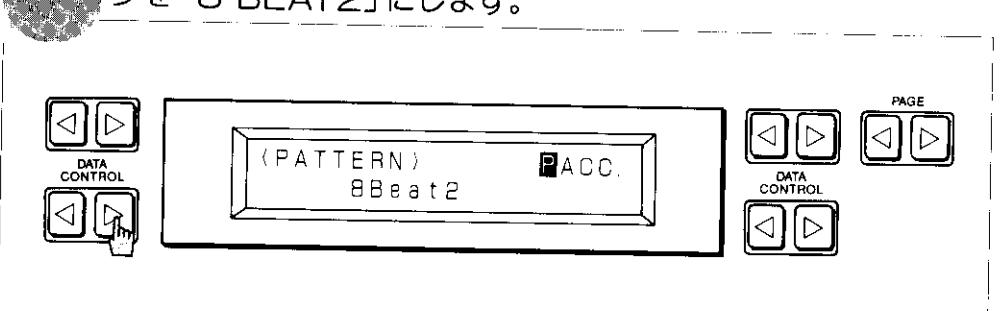




- 「8 BEAT」のリズム名メニューが表示されます。

**13**

左下のデータコントロールボタン(>)を押して、リズムのパターンを「8 BEAT2」にします。

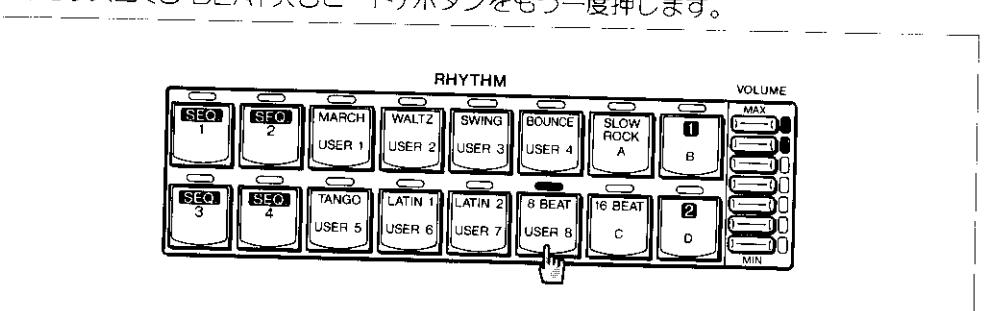


- 他のリズムパターンを選びたい場合は、左側のデータコントロールボタン(＜)(＞)を押します。
- リズムをスタートさせて下鍵盤を押すと、アカンパニメントが鳴りはじめます。

こんなこともできる

○試聴のためにアカンパニメントのタイプ、ボリュームを変更することができます。

選んだリズム(8 BEAT)(8ビート)ボタンをもう一度押します。



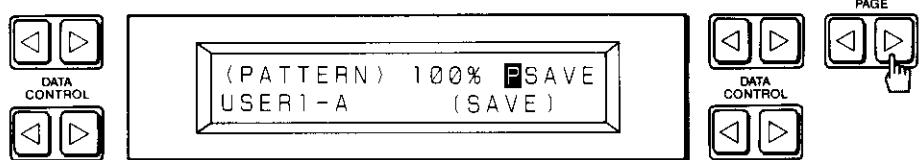
- 必要に応じて、アカンパニメントのタイプ、ボリューム各項目を設定します。操作方法は、P46のリズムコンディションをご覧ください。
- ここで、アカンパニメントのタイプとボリュームを設定して、パターンを登録しても、データとして記憶されません。

# 新しいリズムを作る

パターンを登録する

14

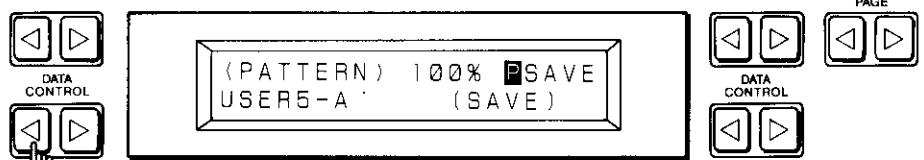
ページボタン(▷)を押して、「SAVE」(セーブ)のページを表示させます。



●設定した項目を記憶するメニューが表示されます。

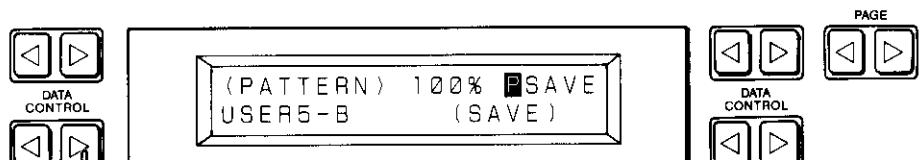
15

左下のデータコントロールボタン(◁)を押して、登録したいユーザー番号を「USER5」にします。



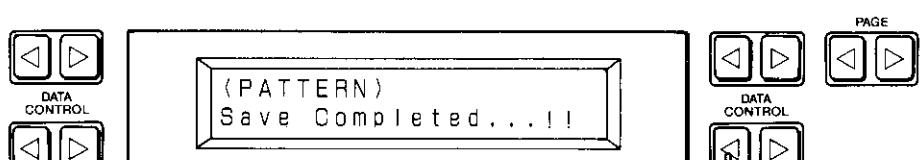
16

左下のデータコントロールボタン(▷)を押して、バリエーション「B」にします。



17

右側のデータコントロールボタン(◁)(▷)を押して、登録します。



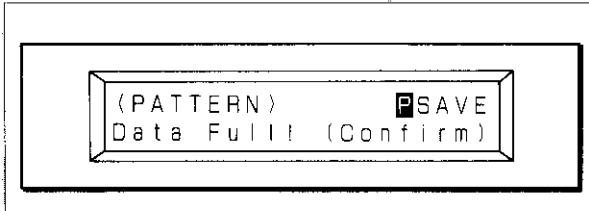
●登録が完了したことを示すメッセージが表示され、元の表示に戻ります。

## 操作のポイント

- ディスプレイの上段に表示されているパーセンテージは、記憶できるメモリーの残量です。

- データが一杯で登録できない場合は、次のメッセージが表示されます。

注



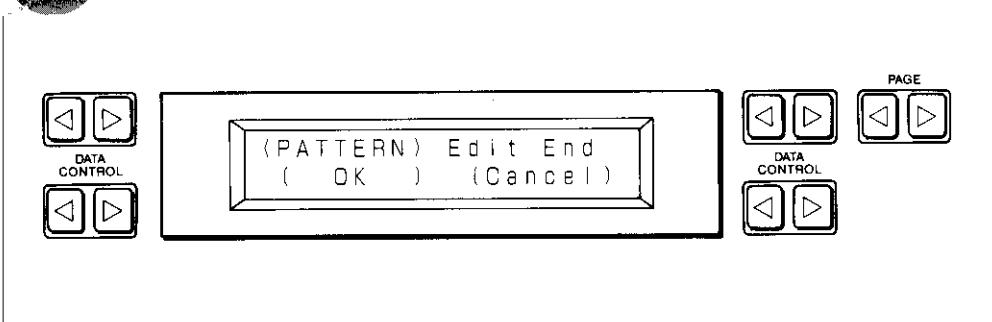
意

右側のデータコントロールボタン[◀][▶]を押して表示を消し、不要なデータを消してください。その後、もう一度データを登録してください。

パターン作成を終了する

18

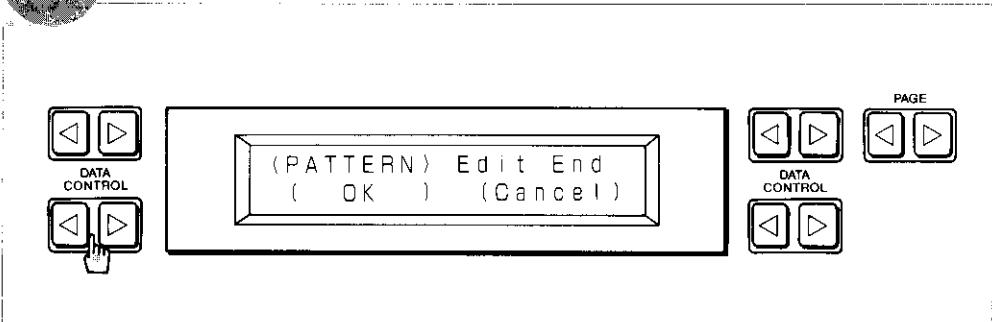
(PATTERN)(パターン)ボタンを押します。



- リズムプログラムの終了を確認するメニューが表示されます。

19

左側のデータコントロールボタン[◀][▶]を押して、パターン作成を終了します。



これで、ステップライトによるリズムの新規パターンが作成できました。

- ここで、右側のデータコントロールボタンを押すと、リズムプログラムを続けることができます。

# リズムをエディットする

## 機能説明

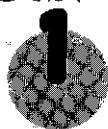
プリセットや、ユーザーのリズムの設定を変えて(エディット)、好きなリズム/パターンにすることができます。

エディットできるリズムパターンには、次の3つがあります。ここでは、それについて、エディットする方法を紹介します。

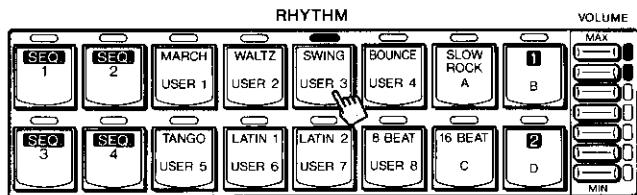
- プリセットのリズムパターン
- 一度設定したユーザーのリズムパターン
- エンディング/フィルインのリズムパターン

## ■プリセットのリズムパターンをエディットする

ここでは、「Swing2」のリズムパターンをエディットする操作を例にして説明します。



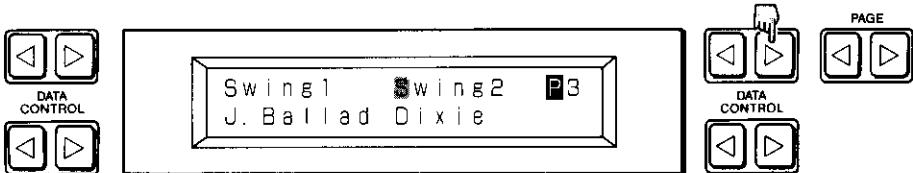
リズムの〔SWING〕(スイング)ボタンを押します。



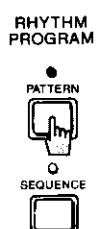
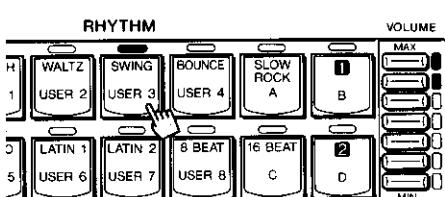
●〔SWING〕(スイング)ボタンのランプが点灯します。

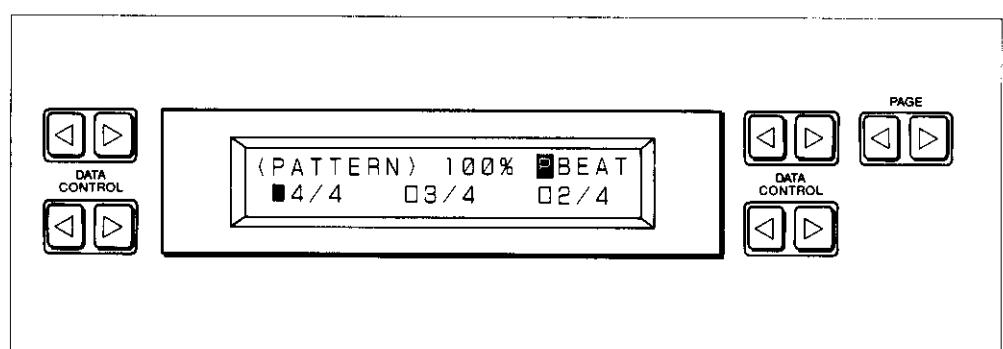


右上のデータコントロールボタン(▶)を押して、「Swing 2」を選びます。



〔PATTERN〕(パターン)ボタンを押しながら、リズムの〔SWING〕(スイング)ボタンを押します。

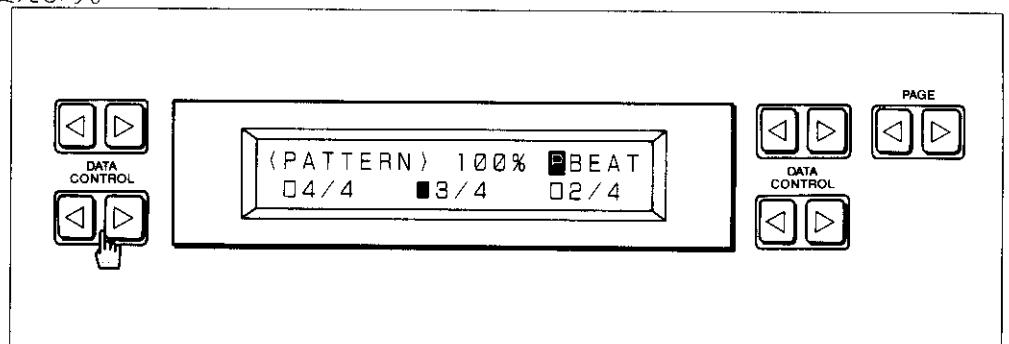




- (SWING)(スイング)ボタンを押すと、ビートを設定するメニューが表示されます。

こんなこともできる

- ビート(拍子)を変更したい場合は、データコントロールボタン(<)(>)を押して、ビートを変えます。



-  次に、「リアルタイムライト」か「ステップライト」のどちらかの方法を選び、リズムパターンをエディットします。  
(「リアルタイムライト」: P88~P95参照、「ステップライト」: P96~P105 参照)



リズムをエディットする

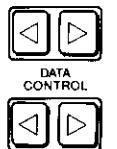
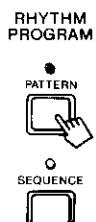
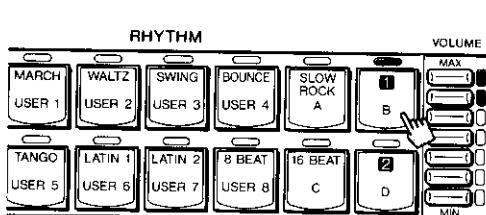
## ■ユーザーリズムパターンをエディットする

ここでは、ドットボタン(1)に登録されたリズムパターンをエディットする操作を例にして説明します。

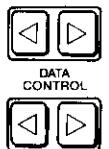
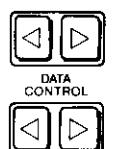
あらかじめドットボタン(1)に、エディットしたいユーザーリズムを設定してください。(作ったリズムをドットボタンに登録する→P74参照)

1

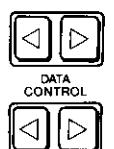
(PATTERN)(パターン)ボタンを押しながら、リズムのドットボタン(1)を押します。



(PATTERN)  
Select a Rhythm!!



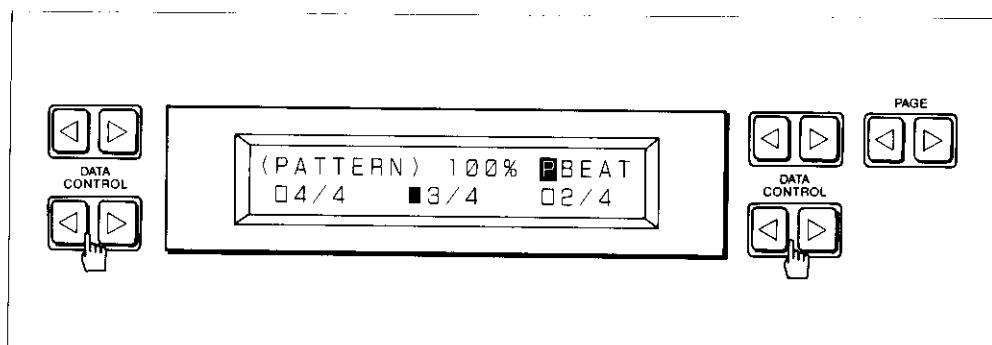
(PATTERN) 100% BEAT  
■4/4 □3/4 □2/4



- (PATTERN)(パターン)ボタンを離すと、ビートを設定するメニューが表示されます。

## こんなこともできる

ビートを変更したい場合は、下段のデータコントロールボタン(◀)(▶)を押して、ビートを変えます。



2

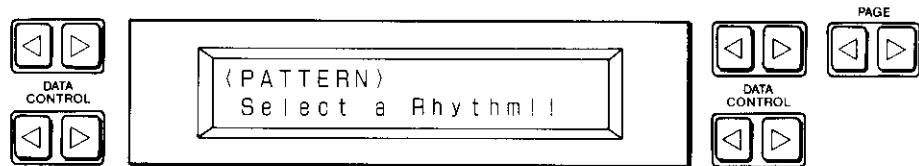
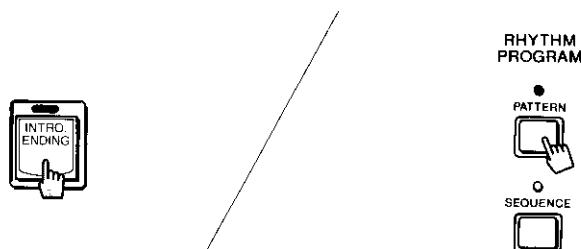
次に、「リアルタイムライト」か「ステップライト」のどちらかの方法を選び、リズムパターンをエディットします。  
(「リアルタイムライト」: P88~P95参照、「ステップライト」: P96~P105 参照)

## ■エンディングのリズムパターンをエディットする

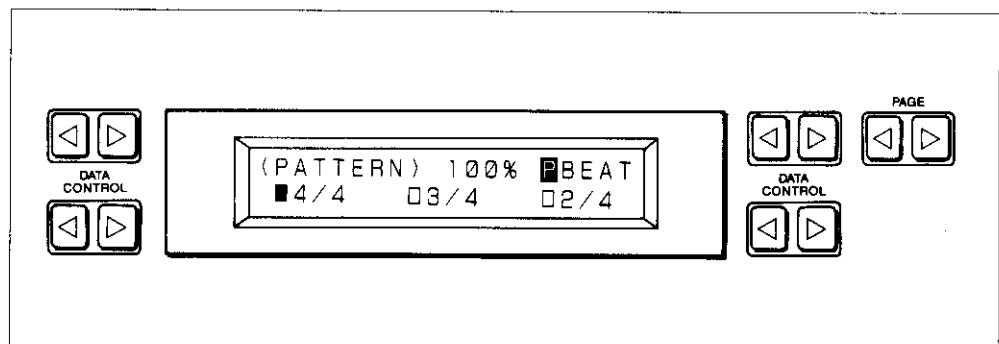
ここでは、「エンディング」のリズムパターンをエディットする操作を例にして説明します。あらかじめ、エディットするリズムパターンを選んでおいてください。

1

(PATTERN)ボタンを押しながら、(INTRO/ENDING)(イントロ/エンディング)ボタンを押します。



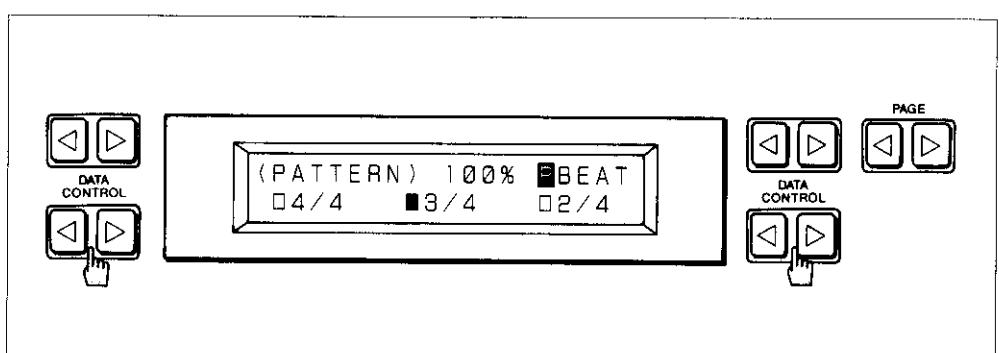
## リズムをエディットする



- (PATTERN)(パターン)ボタンを離すと、ビートを設定するメニューが表示されます。

こんなこともできる

- ビートを変更したい場合は、下段のデータコントロールボタン([◀])([▶])を押して、ビートを変えます。



- 次に、「リアルタイムライト」か「ステップライト」のどちらかの方法を選び、リズムパターンをエディットします。  
(「リアルタイムライト」: P88~P95参照、「ステップライト」: P96~P105 参照)

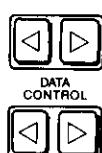
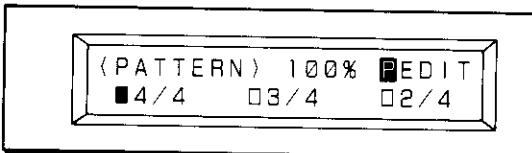
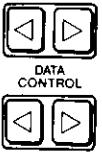
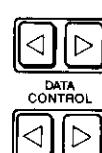
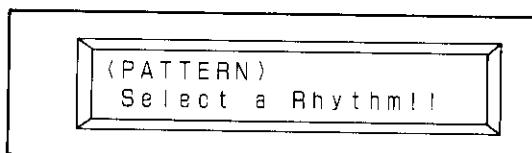
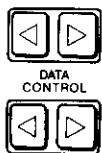
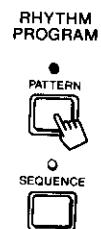
注意

- エンディングのリズムパターンは、最初の2小節分しかエディットできません。

## ■ フィルインのリズムパターンをエディットする

1

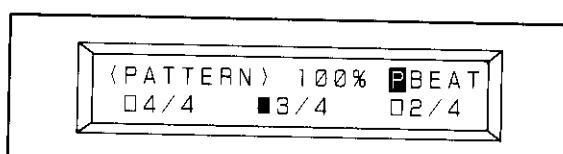
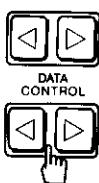
(PATTERN)(パターン)ボタンを押しながら、(FILL IN)(フィルイン)ボタンを押します。



●(PATTERN)(パターン)ボタンを離すと、ビートを設定するメニューが表示されます。

こんなこともできる

ビートを変更したい場合は、下段のデータコントロールボタン(<)(>)を押して、ビートを変えます。



### 2

次に、「リアルタイムライト」か「ステップライト」のどちらかの方法を選び、リズムパターンをエディットします。

(「リアルタイムライト」: P88~P95参照、「ステップライト」: P96~P105参考)